# 5. ボデー

5.1 ボデー　シエル……5－2
ボデー　シエル……5－3
構成部品……5－10
使用材料……5－12
塗装……5－15
5.2 ボデー外装部品……5－20
バンパ，スポイラ……5－21
ラジエータ　グリル，ガーニツシユ……5－24
モール類……5－25
ストライプ，マーク類……5－28
ガラス，ウエザストリツプ……5－30
機能部品……5－33
サン　ルーフ……5－36
その他の外装部品……5－39
5.3 ボデー内装部品……5－40
運転席回り……5－41
シート……5－44
トリム類……5－56
室内配色……5－62
5.4 その他のボデー部品……5－63



無断複製禁止

# 5.1 ボデー　シエル

## ■概　要

1．ボデー　シエルの構造を剛性の高い骨格構造とするとともに，高張力鋼板を大幅に採用し，軽量かつ強度の高いボデー構造として，振動，騒音の低減をはかりました。

2．段差の少ないボデー形状およびホイール　フレアを廃止したコーク　ボトル型ボデーの採用により，空力特性の向上および風切り音の低減をはかりました。

3．防錆鋼板化および塩ビ　ゾル，シーラ塗布部の拡大，部品の樹脂化等を行い，防錆性能の向上をはかりました。

4．補修性の良いボデー各部の板組みとし，また組み付け基準の設定を行い，ボデー　リペアラビリテイの向上をはかりました。

## ■特　長

| | |
|---|---|
| 振動・騒音の低減 | 1．ボデーの高剛性化……5－ 5<br>2．高張力鋼板の採用拡大……5－13<br>3．サンドイツチ制振パネルの採用……5－14 |
| 軽　量　化 | 1．高張力鋼板の採用拡大……5－13<br>2．樹脂部品の採用拡大……5－14 |
| 防錆性能の向上 | 1．防錆鋼板の採用拡大……5－12<br>2．塩ビ　ゾル，シーラ塗布の採用拡大……5－17<br>3．樹脂部品の採用拡大……5－14<br>4．部品の一体化……5－ 8 |
| 空力特性の向上 | 1．コーク　ボトル型ボデーの採用……5－ 4<br>2．ボデー形状の面一化……5－ 4 |
| サービス性の向上 | 1．ボデー　リペアラビリテイの向上……5－ 8 |
| 室内空間の拡大 | 1．ＦＦ化によるフロアを低くしてワイド　＆　フラット化の採用……5－10 |

無断複製禁止

## ■機構説明

### □ボデー　シエル

### 1．ボデー　ＡＳＳＹ

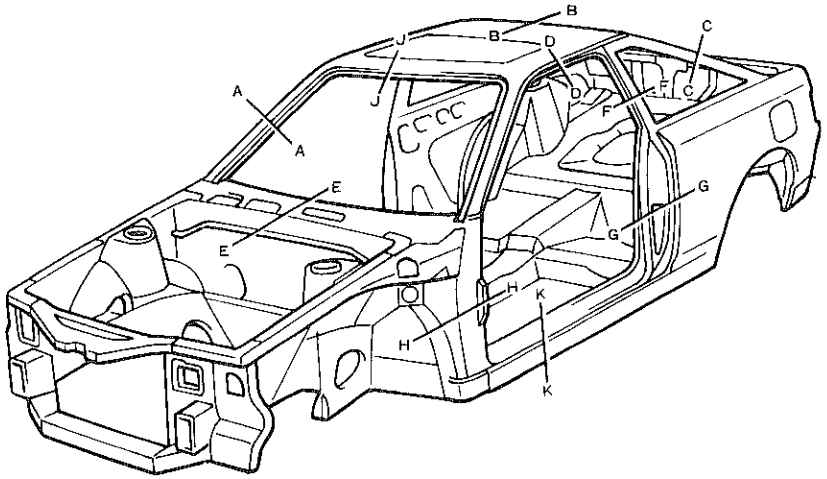
●ボデー各部を剛性の高い骨格構造として，振動および騒音の低減をはかりました。

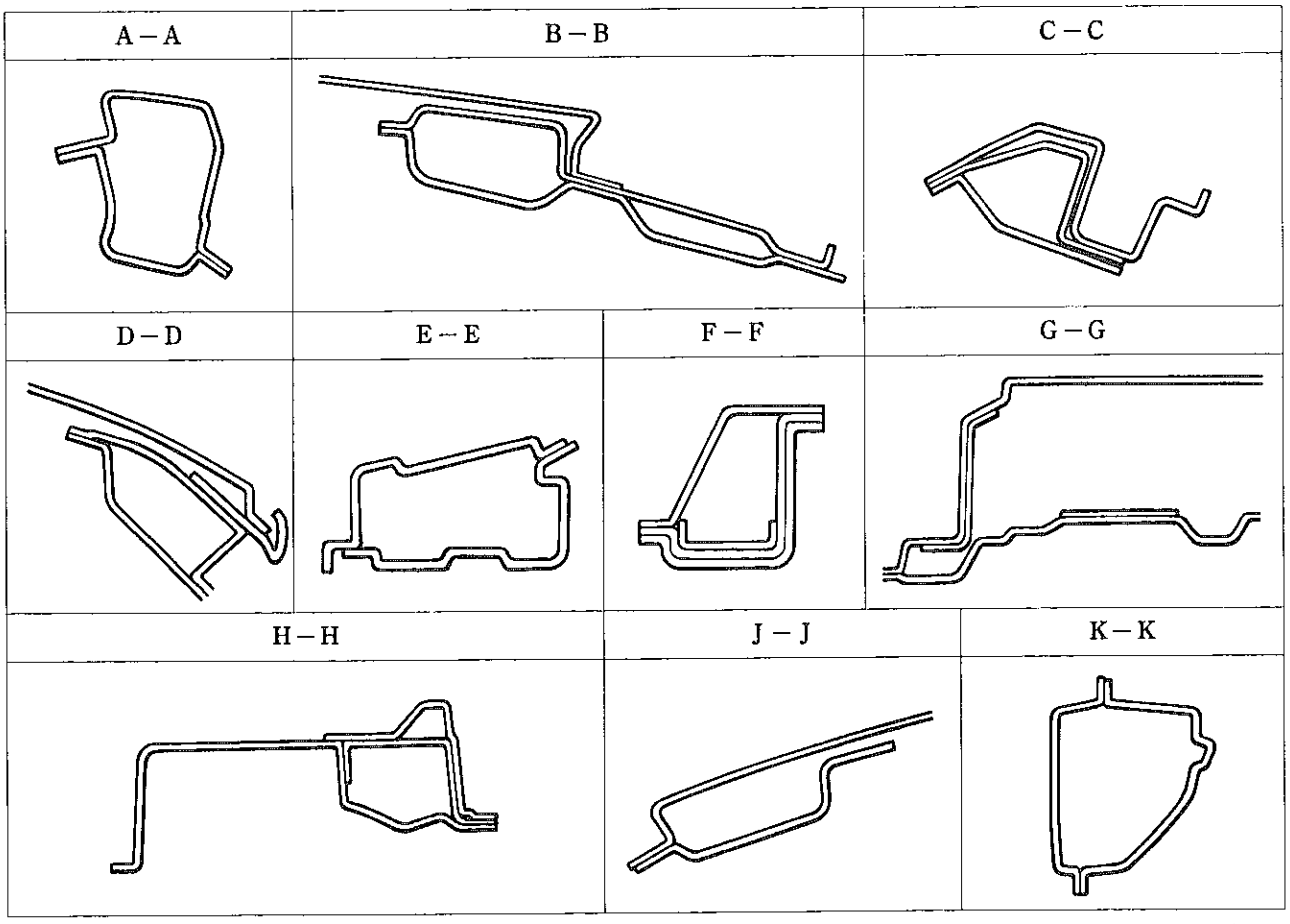
**▶構造**

**〔1〕ボデー主要部断面**

（1）ボデー各部の主要断面は下図のような構造となつており，十分な剛性を確保するとともに軽量な構造としました。

ボデー主要部断面



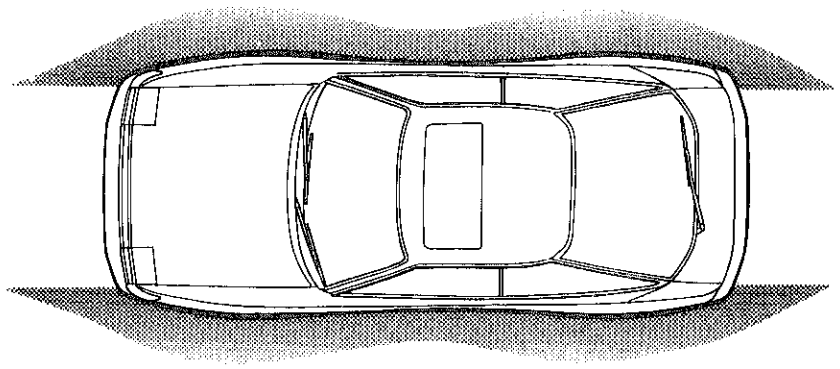

CB0001

無断複製禁止

〔2〕外観上の特徴

（1）ホイール　フレアとボデー　サイド面を一体化したコーク　ボルト型ボデーを採用して，ワイド　&　ローの美しいスタイルとしました。

外観上の特徴

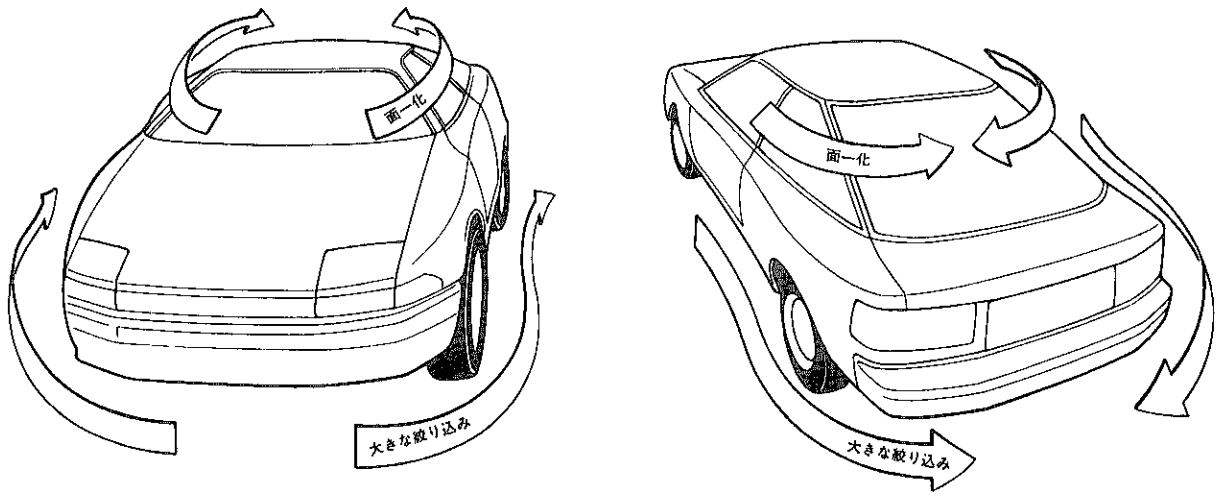


CB0002

〔3〕空力への配慮，静粛化

（1）フエンダおよびクオータに大きく絞り込みを施し，ホイール　フレアの飛び出しを廃したコーク　ボトル型ボデーや大傾斜のフロント　ウインドシールドからバツク　ドア　ウインドウにスムースにつながるガラス面など，ボデー各部を段差の少ない面一化したボデー形状として空力特性の向上および風切り音の低減をはかりました。

空力への配慮，静粛化



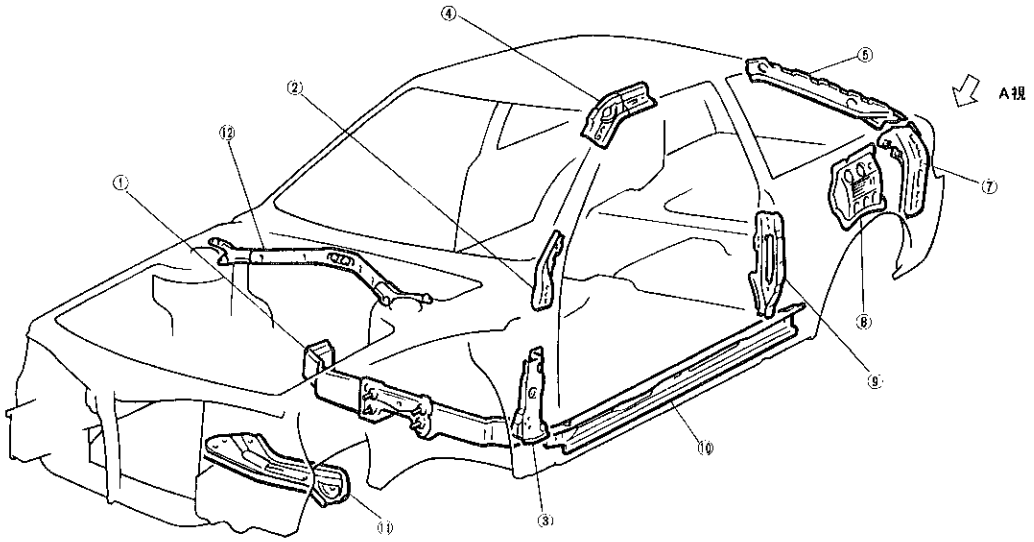

CB0003

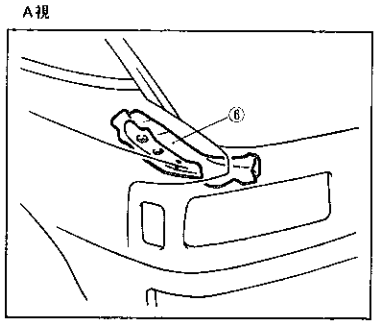
無断複製禁止

〔4〕高剛性化

（1）各構造部材の結合剛性の向上をはかり，剛性の高い骨格構造として振動，騒音の低減をはかるため，以下の箇所に効果的な補強板を配置しました。

高剛性化




| 番号 | 名　　称 | 番号 | 名　　称 |
|---|---|---|---|
| ① | ステアリング　ギヤ　ボツクス　メンバ | ⑦ | ルーフ　サイド　アウタ　ロワー　リインホースメント |
| ② | フロント　ボデー　ピラー　アツパ　リインホースメント | ⑧ | ルーフ　サイド　インナ　ツウ　ホイール　ハウス　ブレース |
| ③ | フロント　ピラー　ロワー　リインホースメント | ⑨ | フロント　ドア　ロツク　ストライカ　リインホースメント |
| ④ | フロント　ボデー　ピラー　アツパ　インナ　リインホースメント | ⑩ | フロア　サイド　インナ　パネル |
| ⑤ | ルーフ　サイド　アウタ　パネル | ⑪ | フロント　サスペンシヨン　ロワー　ブレース |
| ⑥ | ルーフ サイド アウタ リインホースメント ⊗ ロワー バツク リインホースメント | ⑫ | パフオーマンス　ロツド（GT系） |

CB0004

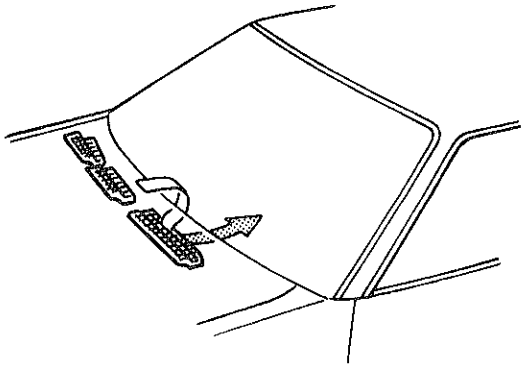
無断複製禁止

〔5〕ベンチレーシヨン

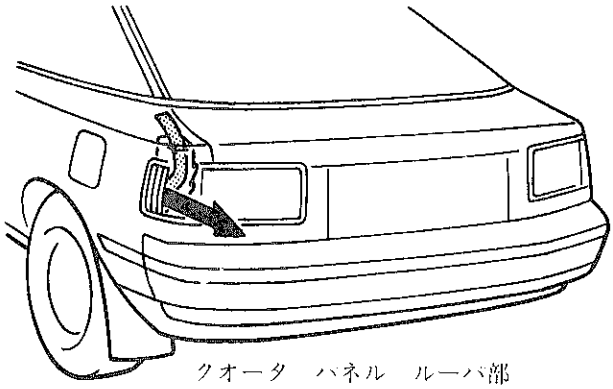
（1）フレツシユ　エアの導入はカウル　アウタ部に設けられたルーバから導入され，空調システムを通りベンチレータから室内に吹き出します。

（2）排気は従来同様ドアのインナ下部とクオータ　ロツク　ピラー部およびクオータ　パネル　ルーバ部の3箇所から行われ，十分な換気性能を確保しました。

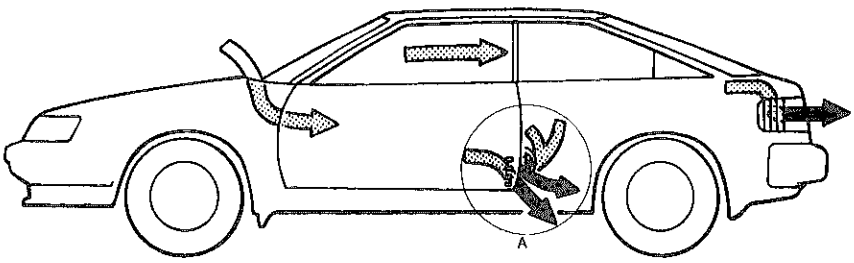
ベンチレーシヨン

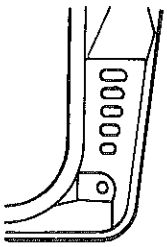


カウル　アウタ部

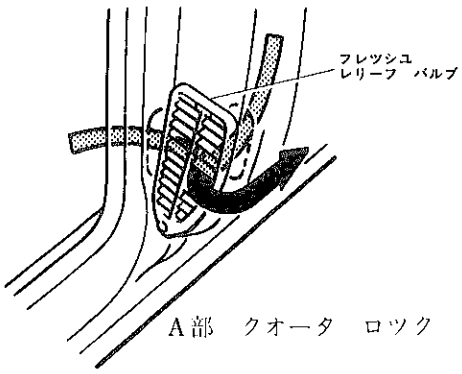


クオータ　パネル　ルーバ部



A部　ドア内側部




A部　クオータ　ロツク　ピラー側

CB0005

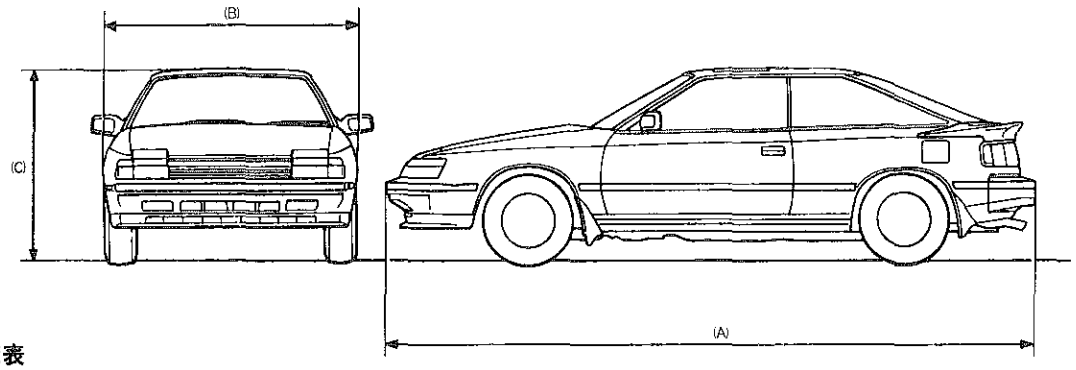
無断複製禁止

〔6〕外形寸法，室内寸法

（1）外形寸法は，全長を従来より短くする一方全幅を２５㎜広げ，全高を２５㎜低くしてワイド　＆　ローのコンパクトかつ安定感のある美しいスタイル寸法としました。

（2）室内寸法はＦＦ方式の採用によりフロア形状のフラット化やフロア幅の拡大等，室内スペースの拡大を行い，居住性の向上をはかりました。

外形寸法

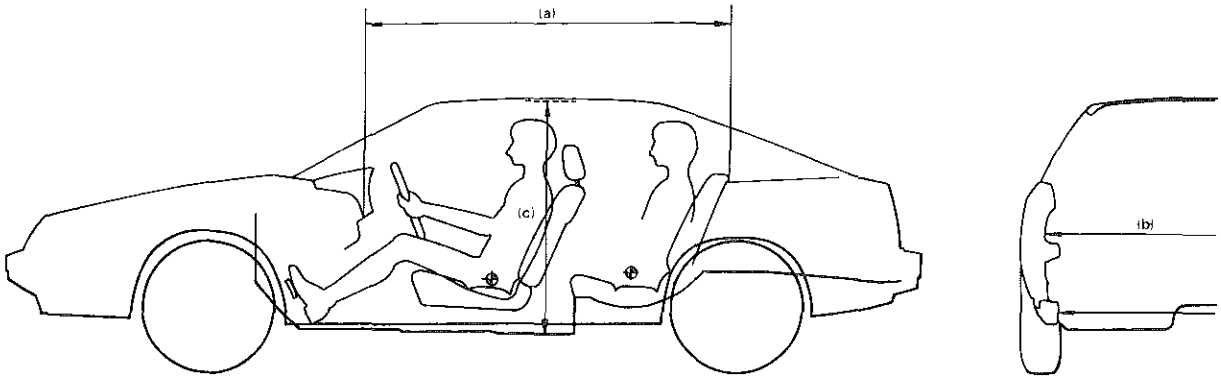



外形寸法一覧表

| | 新　型*1 | 従来型*2 | 差 |
|---|---|---|---|
| (A)　全　長〔㎜〕 | ４３６５ | ４４８５ | −120 |
| (B)　全　幅〔㎜〕 | １６９０ | １６６５ | ＋ 25 |
| (C)　全　高〔㎜〕 | １２９５ | １３２０ | − 25 |

＊1：ST162−BLMVF　＊2：TA63−BLMQZ

室内寸法




室内寸法一覧表

| | 新　型*1 | 従来型*2 | 差 |
|---|---|---|---|
| (a)　室内長〔㎜〕 | １７５５ | １７４０ | +15 |
| (b)　室内幅〔㎜〕 | １４１５ | １３７５ | +40 |
| (c)　室内高〔㎜〕 | １０８０ | １０７０ | +10 |

＊1：ST162−BLMVF　＊2：TA63−BLMQZ

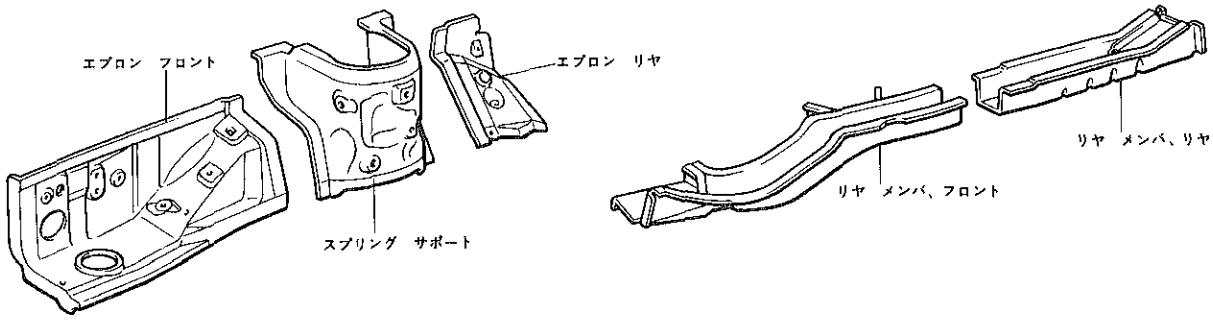
CB0006　CB0007

無断複製禁止

〔7〕ボデー　リペアラビリテイ

（1）フロント　フエンダ　エプロンを3分割構造に，またリヤ　フロア　サイド　メンバを前後2分割構造として脱着作業性の向上をはかりました。

フロント　フエンダ　エプロン　&　リヤ　フロア　サイド　メンバ

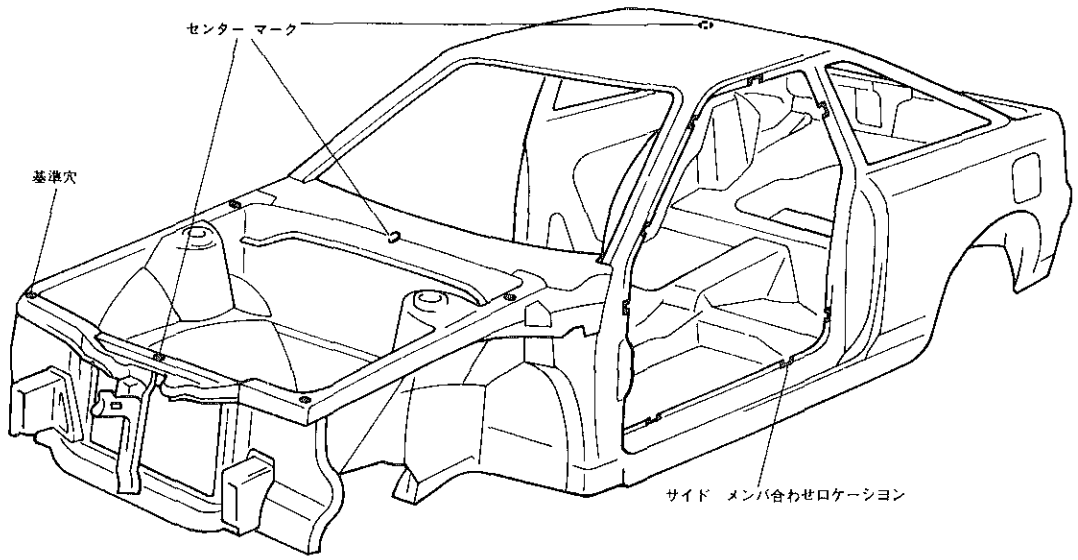



フロント　フエンダ　エプロン　　リヤ　フロア　サイド　メンバ

CB0008

（2）修理時の作業性向上のため，組み付け部分の基準穴，ロケーション，切り欠き等の基準マークを設けています。

基準マーク

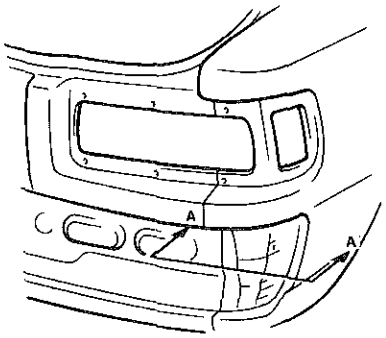


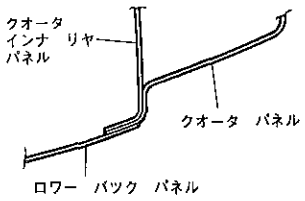

CB0009

無断複製禁止

（3）ロワー　バツク　パネルをクオータ　パネルの後に配置して，修理作業性の良い板組みとしました。

ロワー　バツク　パネル



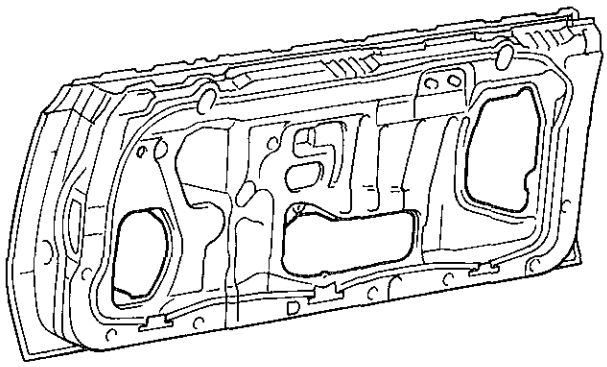




A－A断面

CB0010

（4）フロント　ドアのサービス　ホールを大きくとり，板金補修時の叩き出しスペースを確保してサービス性の向上をはかりました。

フロント　ドア　サービス　ホール



CB0012

（5）樹脂部品に「ＰＰ」「ＰＥ」「ＡＢＳ」等の材質記号を表示することにより，塗装補修時の耐熱温度を知ることを可能としました。

| 材質記号 | 材　料　名 | 耐熱温度(℃) |
|---|---|---|
| ＰＰ | ポリプロピレン | 80 |
| ＰＥ | ポリエチレン | 80 |
| ＰＣ | ポリカーボネート | 120 |
| ＰＡ | ナイロン | 80 |
| ＡＢＳ | アクリロニトル　ブタジエンゴム　スチロール | 80 |
| ＰＵＲ | 熱可塑性ポリウレタン | 80 |
| ＵＰ | ポリエステル | 180 |
| ＴＰＲ | 熱可塑性ゴム | 60 |

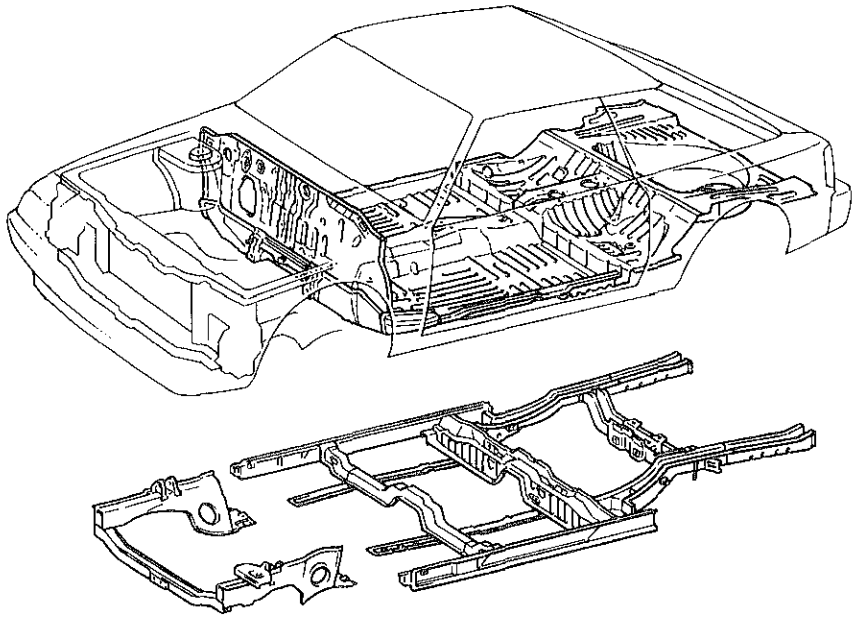
無断複製禁止

## □構成部品

### 2．アンダーボデー

● 各種最新技術の解析により，形状やリブの配置を最適なものとし軽量かつ剛性の高い構造としました。特にフロアのフラット化およびＦＦ化に伴いリヤ　フロア　パンを低くすることで，ボデー空間への配慮を行いました。

アンダーボデー

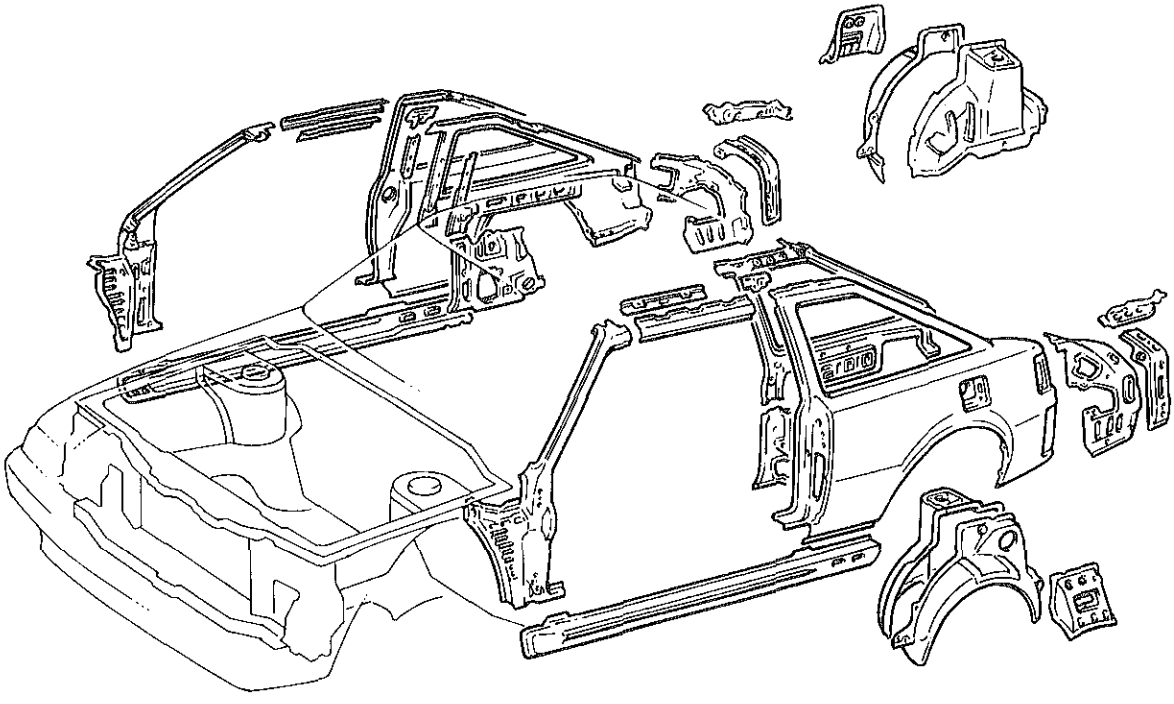


CB0013

### 3．サイド　メンバ

● サイド　メンバの構成は下図のようになつており，各結合部の剛性を高いものとしました。

サイド　メンバ



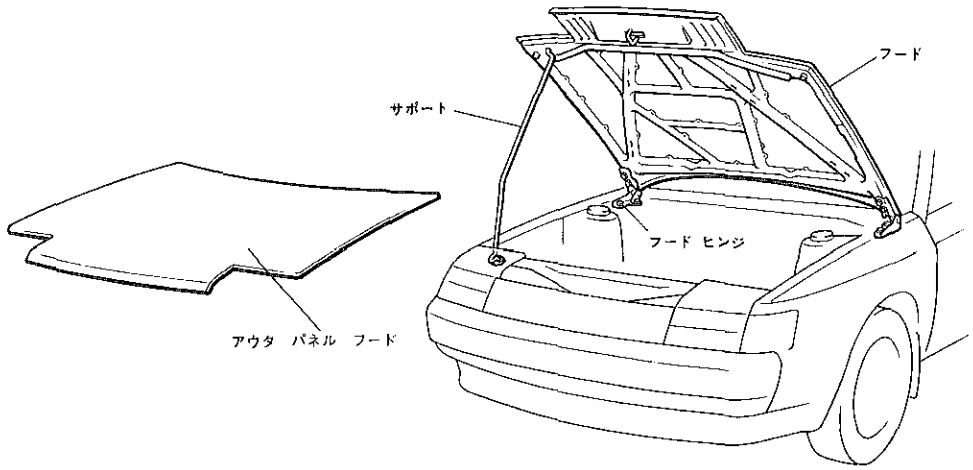
CB0014

無断複製禁止

## 4．フード

- フードは前開き後ヒンジ式で，フード開き時の支えはサポートで支持する方式を採用しています。また，アウタ　パネルには，プレス　ラインがない形状として見栄えの良いものとしました。
- フード　ヒンジは従来同様直付けタイプを採用して，板金補修時等のサービス性が良いものとなつています。

フード

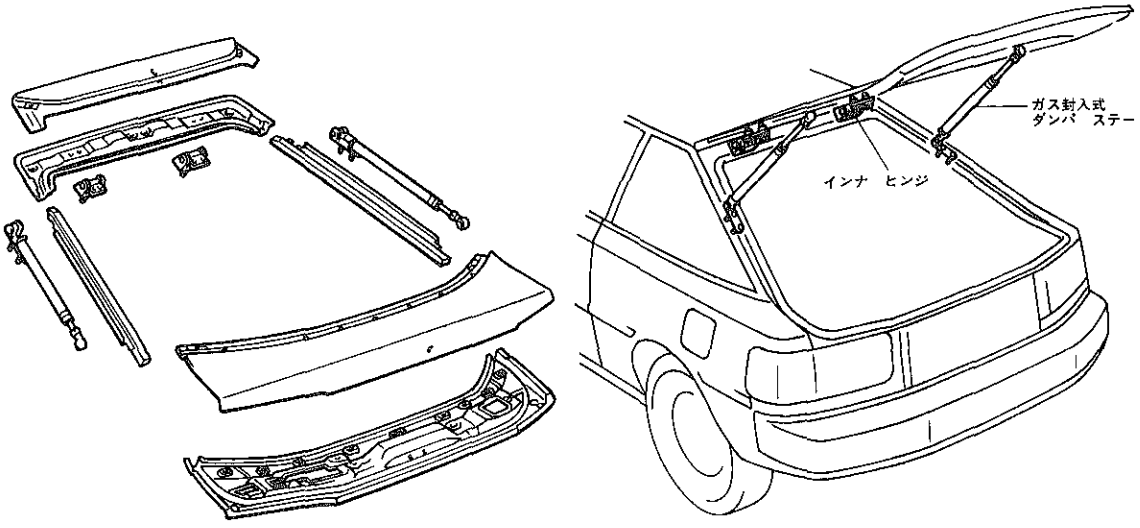



CB0015

## 5．バツク　ドア

- バツク　ドア　サイド部の板金部が外からは見えないガラス　ハツチ　タイプ構造のバツク　ドアを採用して，見栄えの向上をはかりました。また，バツク　ドア　パネルを上下，側辺部の分割構造として，板金補修正の向上もはかりました。
- 従来同様，バツク　ドア　ヒンジはインナ　ヒンジ　タイプとし，またガス封入式ダンパ　ステーをドア閉時に室内に張り出さないコンシールド　タイプとしています。

バツク　ドア




バック　ドア構成図

CB0016

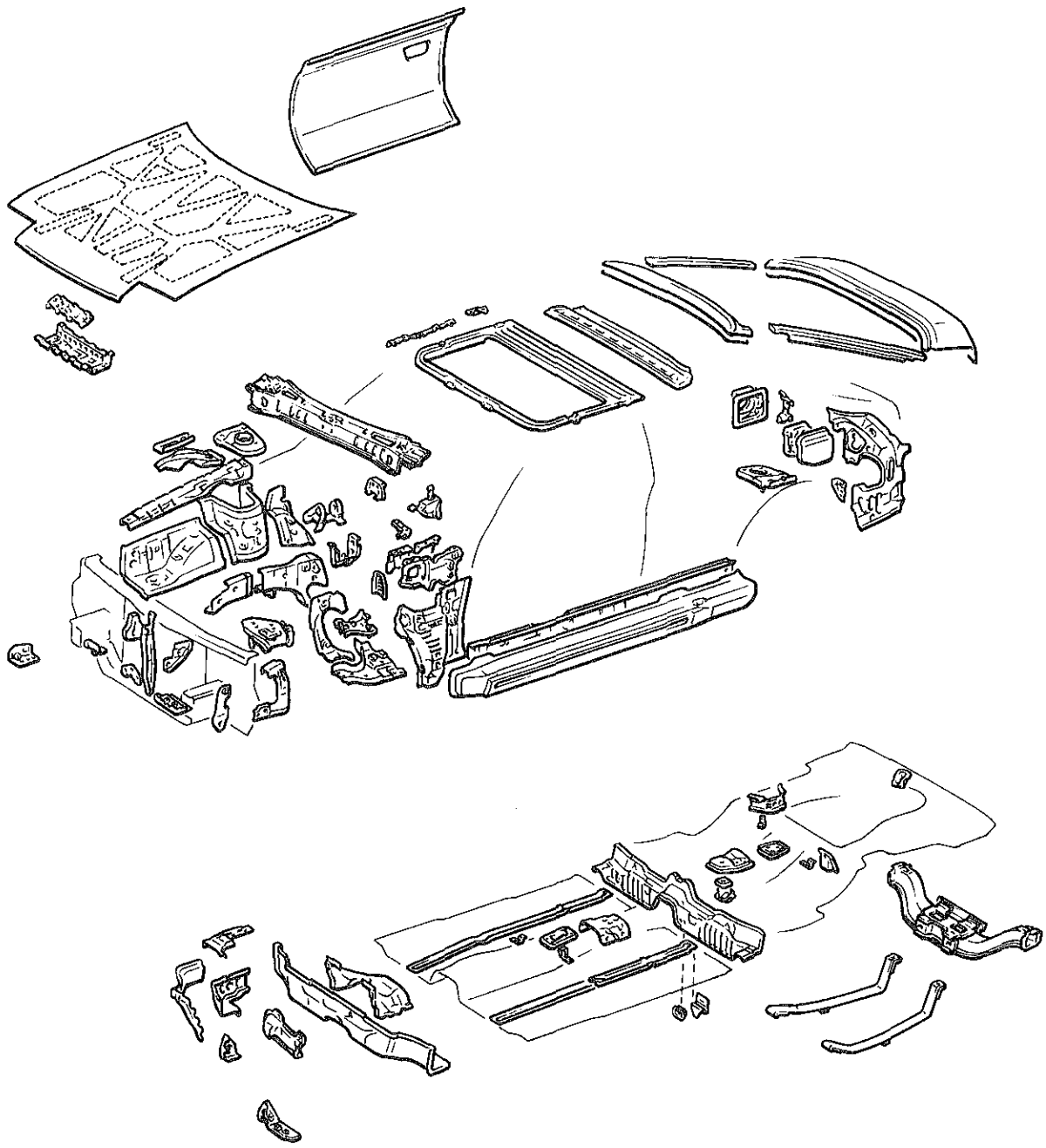
無断複製禁止

## □使用材料

### 6．防錆鋼板の採用部位

● ボデー各部に防錆鋼板を採用し，防錆性の向上をはかりました。

防錆鋼板



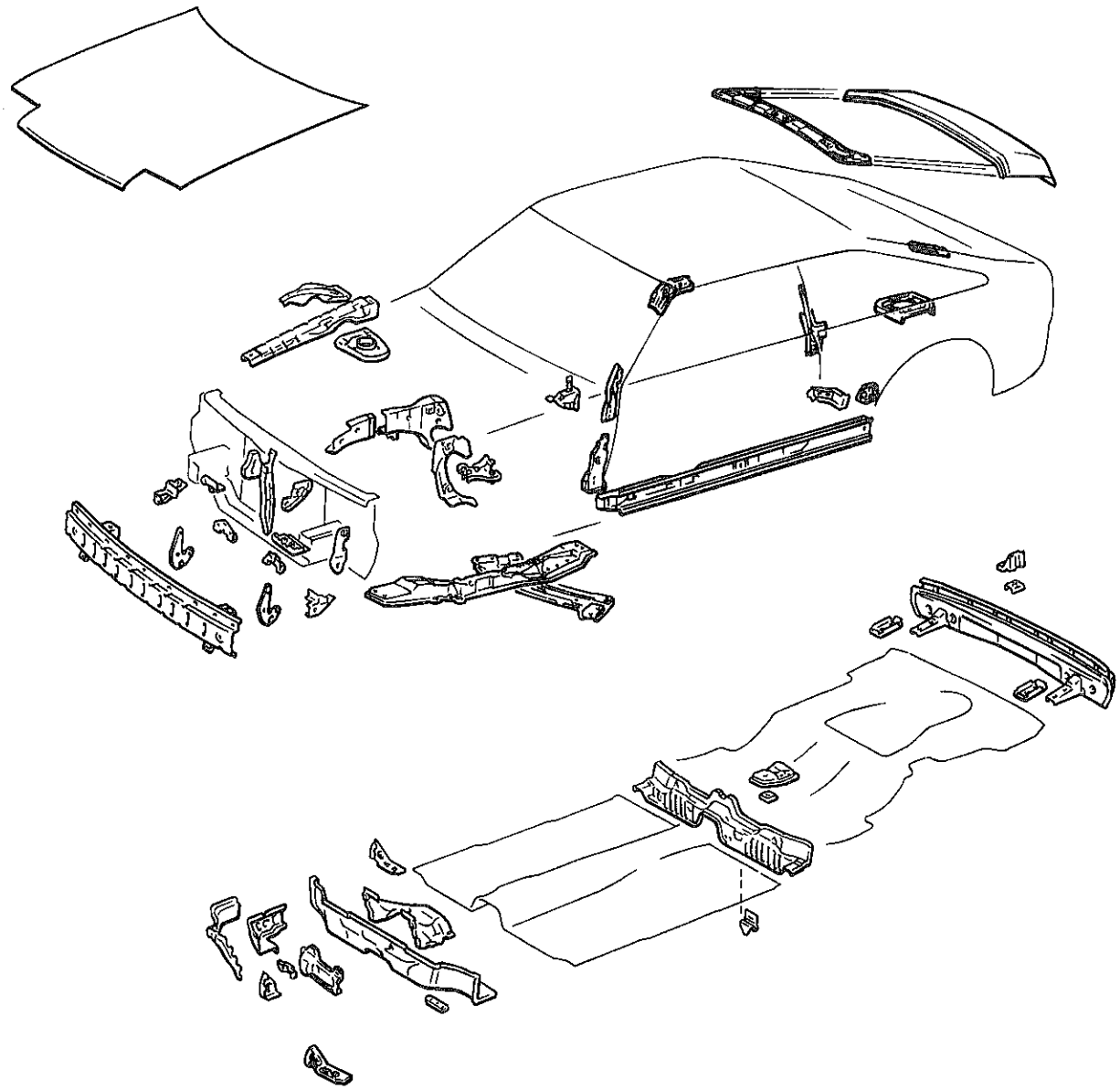
CB0017

無断複製禁止

## 7．高張力鋼板の採用部位

● ボデー各部に高張力鋼板を大幅に採用し，ボデーの強度を十分に確保しつつ軽量化をはかりました。

高張力鋼板



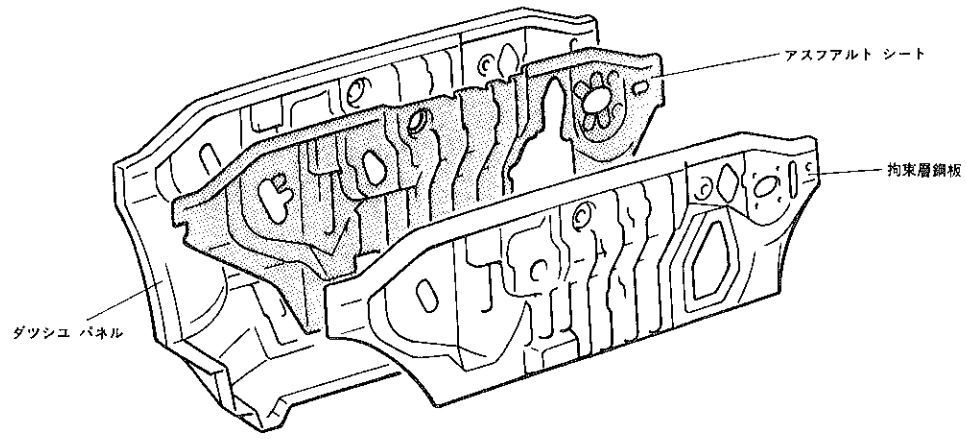
CB0018

無断複製禁止

## 8．サンドイツチ制振パネル

● ダツシユ　パネルの制振効果をより向上させるため従来から使用されているアスフアルト　シートの上に拘束層鋼板をかぶせ，ダツシユ　パネル，アスフアルト　シートおよびその上にかぶさる拘束層鋼板による一体化したサンドイツチ制振パネル構造として，振動，騒音の低減をはかりました。（除くＳＶ車）

サンドイツチ制振パネル

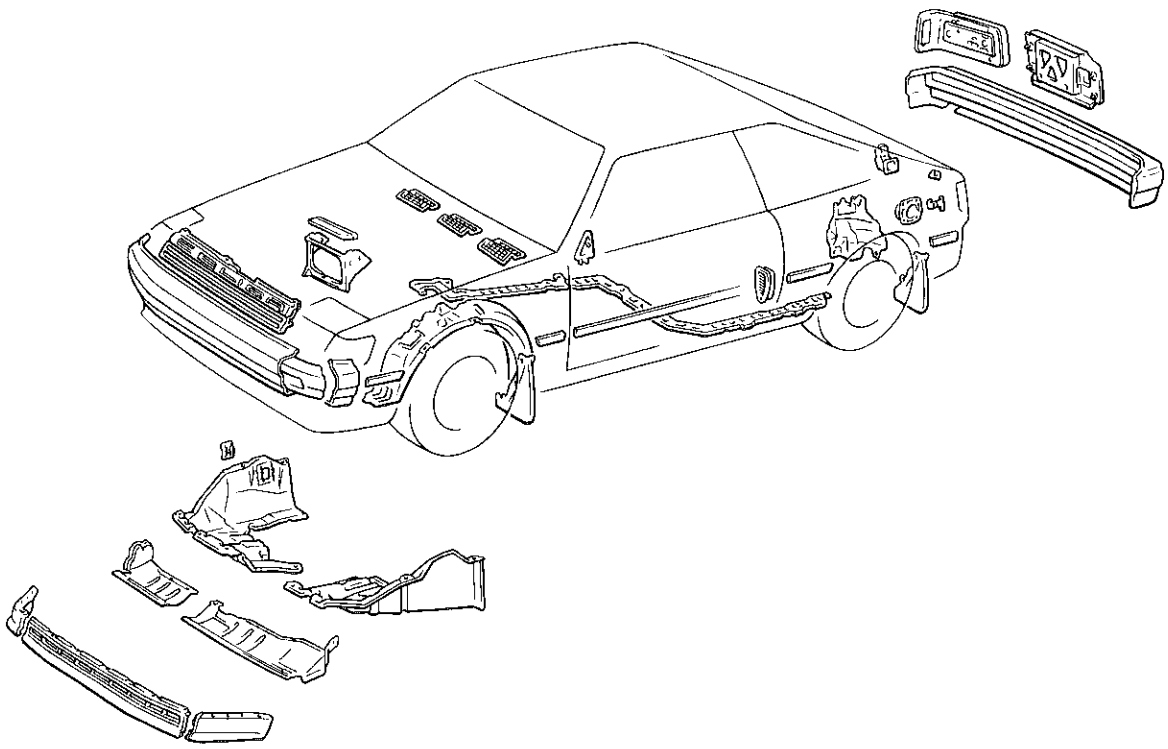



CB0019

## 9．樹脂化部品

● ボデー各部に樹脂部品を積極的に採用し，防錆性能の向上をはかるとともに軽量化を実現しました。

樹脂化部品



CB0020

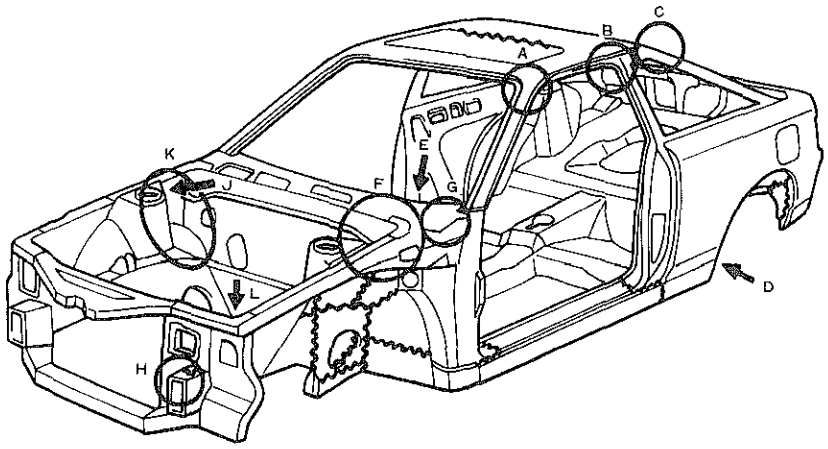
無断複製禁止

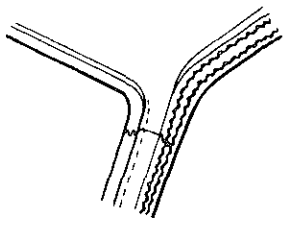
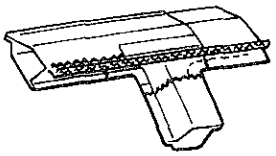
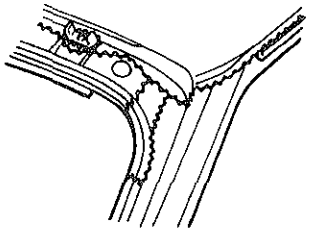
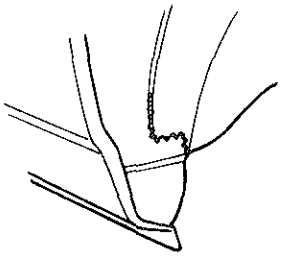
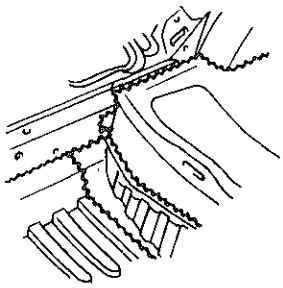
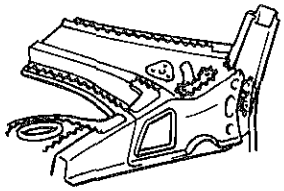
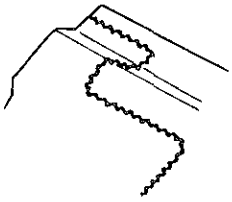
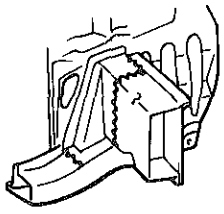
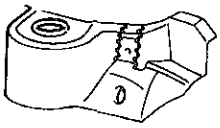
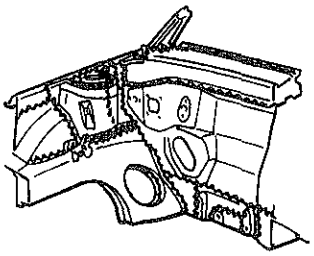
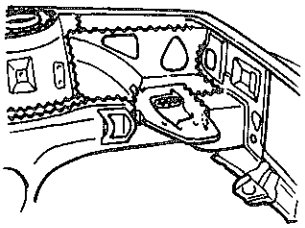
## □塗装

### 10. ボデー　シーリング（No.1）

● ボデーの合わせフランジ端末にボデー　シーラを塗布して，防水性の確保および鋼板のエツジと合わせ目エツジ部の防錆性能の向上をはかりました。

ボデー　シーリング（No.1）




| A | B | C | D |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| **E** | **F** | **G** | **H** |
|  |  |  |  |
| **J** | **K** | **L** | |
|  |  |  | |

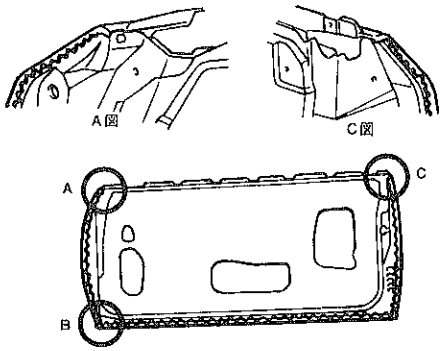
～～：ボデー　シーラおよびドリツプ　シーラ塗布箇所　CB0021

無断複製禁止

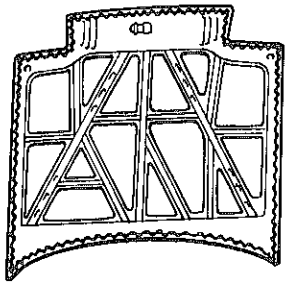
## 11. ボデー　シーリング（No.2）

● ドア，フードなどのヘミング内部には，ヘミング　アドヘシブ*1を，各パネル端末エツジ部にはボデー　シーラを塗布し，スポツト容接痕の減少および防錆性能の向上をはかりました。

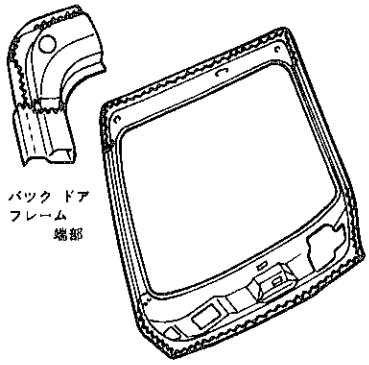
ボデー　シーリング（No.2）



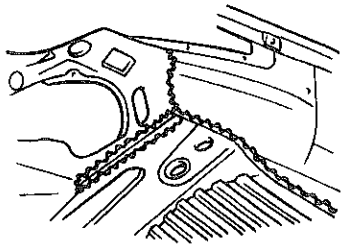

ドア



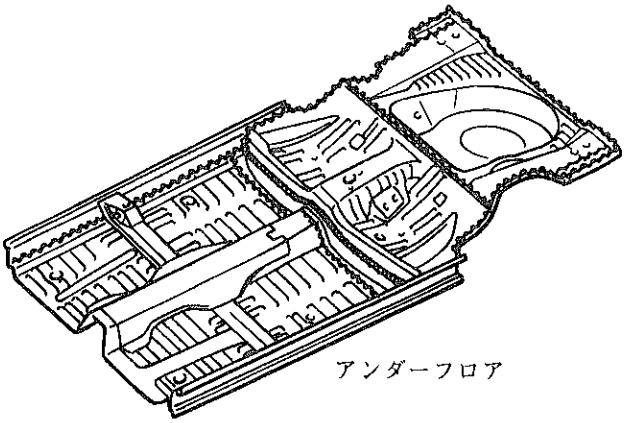
フード



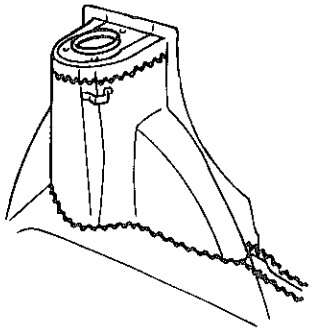

バツク　ドア



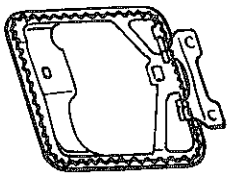
フロア後部



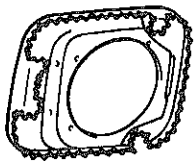
アンダーフロア



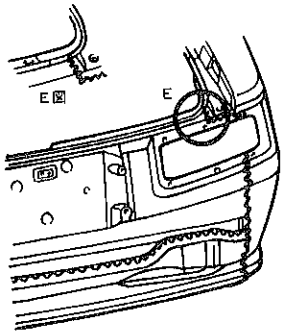
リヤ　ホイール　ハウス



フユーエル　フイラ　リツド



フユーエル　インレツト　ボツクス




ロワー　バツク

～～：ボデー　シーラおよびドリツプ　シーラ塗布箇所　　CB0022

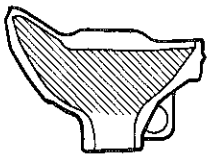
＊1　アドヘシブ（Adhesive）：接着剤

無断複製禁止

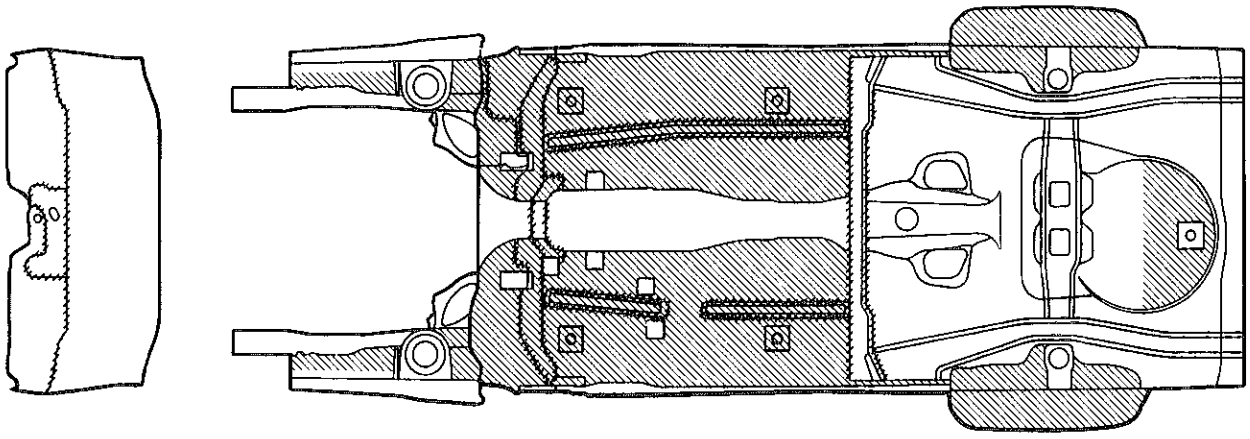
## 12. 塩ビ　ゾルの塗布部位

●耐チツピング*1性に優れた塩ビ　ゾル*2を最適な位置に塗布し，発錆条件のきびしい部位の防錆性能の向上をはかりました。

塩ビ　ゾルの塗布部位

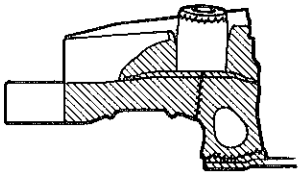


リヤ　ホイール　ハウス側面



ダツシユ　パネル正面

フロア　パネル



フロント　フエンダ　エプロン側面

：塩ビ　ゾル塗布箇所　　：鋼板のエツジ部　　CB0023

＊1　チツピング（chipping）：走行中に路面の砂利，岩塩などを跳ね上げ，それらがボデーに当たり，塗膜が欠損すること。

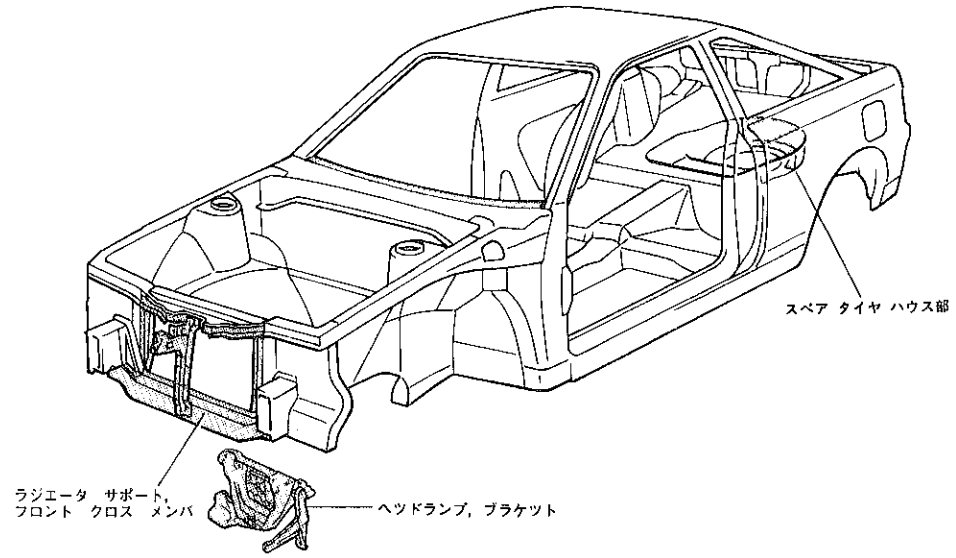
＊2　塩ビ　ゾル（塩化ビニール　プラスチツク　ゾル）：塩化ビニール　ペースト　レンジに可塑剤を加えたものが主成分で，これに接着寸与剤等を加えた液状の物で自動車用にはシーリング剤，耐チツピング剤，防振剤，防音剤などに使用されます。

無断複製禁止

## 13. ブラツク　アウト塗装

● 防錆性にすぐれたブラツク　アウト塗装を下図の箇所に施し，発錆の防止および見栄えの向上をはかりました。

ブラツク　アウト塗装




CB0024

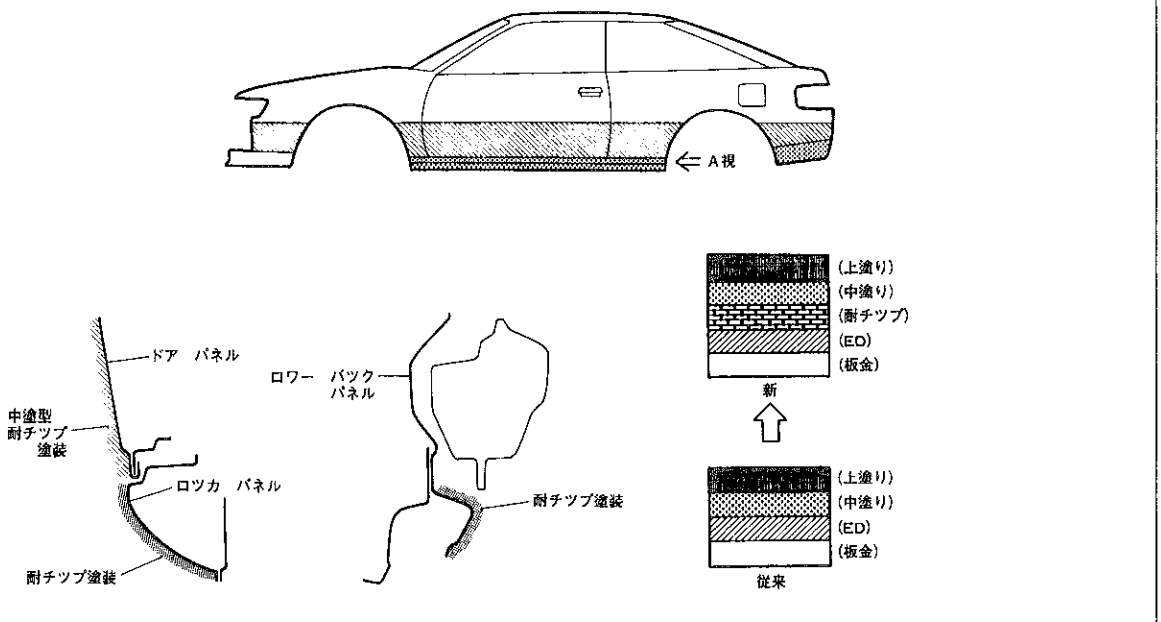
## 14. 耐チツプ塗装

● ロツカやクオータ下部およびロワー　バツク下部に耐チツプ塗装を全車に採用してチツピング*1の防止をはかり，防錆性の向上をはかりました。

● ＧＴ系には，ボデー外板下部のチツピング*1による錆防止をはかるため，電着塗装乾燥後に中塗型耐チツプ塗装を行い，塗膜の厚みおよびその弾力性により飛び石等のエネルギーを吸収し，傷が板金まで至らないようにして防錆性能の向上をはかりました。

● なお，この中塗型耐チツプ塗装部は，その塗膜性状のため，従来の一般塗膜構成部分と仕上り肌が異なる特性があります。

耐チツプ塗装




A視図　　ロワー　バツク　パネル　　中塗型耐チツプ塗装

CB0025

＊1　チツピング（Chipping）：走行中に路面の砂利，岩塩などを跳ね上げ，それらがボデーに当たり，塗膜が欠損すること。

無断複製禁止

## 15. 外板色

●ハイ　タツチ*1感覚のスポーツ性をカラー　テーマにボデー　カラーを6色（モノトーン5色，ツートン1色）設定しました。

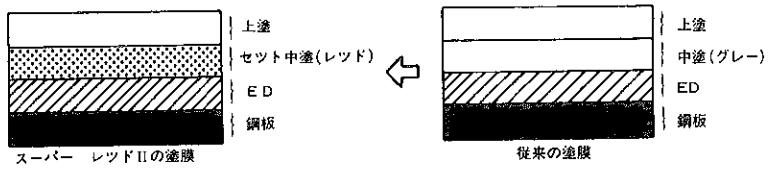
●時代をリードするハイ　タツチ*1カラーとしてシエル　メタリツク（カラーNo.3E3）を，またハイ　センスなメタリツクカラーとしてはシルバー　メタリツク（カラーNo.148）を採用しました。

●スポーテイでかつラグジユアリーなカラーとして，ミデイアム　ブルー　メリタツク（カラーNo.8D4）を採用し，ピユア*2 & ダイナミツクなカラーとしてはホワイト（カラーNo.041）とスーパー　レツド　II（カラーNo.3E5）を採用しました。

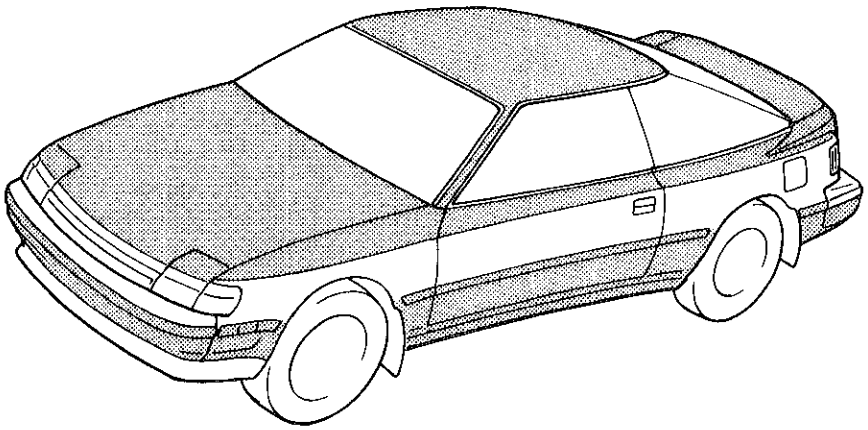
●なかでもスーパー　レツド　IIは，従来のグレーの中塗からスーパー　レツド　II専用の中塗を採用して，従来のレツドよりさらに鮮明なレツドを実現したカラーです。

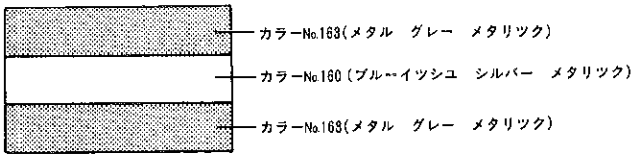
●ツートン　カラーは，ボデー　キヤラクタ　ラインを強調するサンドイツチ　タイプのツートンを採用しました。

外板色




スーパー　レツドII塗膜構成






ツートン　カラー塗り分け

ボデー　カラー仕様一覧

| カラー　ネーム | | カラーコード / グレード | SV | ST | SX | GT | GT－R |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ホワイト | | 041 | ● | ● | ● | ● | ● |
| シルバー　メタリツク | (新) | 148 | ● | ● | ● | ● | ● |
| シエル　メタリツク | (新) | 3E3 | ● | ● | ● | ● | ● |
| スーパー　レツド　II | | 3E5 | ● | ● | ● | ● | ● |
| ミデイアム　ブルー　メタリツク | (新) | 8D4 | ● | ● | ● | ● | ● |
| ストリーム　トーニング | (新) | 2Z3 (163/160) | | ○ | ○ | ○ | ○ |

●：標準装備　○：オプシヨン

CB0026

＊1　ハイ　タツチ（High　Touch）：高級感覚　　＊2　ピユア（Pure）：清い，純粋な，混りのない

無断複製禁止

# 5.2　ボデー外装部品

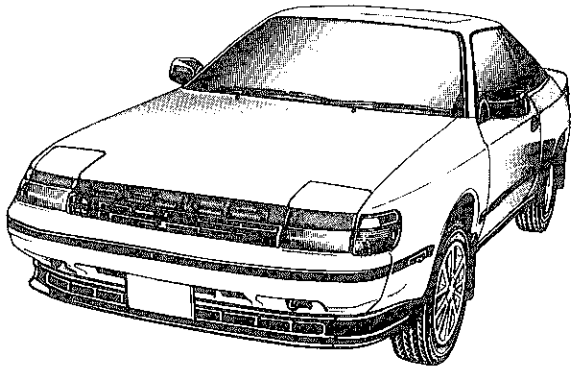
## ■概　要

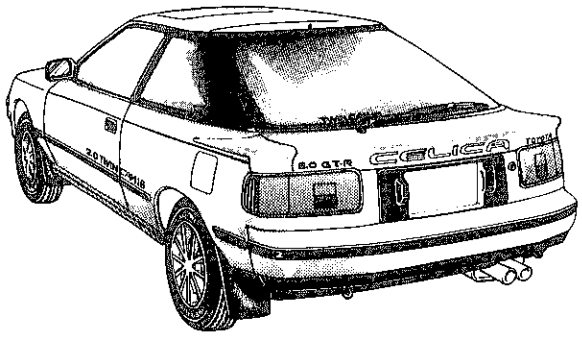
1．ＣＥＬＩＣＡネーム入りスモーク　アクリル製グリルを組み込んだ，スラント三面折れノーズを採用して空力特性の良い，スポーツ　スペシヤルテイ感をかもしだすフロント　スタイルとしました。

2．バツク　ドア　フレームとクオータ　ピラーの外板が外から見えないガラス　ツー　ガラス構造とし，軽快でスツキリしたキヤビン　スタイルとしました。

3．エアロ　パーツの設定等により，外観意匠の向上および空力特性の向上をはかりました。特に，リヤ　スポイラは大型三分割タイプを採用して，スポーテイ　イメージの躍動感あるリヤ　スタイルとしました。(除くＳＶ車)

4．スライド機構にチルト　アツプ機構が加わつた，電動チルト　＆　スライド　サン　ルーフを設定して，換気性能の向上をはかり，よりいつそう快適な走行を楽しむことができるようにしました。(除くＳＶ車)






CP0002, CP0003

## ■特　長

**外観意匠の向上**

1．ネーム入りスモーク　アクリル製グリルの採用……5－24
2．大型リヤ　スポイラの採用……5－23
3．ピラー　レス　バツク　ドア　ガラスの採用……5－31

**快適性の向上**

1．電動チルト　＆　スライド　サン　ルーフの採用……5－36

**空力特性の向上**

1．エア　カツト　フラツプ風バランス　パネルの採用……5－22
2．大型リヤ　スポイラの採用……5－23
3．ガラス類の面一化……5－30
4．モール類の面一化……5－25

無断複製禁止

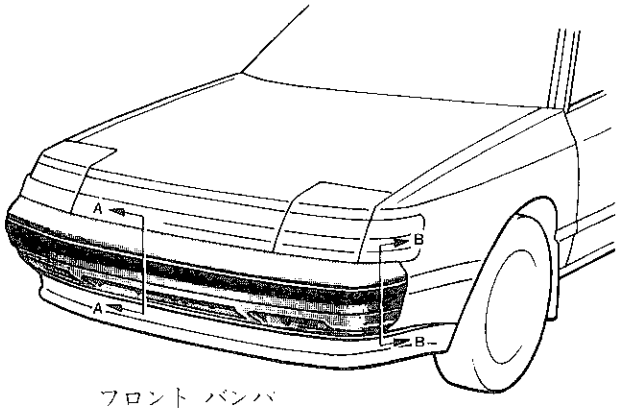
## ■機構説明

### □バンパ，スポイラ

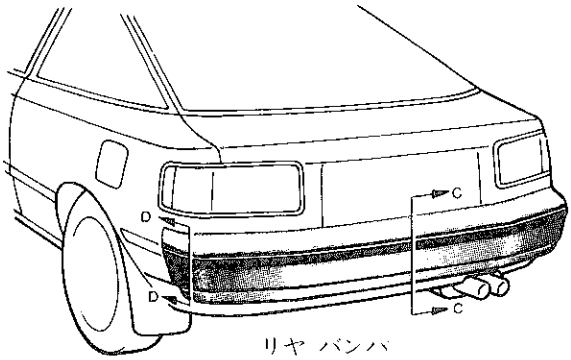
### 1．フロント　＆　リヤ　バンパ

●衝撃吸収ウレタン　バンパを全車に標準装備としました。また　ＳＴ以上のグレードには，外板色とコーデイネイトされたフアツシヨナブルなカラード　ウレタン　バンパを採用しました。

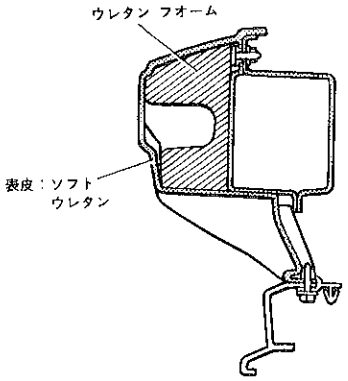
フロント　＆　リヤ　バンパ



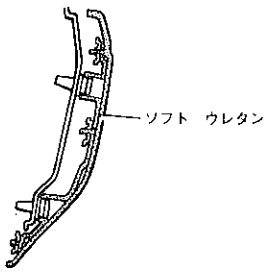

フロント バンパ



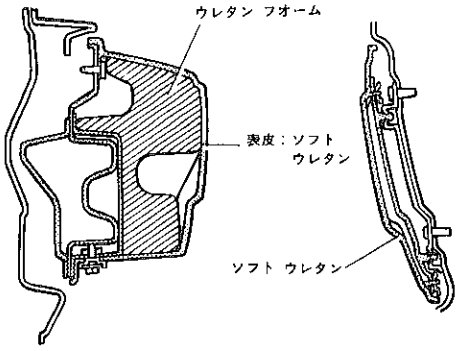

リヤ バンパ




A －A 断面

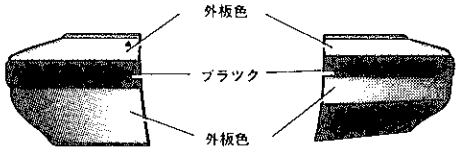



B －B 断面




C －C 断面

D －D 断面




カラード ウレタン バンパ塗り分け

**バンパ仕様**

| 種類＼グレード | SV | ST | SX | GT | GT-R |
|---|---|---|---|---|---|
| ウレタン　バンパ | ● | | | | |
| カラード ウレタン　バンパ | | ● | ● | ● | ● |

●：標準装備

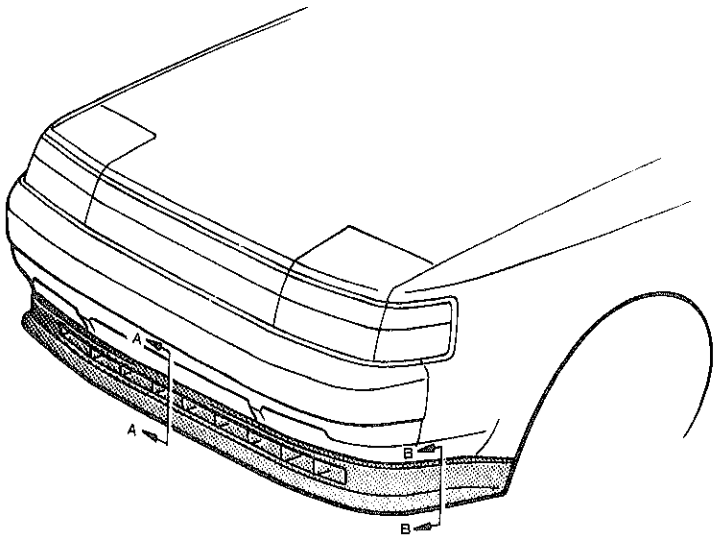
CB0027

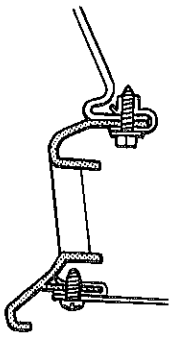
無断複製禁止

## 2．フロント　バランス　パネル

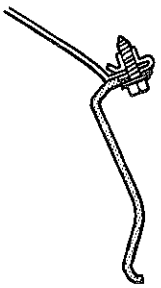
- 大型エア　カット　フラップ風バランス　パネルを全車に標準設定し，空力特性の向上およびフロント　マスクの外観意匠向上をはかりました。また，センター部にはエア取り入れ口を設けた形状として，冷却効果の向上もはかりました。
- フロント　バランス　パネルは黒素地のＰＰ製の３分割構造とし，サイド部はホイール　ハウス部まで回り込んだ形状として，耐チッピング*性および防錆性能の向上をはかりました。
- 取り付けは，フロント　バンパ　ロワー部とバランス　パネルの間にクリップを介してスクリュで固定しました。

**フロント　バランス　パネル**

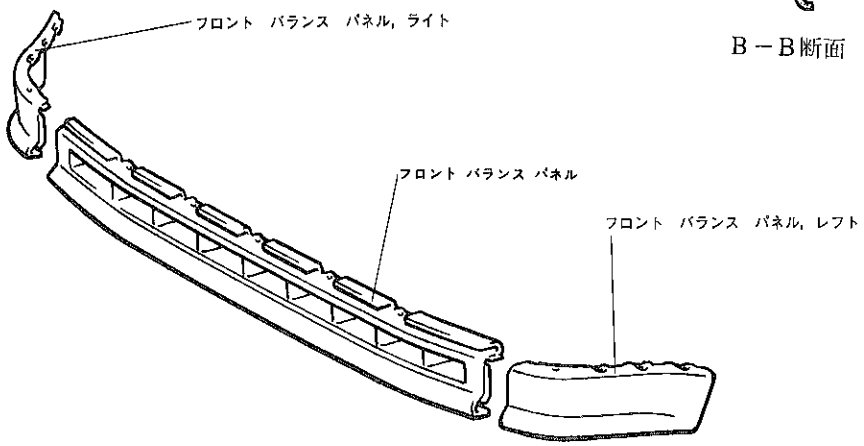


A－A断面



B－B断面




CB0028

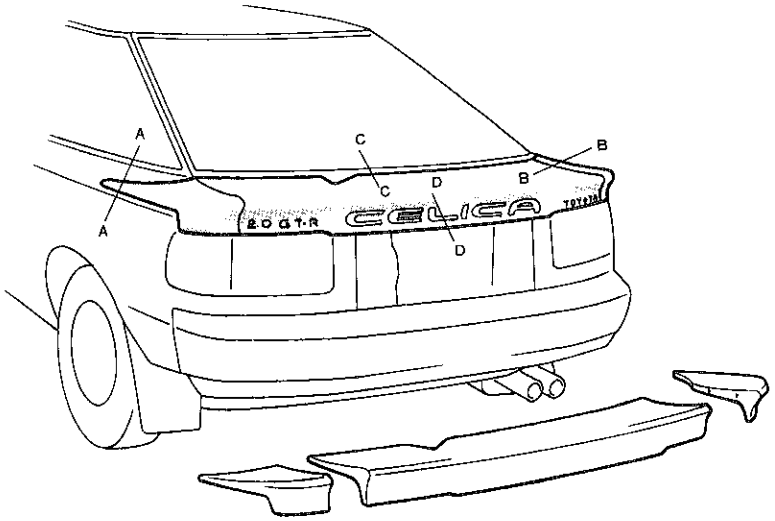
＊　チッピング（Chipping）：走行中に路面の砂利，岩塩などを跳ね上げ，それらがボデーに当たり，塗膜が欠損すること。

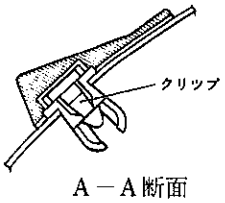
無断複製禁止

## 3．リヤ　スポイラ

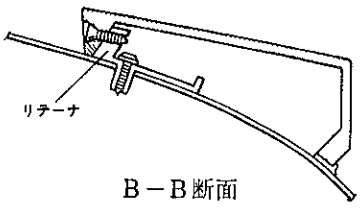
- リヤ　スポイラをＳＴ，ＳＸ車にはオプション，ＧＴ，ＧＴ－Ｒ車には標準装備としました。
- リヤ　スポイラはＦＲＰ製で，クオータ　パネルに回り込んだ大型三分割タイプを採用し，高速走行時の空力特性向上をはかりました。
- また，リヤ　スポイラ端部の厚みを押さえ外板と一体感のある形状とするとともに，ボデー外板色に塗装をほどこし，スポーティで精悍なリヤ　ビューとして，外観意匠の向上をはかりました。
- リヤ　スポイラ取り付けは，リテーナを介してボルト，ナットおよびクリップで取り付ける構造としました。

リヤ　スポイラ

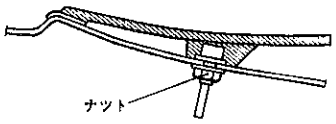


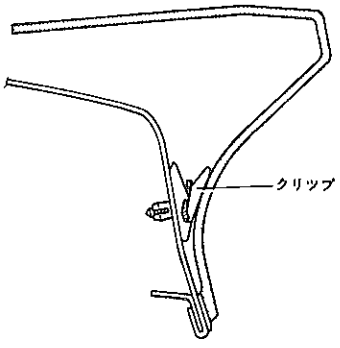

A－A断面




B－B断面




C－C断面




D－D断面

CB0029

無断複製禁止

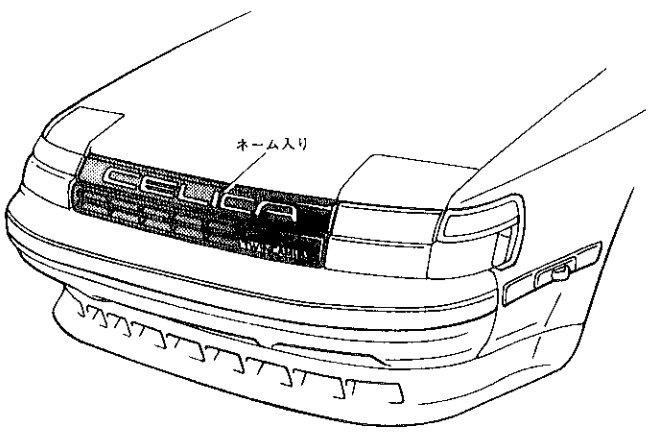
## □ラジエータ　グリル，ガーニツシユ

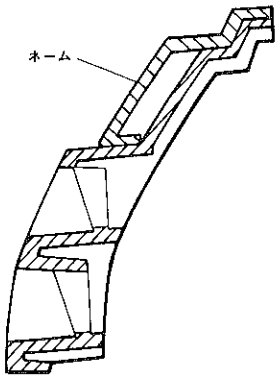
### 4．ラジエータ　グリル

● 上部にＣＥＬＩＣＡ　ネーム入りスモークド　アクリル製グリルを採用して品質感の向上をはかりました。

● グリルは大きくスラントし平面的な形状として，空力特性の向上をはかりました。

ラジエータ　グリル



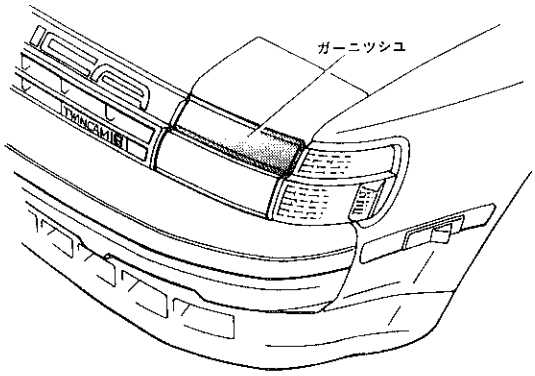

一般断面

CB0030

### 5．リトラクタブル　ヘツドランプ　カバー　ガーニツシユ

● ヘツドランプ　カバーにラジエータ　グリルと一体感のあるガーニツシユを付けて，品質感，外観意匠の向上をはかりました。

リトラクタブル　ヘツドランプ　カバー　ガーニツシユ




CB0031

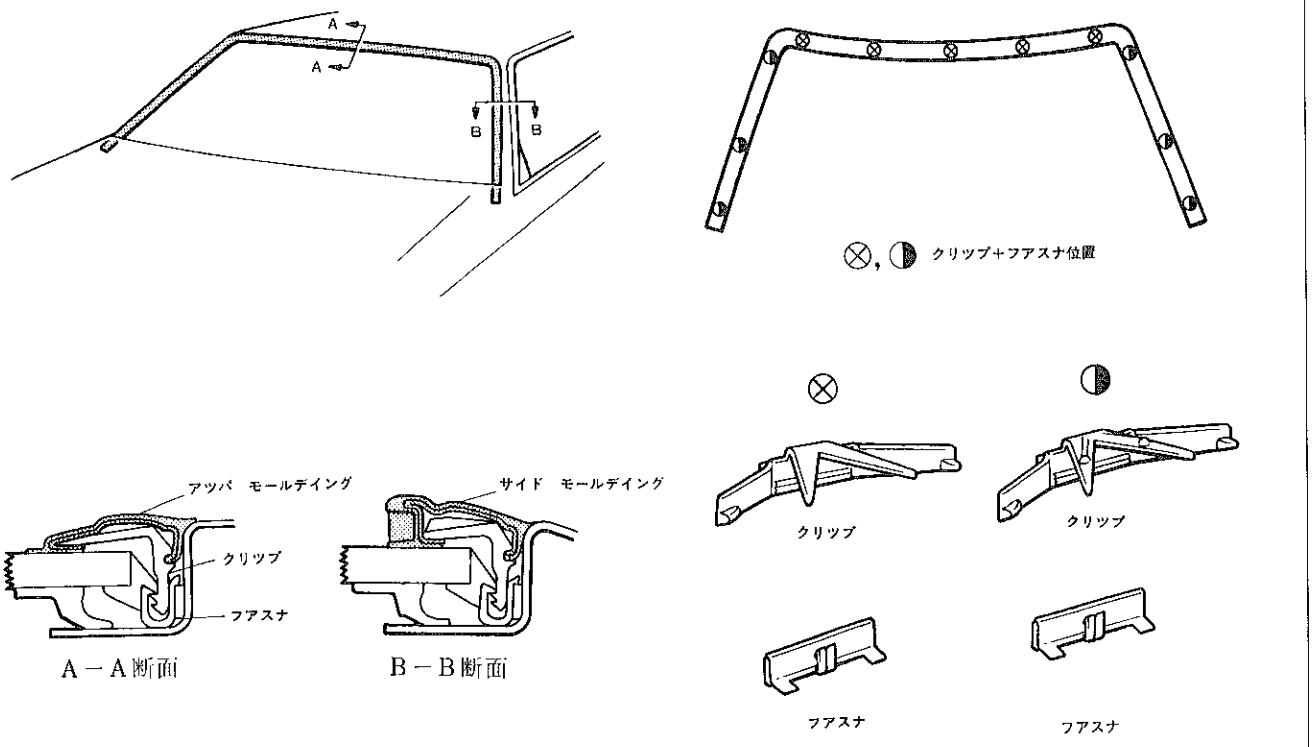
無断複製禁止

## □モール類

### 6．ウインドシールド　モール

●ウインドシールド　モールはボデーの面一化に伴い薄く段差の少ない形状とし，空力特性および外観意匠の向上をはかりました。

ウインドシールド　モール

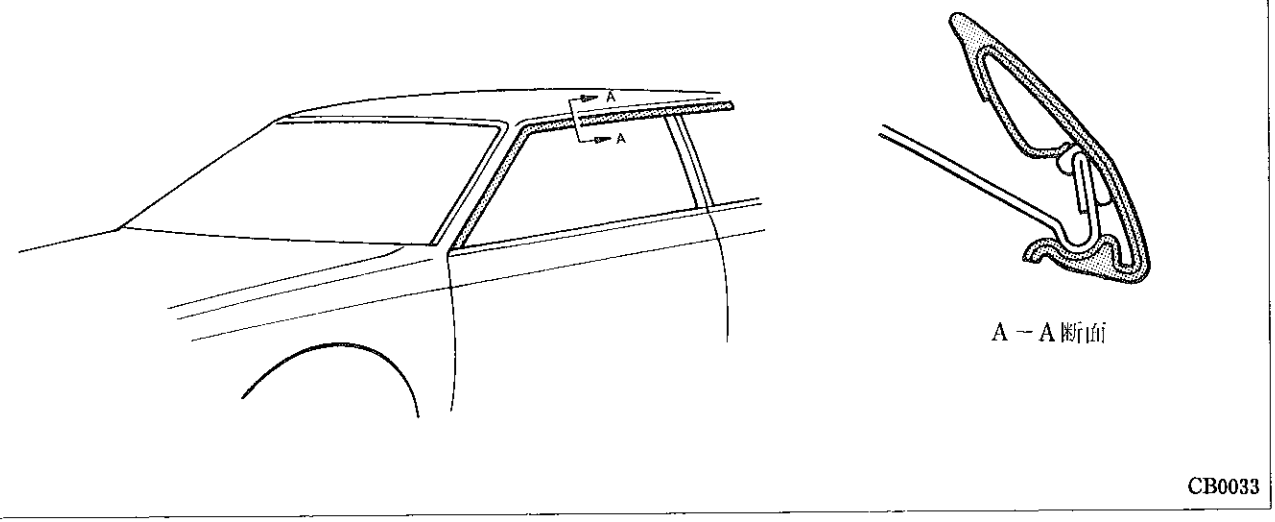



CB0032

### 7．ルーフ　ドリツプ　モール

●フロント　ピラーなどボデーに密着したルーフ　ドリツプ　モール構造で風切り音の低減をはかりました。

ルーフ　ドリツプ　モール



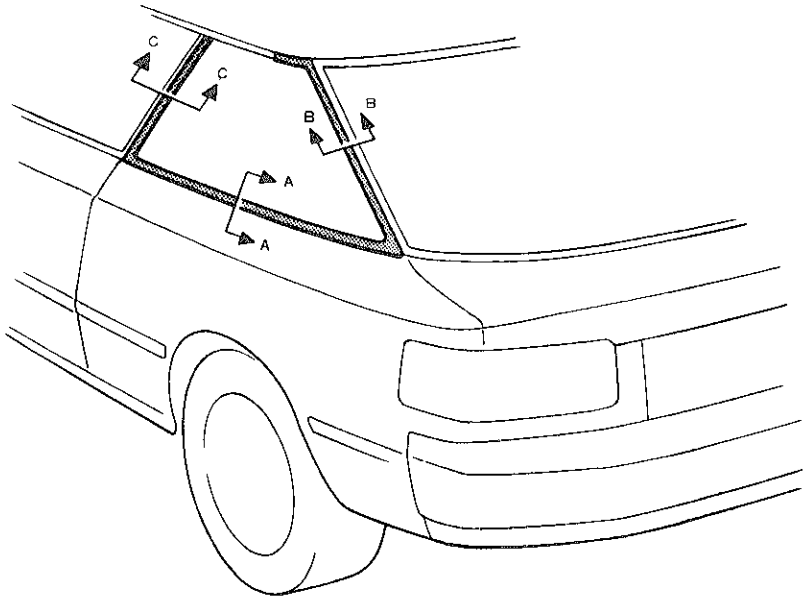

CB0033

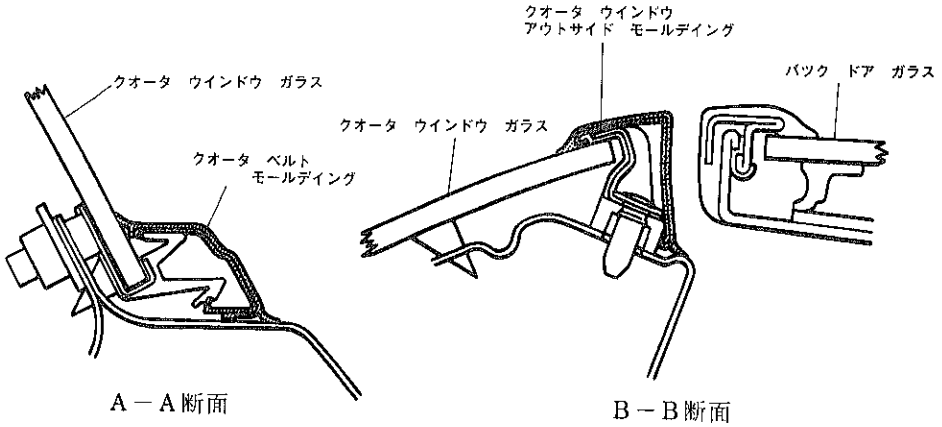
無断複製禁止

## 8．クオータ　ウインドウ　モール

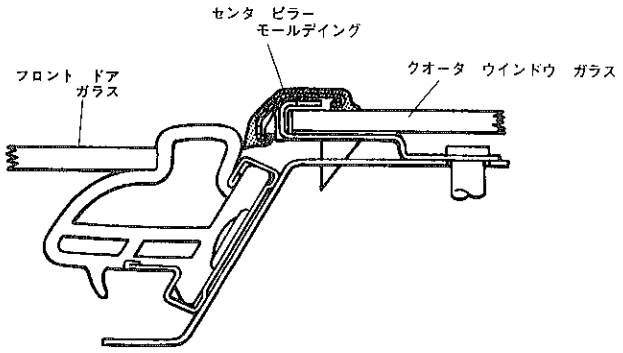
●クオータ　ウインドウ　モールは面一化をはかり，とくにバツク　ドアとは滑めらかにつながる，ガラス面からボデーとモールとの段差を少なくした形状としました。

クオータ　ウインドウ　モール




A－A断面　　B－B断面




C－C断面

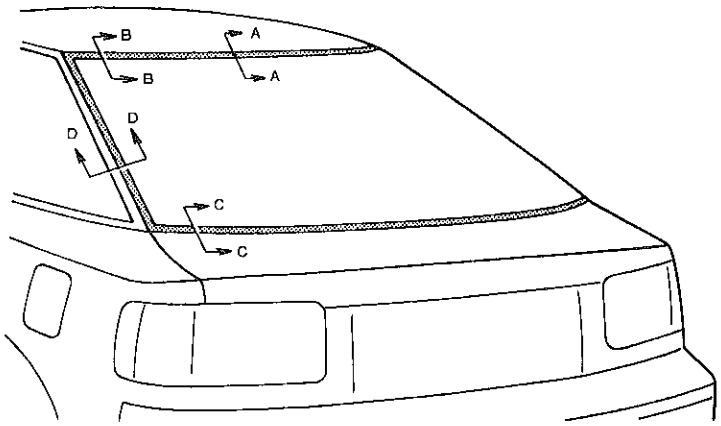
CB0034

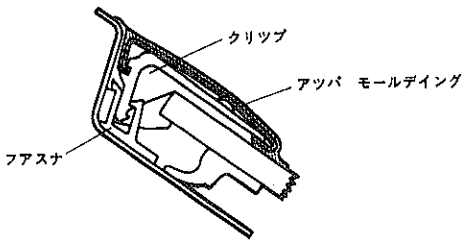
無断複製禁止

## 9．バツク　ドア　モール

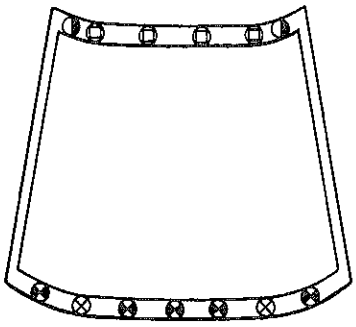
- バツク　ドア　ガラスが接着タイプに変更されたに伴い，バツク　ドア　モールもウエザストリツプにはめ込むタイプから，ウインドシールド　モールと同様にクリツプで取り付ける樹脂モールとしました。
- バツク　ドア　モールはクオータ　ウインド部とつながり感のある面一化をはかつた形状とし，外観意匠の向上をはかりました。

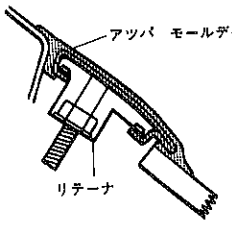
バツク　ドア　モール



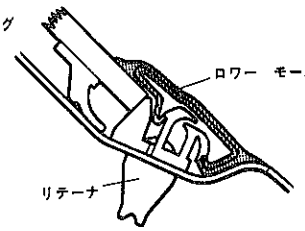




A—A断面

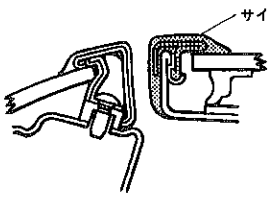





B—B断面

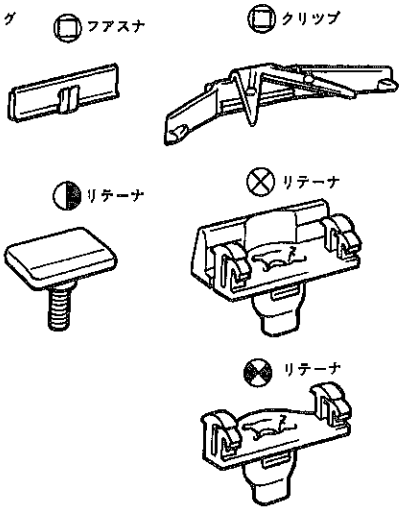



C—C断面




D—D断面

各部断面




フアスナ、クリツプ、リテーナ形状
&　取り付け位置

CB0035

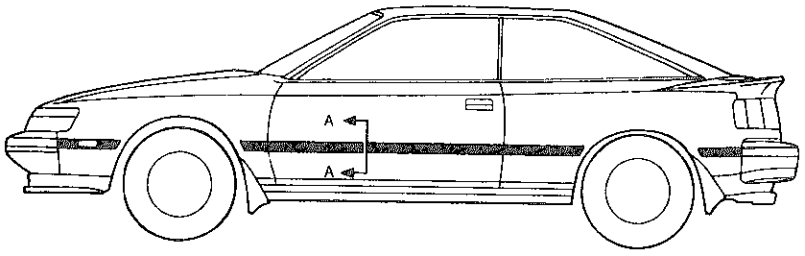
無断複製禁止

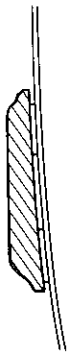
## 10. サイド　プロテクシヨン　モールデイング

● 貼り付けタイプのサイド　プロテクシヨン　モールデイングを効果的な位置に，ＳＶグレードを除いた全車に装着して，ボデーの損傷を防止しました。

● また，バンパ　パツド部と同じ高さにすることでボデー全周に回り込んだ外観となり，ボデー　スタイルとマツチした見栄えの良いものとなつています。

サイド　プロテクシヨン　モールデイング



A−A断面

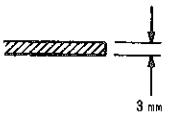
CB0036

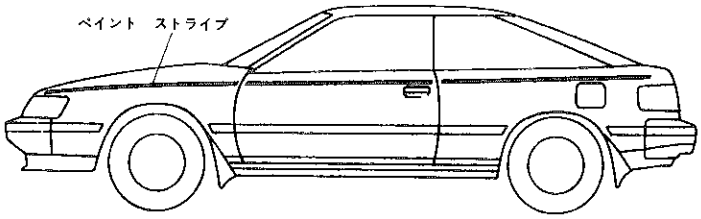
## □ストライプ，マーク類

## 11. ペイント　ストライプ

● １本線のペイント　ストライプをボデー　カラーにあわせて３色，ＳＸ，ＧＴ，ＧＴ−Ｒ車に標準で設定しました。

ペイント　ストライプ




ペイント　ストライプ仕様一覧表

| 外　板　色 | ストライプ色 |
|---|---|
| ミデイアム　ブルー　メタリツク | ホワイト |
| シルバー　メタリツク，シエル　メタリツク | ブラツク |
| ホワイト，スーパーレツドⅡ | グレー |

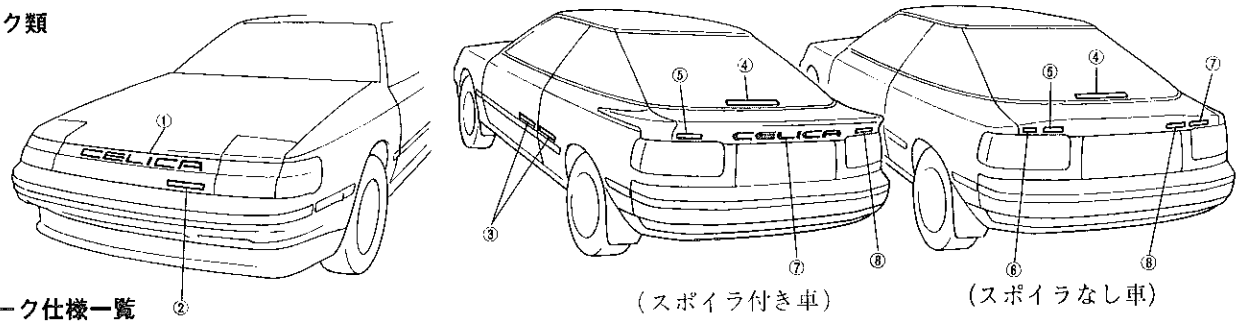
CB0037

無断複製禁止

## 12. マーク類

● 各マークの意匠および取り付け位置を以下のように設定しました。

マーク類




マーク仕様一覧

| 番号 | 名　称 | 意　　匠 |
|---|---|---|
| ① | ラジエータ グリル オーナメント | CELICA |
| ② | ラジエータ グリル メカニズム プレート | TWIN CAM 16 |
| ③ | サイド ストライプ | TWIN CAM 16　2.0 TWIN CAM 16 |
| ④ | バック ドア ガラス メカニズム プレート | Ci　TWIN CAM 16 |
| ⑤ | グレード マーク（スポイラ付き車） | ST　SX　GT<br>2.0 GT　2.0 GT-R |
| ⑤ | グレード マーク（スポイラなし車） | SV　ST　SX<br>GT　GT-R |
| ⑥ | 排気量マーク（スポイラなし車） | 2.0 |
| ⑦ | モデル マーク（スポイラ付き車） | C E L I C A |
| ⑦ | モデル マーク（スポイラなし車） | CELICA |
| ⑧ | メーカー マーク（スポイラ付き車） | TOYOTA |
| ⑧ | メーカ マーク（スポイラなし車） | TOYOTA |

CB0038　CB0039　CB0040

無断複製禁止

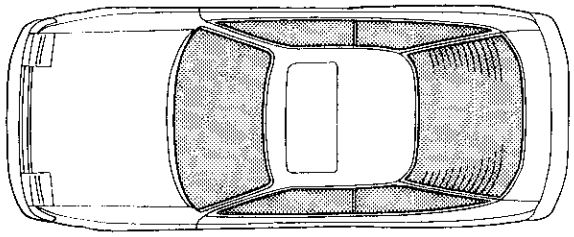
## □ガラス.ウエザストリップ

### 13. ガラス仕様

**各部ガラス仕様**

| 部　位 | ガラス　の　種　類 | 板厚(mm) |
|---|---|---|
| フロント | 熱線吸収合わせガラス　SV, ST, GT車 | 5.3 |
| | 熱線吸収合わせガラス　SX, GT−R車<br>（グリーンのトップ　シエード付き） | |
| フロント　ドア | 熱線吸収強化ガラス | 5.0 |
| クオータ | 熱線吸収部分強化ガラス | 3.5 |
| バック　ドア | 熱線吸収部分強化ガラス<br>（デフオツガ＋アンテナ付き） | 4.0 |

ガラス仕様

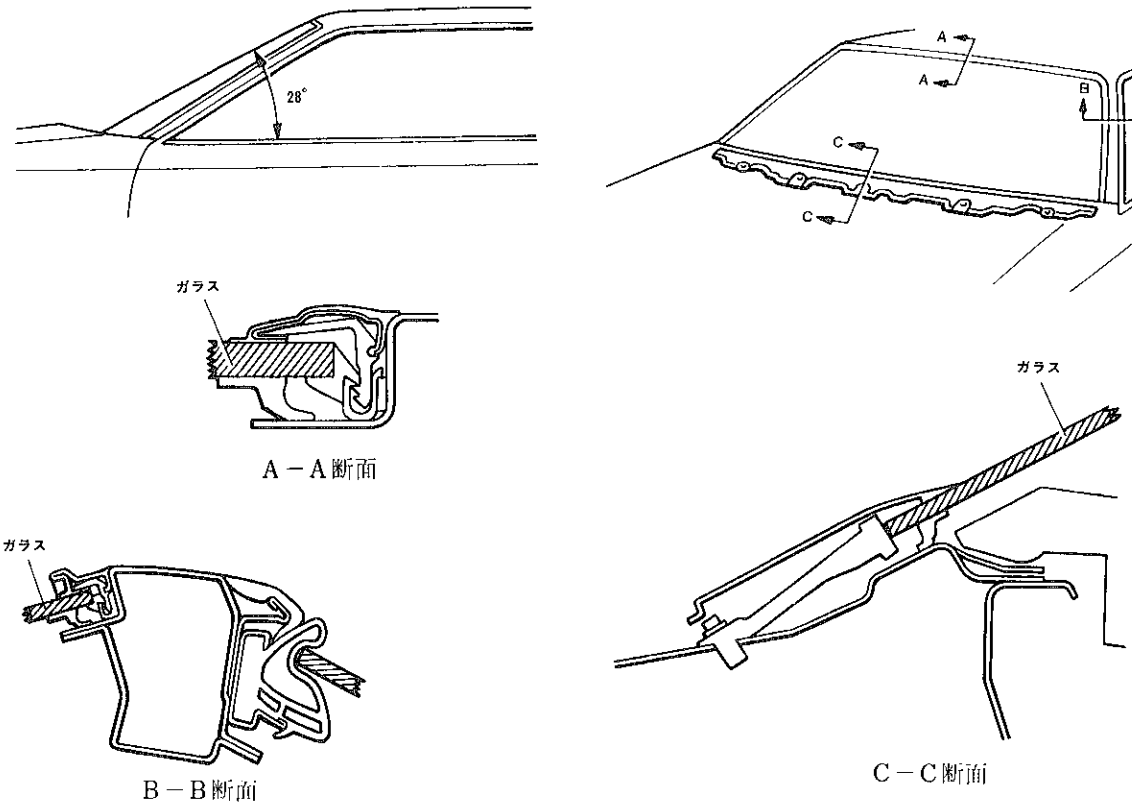


CB0041

### 14. ウインドシールド　ガラス

● ウインドシールド　ガラスの傾斜角を２８°と小さくとり，また外板面およびモールデイングとの段差を小さくすることにより，空気特性の向上をはかりました。

ウインドシールド　ガラス



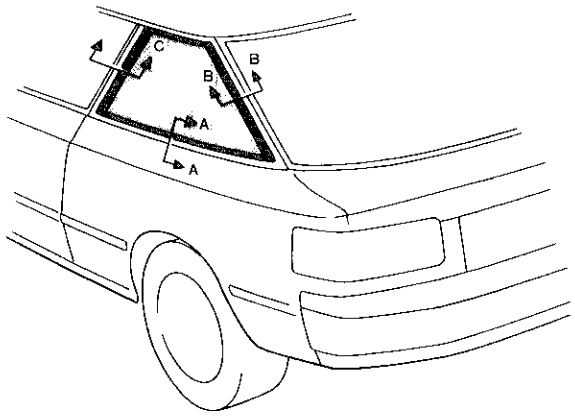

CB0042

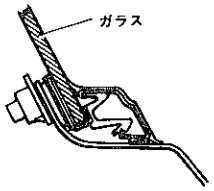
無断複製禁止

## 15. クオータ　ウインドウ　ガラス

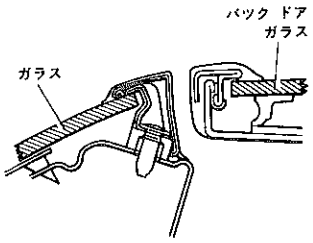
- クオータ　ウインドウ　ガラスは，ボデー外付けとしボデー表面との段差を少なくしました。
- ガラスの内側外周にセラミツク　コーテイングを施し，外観意匠の向上をはかりました。

クオータ　ウインドウ　ガラス

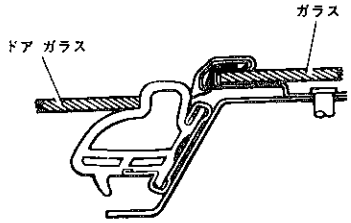



A－A断面




B－B断面



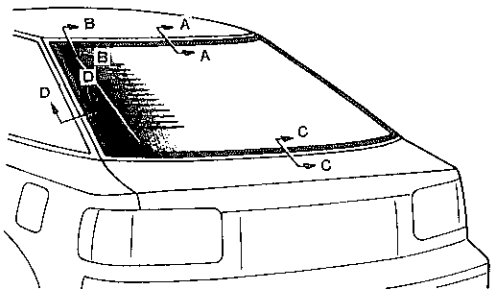

C－C断面

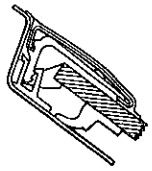
CB0043

## 16. バツク　ドア　ガラス

- バツク　ドア　ガラスを接着タイプとし，板金部とガラス部の表面段差を小さくし，風切り音の低減および外観意匠の向上をはかりました。
- ガラス内側外周にセラミツク　コーテイングを施し，外観意匠の向上をはかりました。

バツク　ドア　ガラス

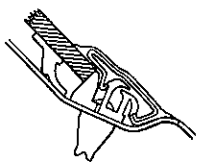


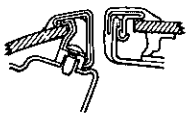
A—A断面



B—B断面



C—C断面



D—D断面

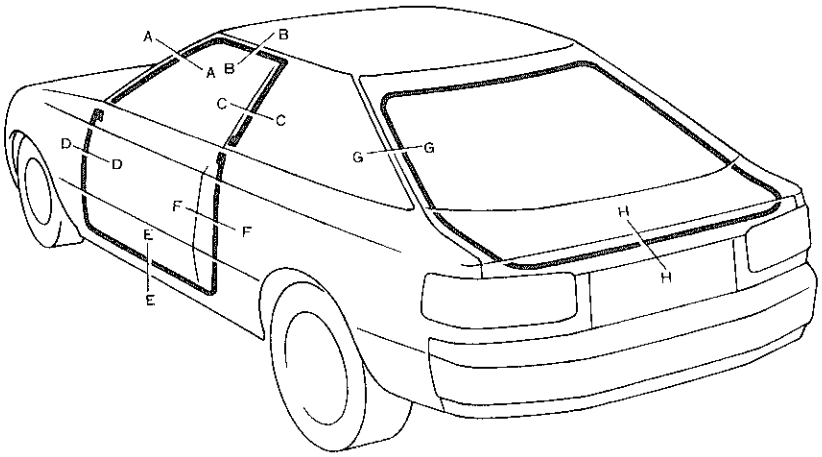
CB0044

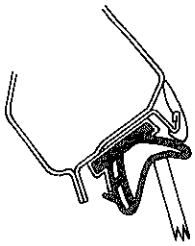
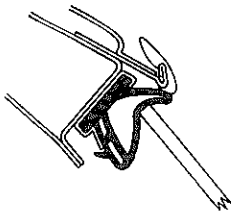
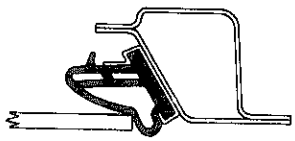
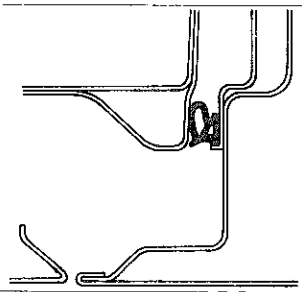
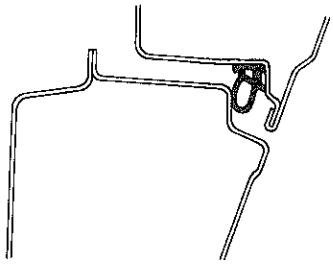
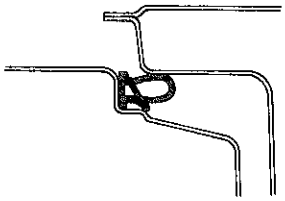
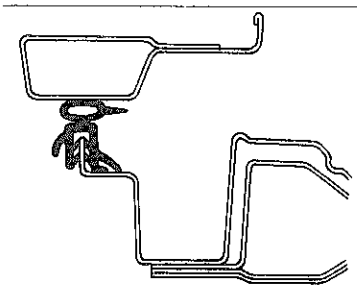
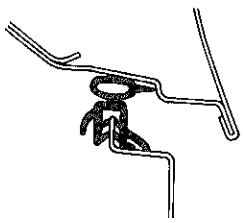
無断複製禁止

## 17. ウエザストリップ

● 各ウエザストリップは，ドア周りの面一化および高いシール性を配慮したウエザストリップ形状とし，雨漏れ，風切り音の低減をはかりました。

ウエザストリップ




| A－A | B－B | C－C |
|---|---|---|
|  |  |  |
| **D－D** | **E－E** | **F－F** |
|  |  |  |
| **G－G** | **H－H** | |
|  |  | |

CB0045

無断複製禁止

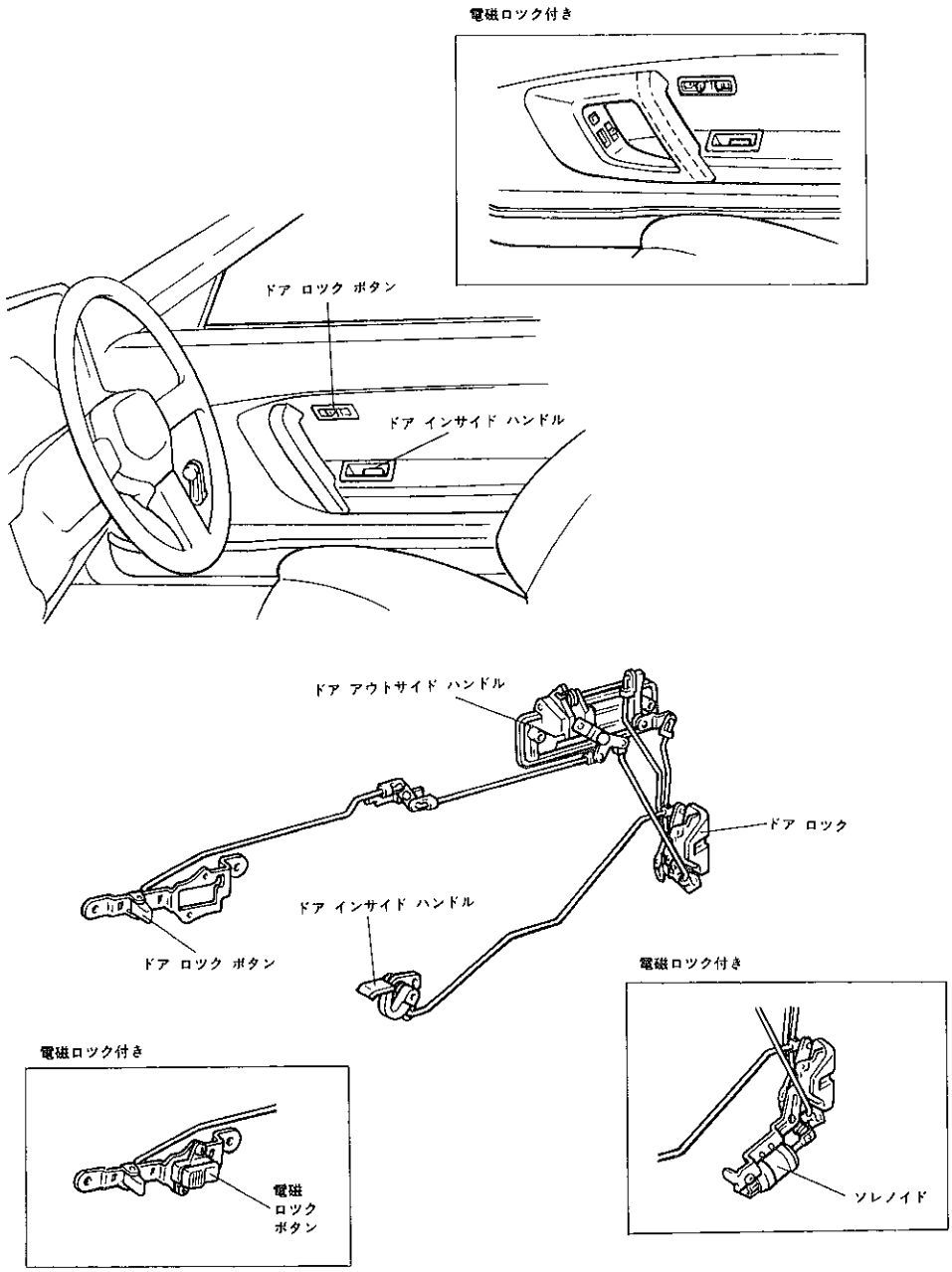
## □機能部品

### 18. ドア　ロツク

● ドア　アシスト　グリツプを中心に前側にレギユレータ　ハンドルまたはパワー　ウインドウ　スイツチを，後側にはインサイド　ハンドルおよびドア　ロツク　ボタンの使い易いレイアウトとしました。

● ドア　ロツク　コントロールの仕様は下図のようになつています。

ドア　ロツク




ドア　ロツク　コントロール仕様

| 種類＼グレード | SV | ST | SX | GT | GT-R |
|---|---|---|---|---|---|
| マニユアル式ドア　ロツク | ● | ● | ● | ● | |
| 電磁式ドア　ロツク | | | | ○ | ● |

●：標準装備　○：オプシヨン

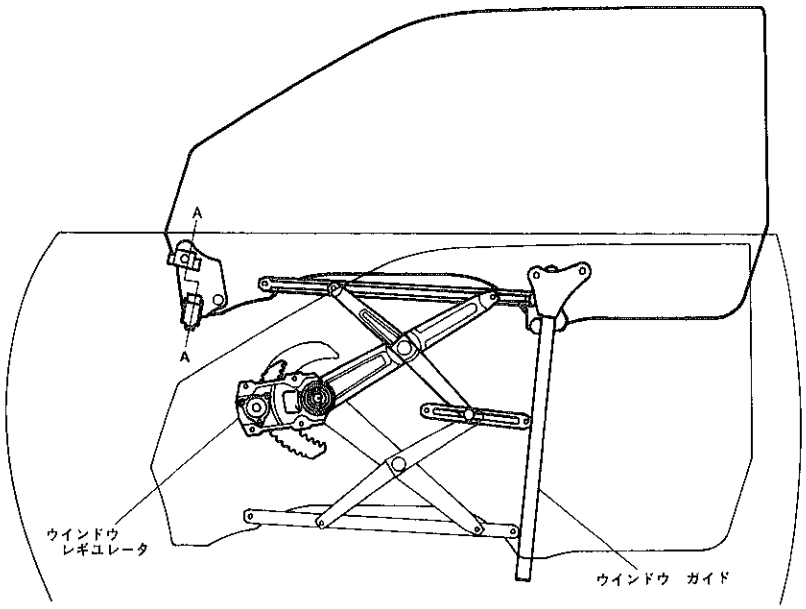
CB0046

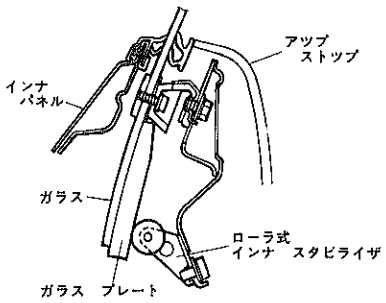
無断複製禁止

## 19. ドア　ウインドウ　レギュレータ

● 従来同様に一本ガイドのXアーム式ウインドウ　レギュレータを採用しました。また，インナ　スタビライザを設定して，高速走行時のドア　ガラスの吸い出し現象を防止しました。

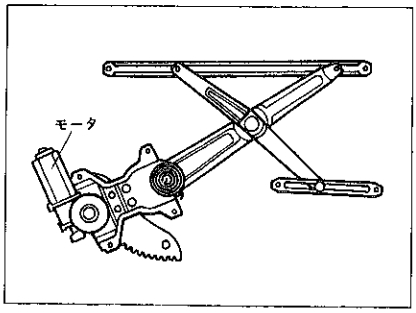
ドア　ウインドウ　レギュレータ




A－A断面

パワー　ウインドウ用




ドア　ウインドウ　レギュレータ仕様

| グレード / 種類 | SV | ST | SX | GT | GT-R |
|---|---|---|---|---|---|
| マニュアル　ウインドウ | ● | ● | | ● | |
| パワー　ウインドウ | | | ● | ○ | ● |

●：標準装備　　○：オプション

CB0047

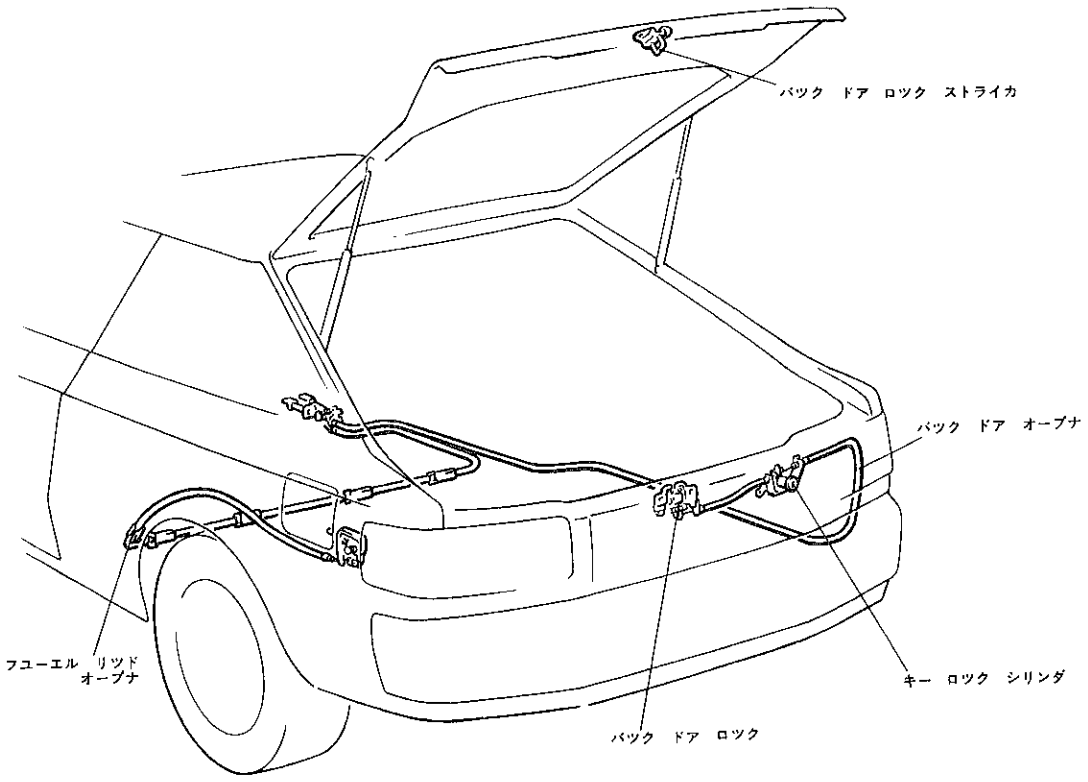
無断複製禁止

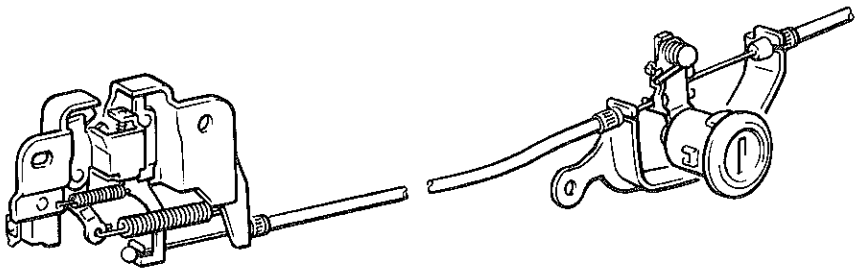
## 20. バツク　ドア　ロツク　&　各オープナ

● ケーブル式リモート　コントロールのバツク　ドア　オープナおよびフユーエル　リツド　オープナを全車に標準装備しました。

● バツク　ドア　ロツクには，バツク　ドア　オープナでは開かないようにできるキヤンセル機構を全車に採用し，リヤ　シート　バツクに付けられているロツク機構（シート参照）および，パツケージ　トレイ　トリムを固定するロツク機構（トリム類参照）などのセキユリテイ*1　ロツク機構とあいまつて，デツキ部内の荷物の盗難防止をはかりました。

バツク　ドア　ロツク　&　各オープナ



キヤンセル機構付きバツク　ドア　ロツク機構

CB0048

*1　セキユリテイ（Secwrity）:安全無事，安心，安全にするもの。

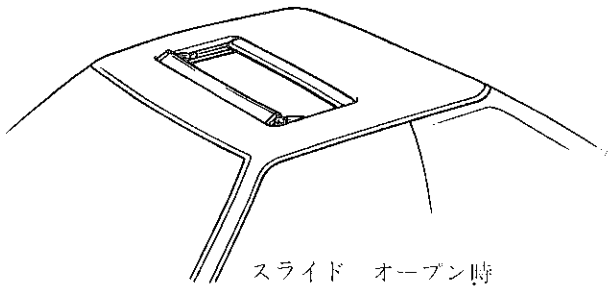
無断複製禁止

## □サン　ルーフ

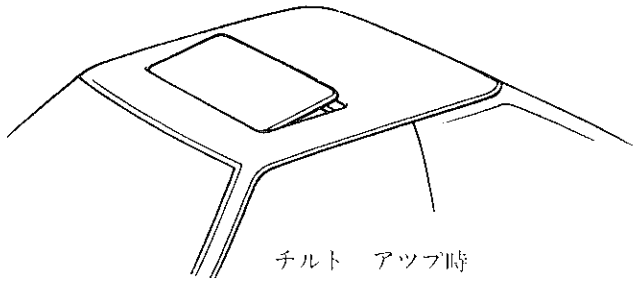
### 21. 電動チルト　&　スライド　サン　ルーフ

- スイツチ　ボタン操作で，スライド作動による開閉およびスライド　パネル後端を約４０㎜チルト　アツプすることができる電動チルト　&　スライド　サン　ルーフをＳＶを除く全車にオプシヨン設定しました。
- チルト　アツプ時には，サン　ルーフ　ヘツドライニング中央部が盛り上がる構造となつているため室内の換気がスライドパネルをスライドさせることなく容易に行えます。またスライド　オープン時に比べて換気性能が良く，風切り音も少ないため快適な走行ができます。
- 従来同様にスライド　オープン時には，室内の開放感をもり上げ十分な採光を得ることができます。

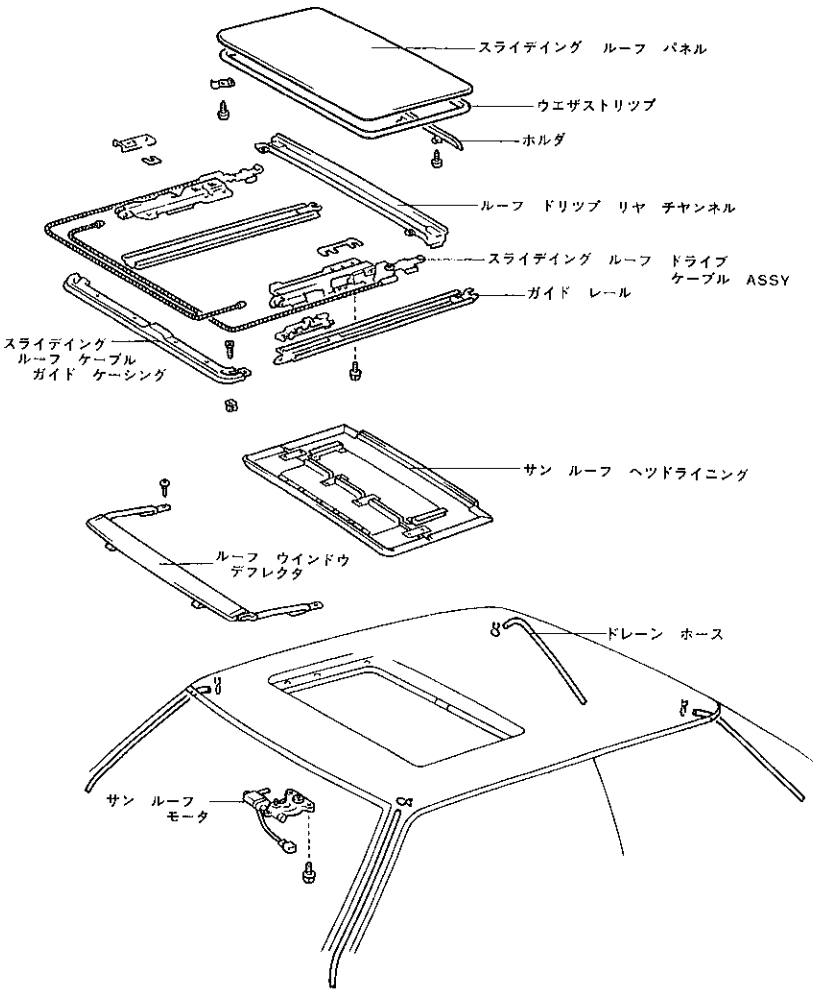
サン　ルーフ



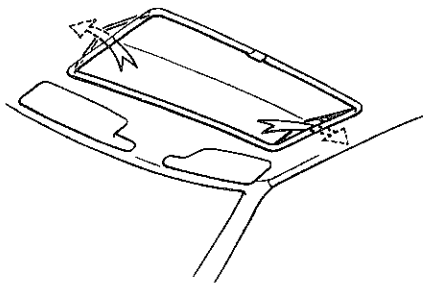
スライド　オープン時



チルト　アツプ時




構　成　図



チルト　アツプ時(室内側)

CB0049　CB0050

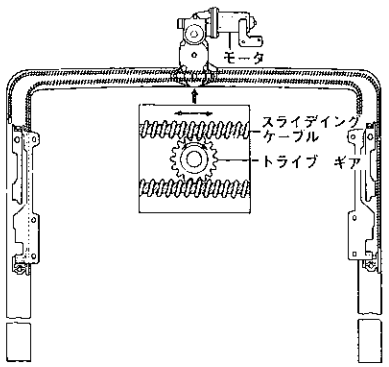
無断複製禁止

▶構造と作動

〔1〕スライデイング機構

スライデイング　ルーフ　パネルの移動は，室内に設けられたモータのドライブ　ギヤの回転によりスライデイング　ケーブルを摺動させ，それと結合されたスライデイング　ルーフ　パネルを前後およびチルト　アツプさせます。

スライデイング機構




C1822

〔2〕リンク機構

（1）機能

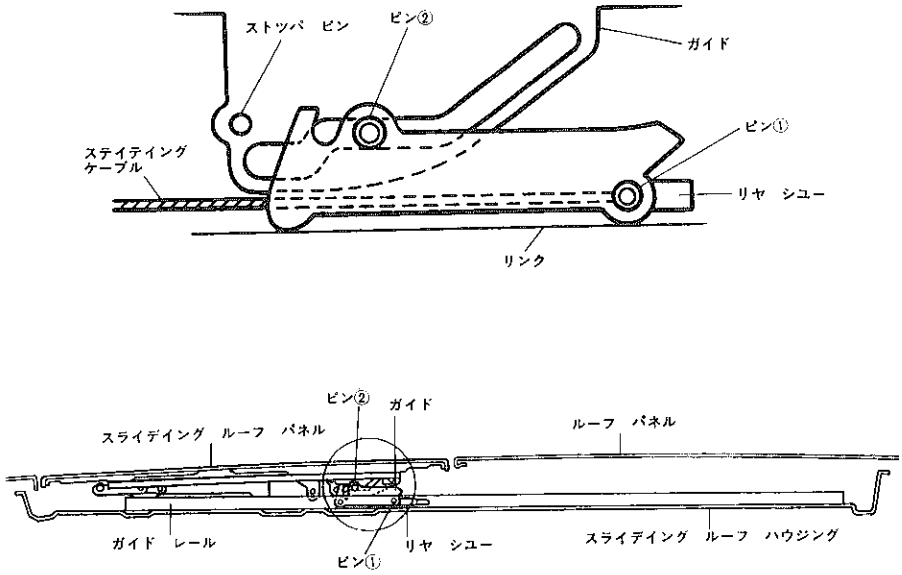
サン　ルーフは，スライド開閉およびチルト　アツプを一つのモータで作動させています。このためチルト　アツプ作動およびリフト　ダウン作動を行う場合にスライデイング　ルーフ　パネルの作動を切り替えるものです。

（2）作動

① スライデイング　ルーフ　パネル全閉位置

パネル全閉位置ではピン②がガイドの長溝部中央にあり，スライデイング　ルーフ　パネルはルーフ　パネルと同一面上にあります。

スライデイング　ルーフ　パネル全閉位置



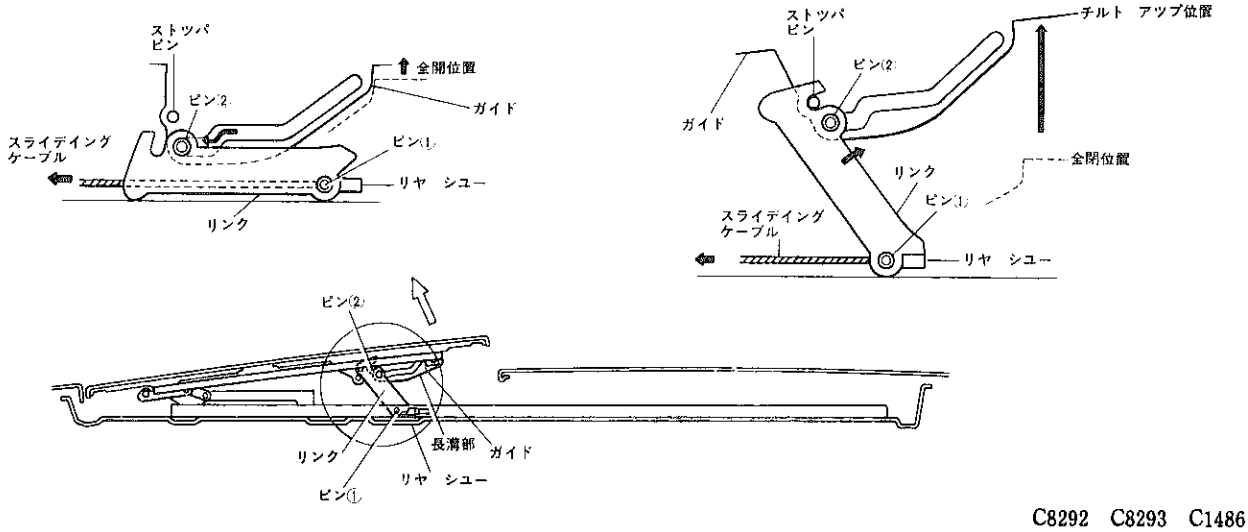

C8291, C1486

無断複製禁止

② チルト　アツプ作動

ドライブ　ギヤが回転し，スライデイング　ケーブルが引かれるとケーブルと結合されているリヤ　シユーも引かれ，前方に移動します。これによりリヤ　シユーとピン①によつて結合されているリンクも動くため，ピン②はガイドの長溝部前端まで移動し，スライデイング　ルーフ　パネルは全閉位置から数mm浮き上がつた状態になります。さらにリヤ　シユーが前方に移動すると，リンクはピン②を支点として起き上がり，スライデイング　ルーフ　パネル後部を持ち上げ，チルト　アツプした状態となります。

チルト　アツプ位置

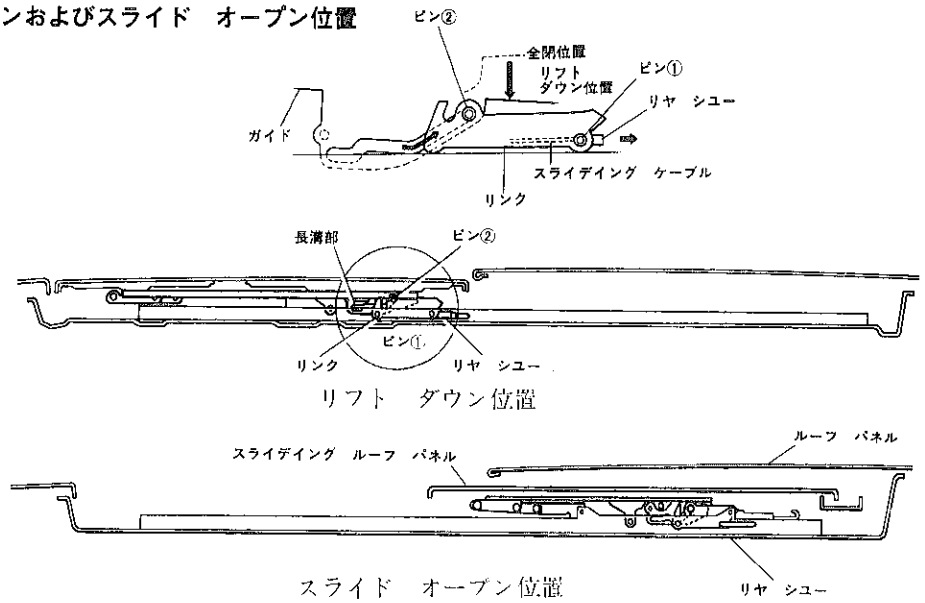



C8292　C8293　C1486

③ リフト　ダウンおよびスライド　オープン作動

ドライブ　ギヤが回転し，スライデイング　ケーブルが押されると，リヤ　シユーも押されることにより，リンクが後方に移動し，ピン②がガイド長溝部後端まで移動してスライデイング　ルーフ　パネル後部は下がり，リフト　ダウン状態になります。さらにリヤ　シユーが後方に移動するとリンクおよびガイドが後方に引かれるためスライデイング　ルーフ　パネルは後方に移動します。

リフト　ダウンおよびスライド　オープン位置




C8294　C1487　CB0051

無断複製禁止

## □その他の外装部品

### 22. マツド　ガード

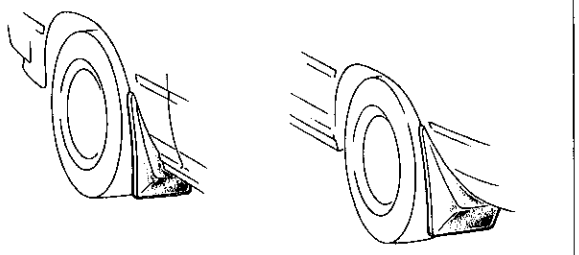
●ボデー　スタイルにマツチした専用のフロントおよびリヤ　マツド　ガードをＧＴ，ＧＴ－Ｒに標準装備とし，はね石等によるボデーの損傷を防止しました。

マツド　ガード仕様

| 品名＼グレード | ＳＶ | ＳＴ | ＳＸ | ＧＴ | ＧＴ-Ｒ |
|---|---|---|---|---|---|
| フロント，リヤ　マツド　ガード | △ | △ | △ | ● | ● |

●：標準装備　　△：データ　オプション

マツド　ガード仕様



フロント　　リヤ

CB0052

MEMO

無断複製禁止

# 5.3 ボデー内装部品

## ■概　要

1．形，色，材質の調和をはかり，部位，部品を可能なかぎり継いだ室内空間とし，軽快なスポーツ感覚あふれるインテリアデザインとしました。

2．メータ　フードを最大限に突出させた特徴あるインストルメント　パネルにするとともに，サイド部はドア　トリムと一体感のある形状としました。

3．成形ドア　トリムの採用により，室内幅の拡大をはかりました。

4．一本のスイツチ　レバーでランバーとサイド　サポートが調節できる電動ランバー　&　サイド　サポートを組み込んだ，8ウエイ　スポーツ　シートを新装備しました。

5．大きな動きと小さな動きを両立させた，ワンタツチ　メモリー付きステツプ　レス　リクライニング機構をスポーツ　シートに採用しました。

6．フロントとリヤを一体にしたフロア　カーペツトを採用して，外観意匠の大幅向上をはかりました。

7．リヤ　シートとパツケージ　トレイにセキユリテイ　ロツクを設置して，デツキ内荷物の盗難防止をはかりました。

## ■特　長

| | |
|---|---|
| 室内空間の拡大 | 1．成形ドア　トリムの採用……5－56 |
| 豪　華　さ | 1．スラツシユ成形によるインストルメント　パネルの採用……5－42<br>2．立体ドア　トリムの採用……5－56<br>3．立体張フアブリツク　ドア　オーナメントの採用……5－56<br>4．一体式フロア　カーペツトの採用……5－60 |
| 快適性・便利性の向上 | 1．大型コンソール　ボツクスの採用……5－44<br>2．大型ドア　ポケツトの採用……5－57<br>3．パツケージ　トレイ　ボードの採用……5－61<br>4．リヤ　シート　セキユリテイ　ロツクの採用……5－55 |
| 使用性・操作性の向上 | 1．電動ランバー　&　サイド　サポートの採用……5－52<br>2．ワンタツチ　メモリー付きステツプ　レス　リクライニング機構の採用……5－48 |
| 振動・騒音の低減 | 1．ビーム式インストルメント　パネル　リインホースメントの採用……5－41 |

無断複製禁止

## ■機構説明

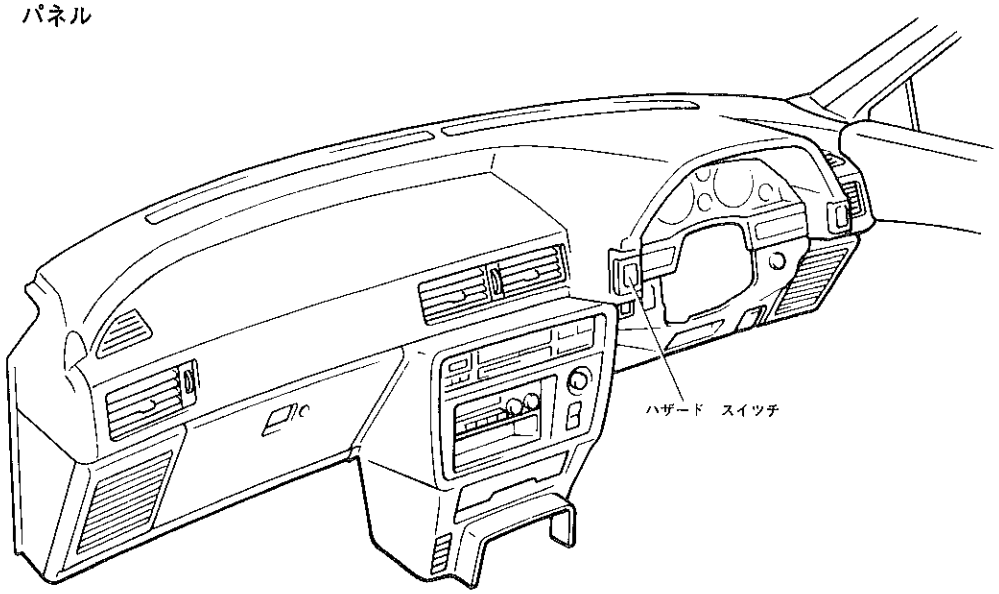
### □運転席回り

### 1．インストルメント　パネル

●インストルメント　パネルはフロント　ピラーとドア　トリムが一体感のある造形とし，メータ　フードを最大限に突出させた特徴あるスタイルとしました。

●メータ　フード先端の見易く，使い易い所にハザード　スイツチを設置するなど，機能部品の視認性，操作性を十分考慮したレイアウトとしました。

インストルメント　パネル

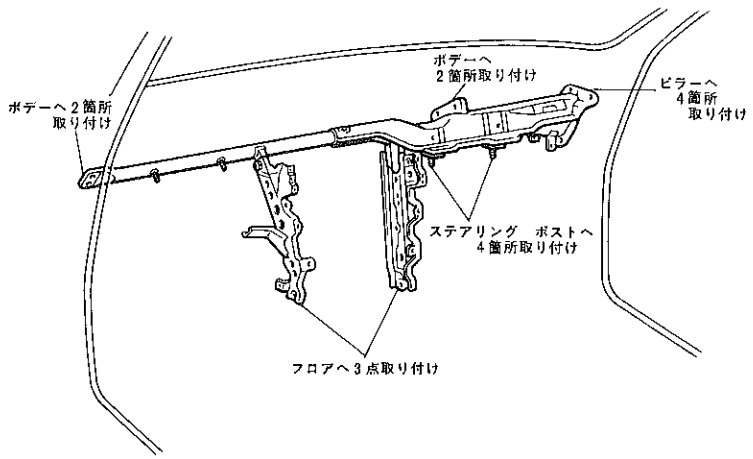



CB0053

（1）インストルメント　パネル　リインホースメント

両フロント　ピラー間にビーム式リインホースメントを採用し，ステアリング，ラジオ等の支持部の剛性を高め，振動，騒音の低減をはかりました。

インストルメント　パネル　リインホースメント



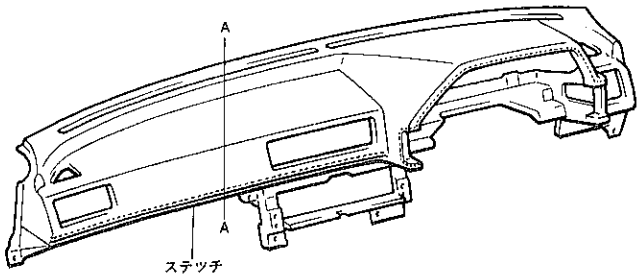

CB0054

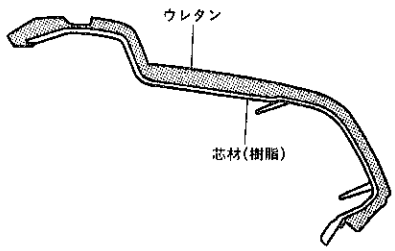
無断複製禁止

（2）インストルメント　パネル

セーフテイ　パツドは，パウダ　スラツシユ＊1表皮一体発泡式ウレタン　パツドを採用して，きめ細かなシボ，ステツチなどで，ソフト感，品質感をかもし出しました。

インストルメント　パネル



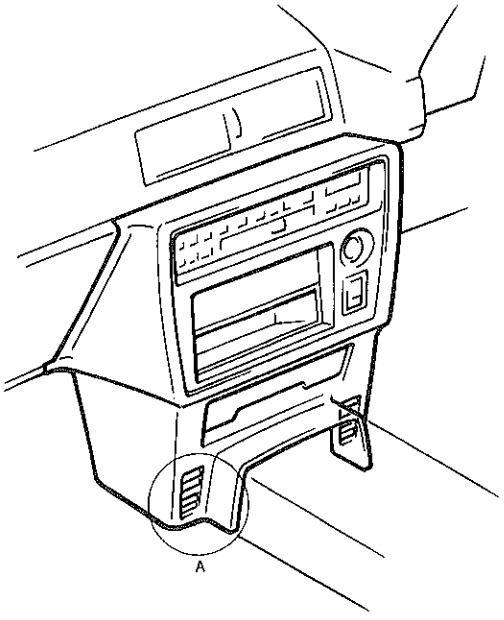

A－A断面

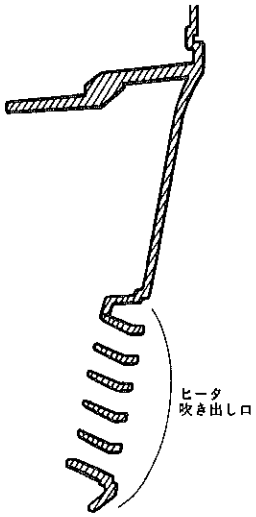
CB0055

（3）センタ　クラスタ

インストルメント　パネル部からフロアまでを継ぐ，大型センタ　クラスタを採用しました。また，ロワー部にはヒータ吹き出し口が設けられており，後部席乗員の快適性向上をはかりました。

センタ　クラスタ




A部断面

CB0056

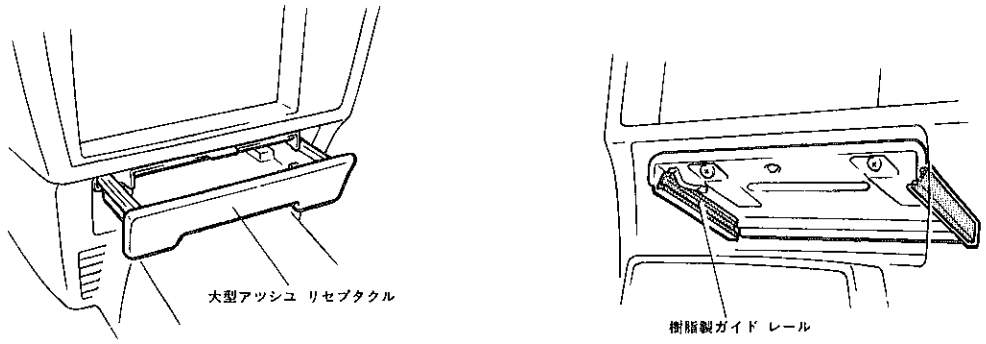
＊　パウダ　スラツシユ（powder　slush）：パウダ状のプラステイツク混合物を加熱し，ゲル状にさせて，冷やしてできる軟質塩化ビニールのことで，デザインの自由度が大きくソフトなフイーリングが得られます。

無断複製禁止

（4）アツシユ　リセプタクル

アツシユ　リセプタクルはスライド方式を採用するとともに，ガイド　レールを樹脂製として，操作フイーリングの一段とした向上をはかりました。また，容量も２１０㎤から３５０㎤と拡大し，使用性の向上をはかりました。

アツシユ　リセプタクル

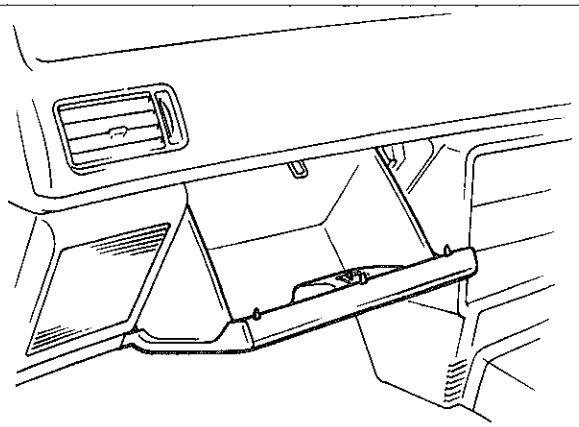



CB0057

（5）グラブ　ボツクス

ボツクス全体が開く，ピン　タイプのグラブ　ボツクスを採用しました。また，整備手帳など大きな物が収納できるよう，容積を従来の５．４ℓから８．６ℓに拡大し，使用性の向上をはかるとともにキー　ロツク付きを全車に採用しました。

グラブ　ボツクス

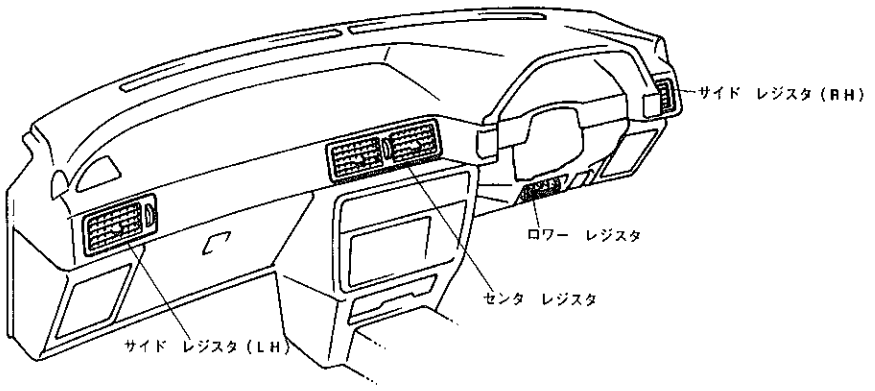


CB0058

（6）レジスタ

各レジスタともに一本のレバー操作で吹き出し方向を上下，左右に調整できる使用性の良いものとしました。また，エアコン付き車には従来同様に，ロワー　レジスタを設定し空調温度分布性能の向上をはかりました。

レジスタ



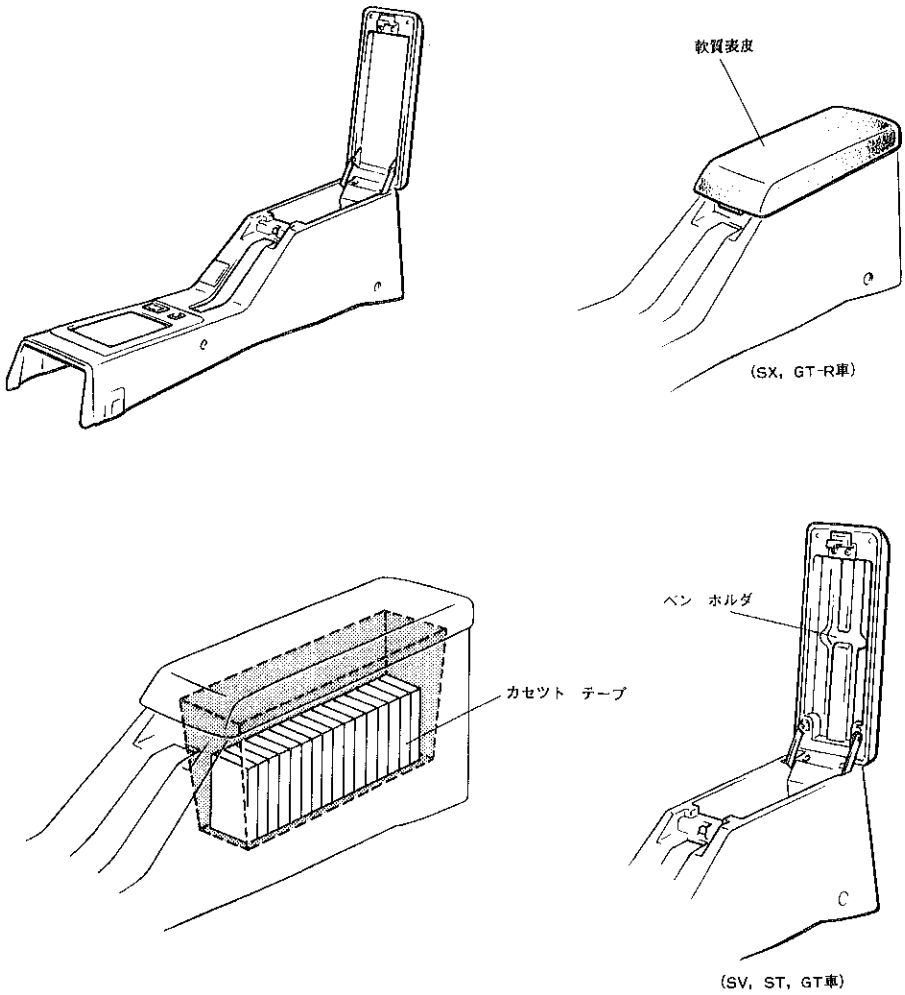

CB0059

無断複製禁止

## 2．コンソール　ボツクス

- フタ付きコンソール　ボツクスを全車標準装備しました。また，ＳＸ，ＧＴ－Ｒ車のフタを軟質表皮として，使用性，品質感の向上をはかりました。
- コンソール　ボツクスの容量を従来のカセツト　テープ７本から１６本が収納可能な大きさに拡大して，使用性の向上をはかりました。
- ＳＶ，ＳＴ，ＧＴグレードのコンソール　ボツクスのフタの裏にペン　ホルダを設置しました。

コンソール　ボツクス




CB0060

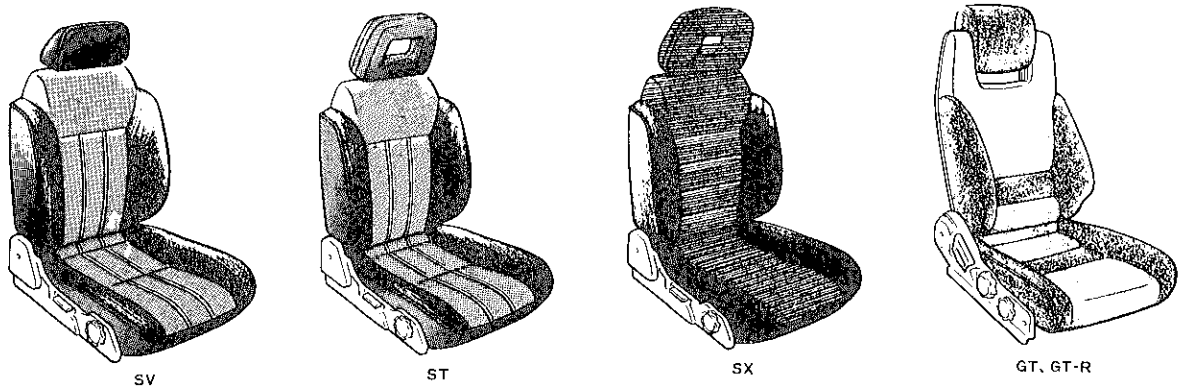
## □シート

## 3．シート　バリエーシヨン

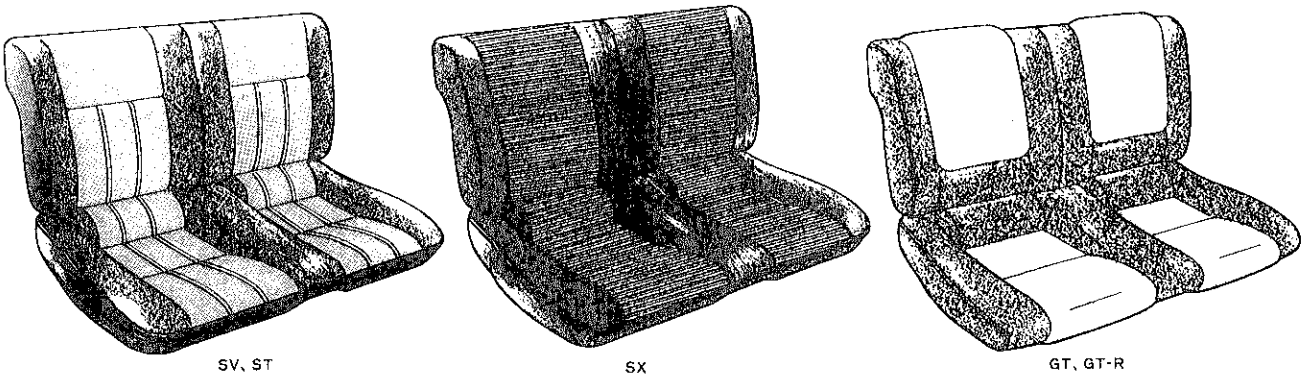
- フロント　シートのバリエーシヨンは，ロー　バツク　シートとスポーツ　シートの２種類を設定しました。また，シート表皮は各グレードにふさわしい３種類の新フアブリツク地を採用し，特にスポーツ　シートには立体感を強調する光沢感のある表皮としました。
- ＧＴには６ウエイ　スポーツ　シートを，ＧＴ－Ｒには電動ランバー　＆　サイド　サポート付き８ウエイ　スポーツ　シートを新設しました。

無断複製禁止

## シート　バリエーシヨン




フロント　シート




リヤ　シート

### シート仕様

| グレード | | SV | ST | SX | GT | GT－R |
|---|---|---|---|---|---|---|
| シート表皮 | | フアブリツク（ニツト） | ←（ニツト） | ←（Wラツセル） | ←（Wラツセル） | ←（Wラツセル） |
| ロー　バツク　シート | | ●（4ウエイ） | ●（4ウエイ） | ●（6ウエイ） | | |
| スポーツ　シート | | | | | ●（6ウエイ） | ●（8ウエイ） |
| ヘツドレスト | 固定式 | 小型（塩ビ） | オープン スルー（塩ビ） | | | |
| | 前後調整式 | | | オープン スルー（フアブリツク） | スポーツ シート一体（フアブリツク） | ←（フアブリツク） |
| ランバー　サポート | メカニカル式 | | | ● | | |
| | 電動式 | | | | | ● |
| サイド　サポート | 電動式 | | | | | ● |
| バーチカル　アジヤスタ | | ● | ● | ● | ● | ● |
| 無段階式リクライニング機構 | | | | | ● | ● |
| シート　バツク　ポケツト | | | | ● | ●（アミ） | ●（アミ） |

●：標準装備

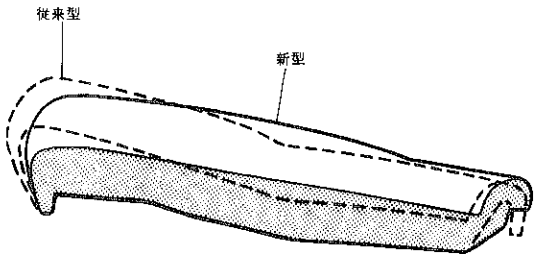
CB0061　CB0062　CB0063　CB0064
CB0065　CB0066　CB0067

無断複製禁止

## 4．フロント　シート（除くスポーツ　シート）

- シート　クツシヨンの座面角をとり，乗心地の向上をはかりました。
- 従来同様のダイヤル式バーチカル　アジヤスタを全車に標準装備しました。構造，作動については従来型と同じです。

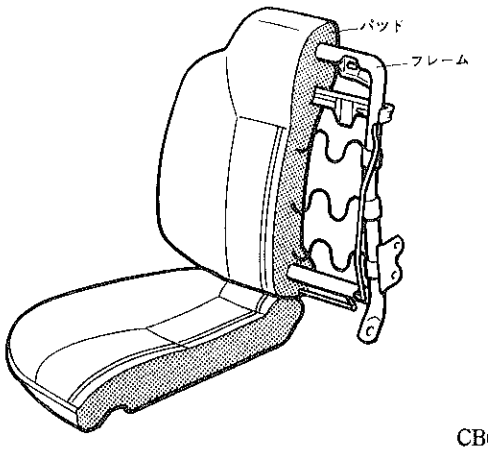
座面角




CB0068

- シート　バツクの構造をシート　バツク　フレームにパツドを包み込んだ一体成形タイプを採用し，外観意匠の向上をはかりました。また，シート　バツク上端部をカツトした肩削ぎタイプの採用によりスポーテイな形状とするとともに，サイド部のパツドを座面より硬い異硬度パツドの採用により，ホールド性および乗心地の向上をはかりました。

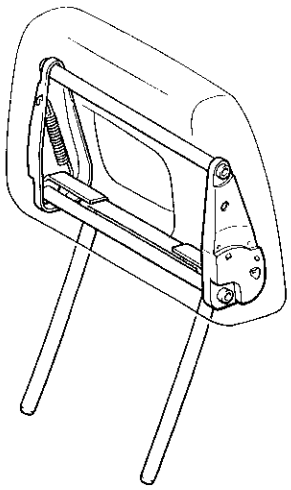
フレーム一体成形シート　パツド

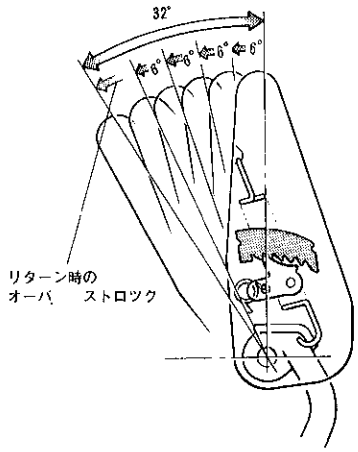



CB0069

- ＳＴ，ＳＸには新感覚のオープンスルー　タイプ　ヘツドレストを採用しました。また，ＳＸには前後調整機構付きとして，使用性の向上をはかりました。

ヘツドレスト






前後調整機構

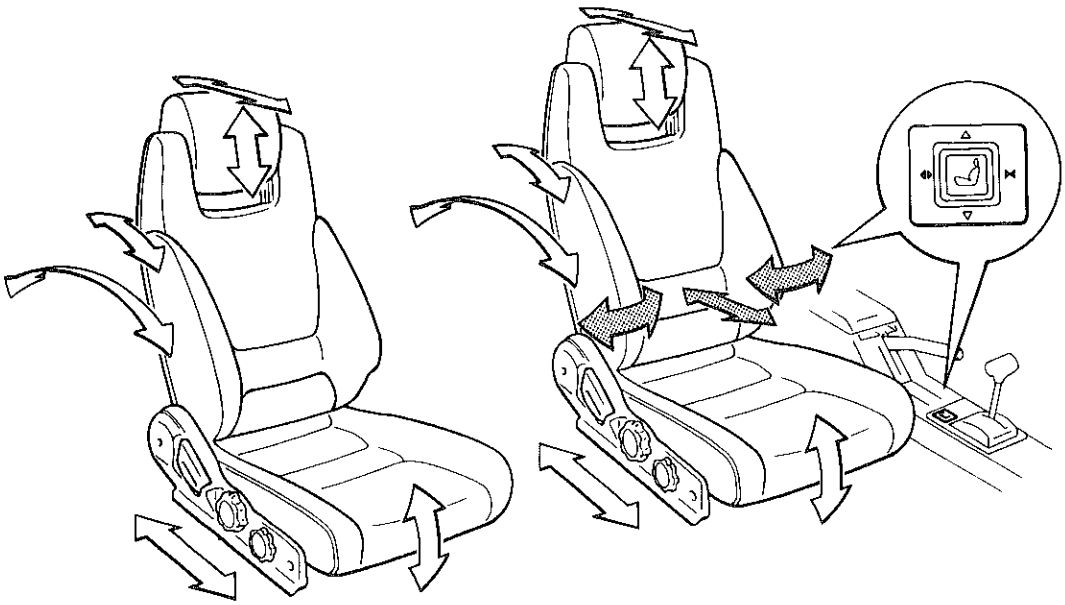
CB0070

無断複製禁止

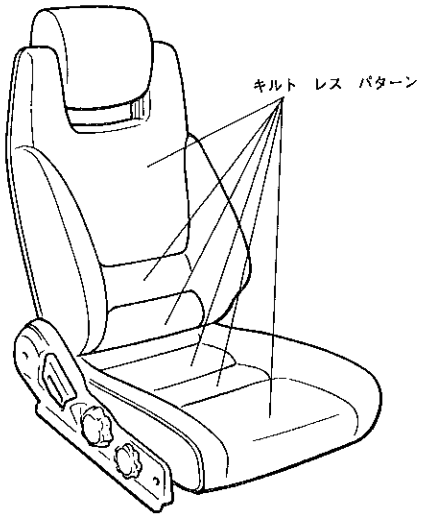
## 5．フロント　シート（スポーツ　シート）

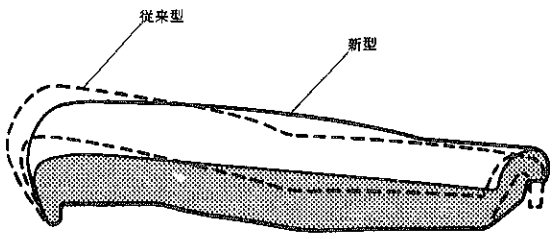
- GTに6ウエイ　スポーツ　シートを，GT－Rには無段階に調整が可能な電動ランバー　&　サイド　サポートを組み込んだ8ウエイ　スポーツ　シートを新設しました。また，この電動ランバー　&　サイド　サポートのスイツチは，運転姿勢のままで手の届く位置にあり，一本のレバーで容易に最適な状態に調整ができる操作性の良いものとしました。
- リクライニング機能には大きな動きと小さな動きを両立させたワンタツチ　メモリー付きステツプ　レス　リクライニング機構を採用しました。
- シート表皮にはキルト*レスの一枚ものの布を使い，Rをつけた角やH形パターンを採用して，外観意匠の向上をはかりました。
- シート　クツシヨンの座面角をとり，乗心地の向上をはかりました。

フロント　シート（スポーツ　シート）



6ウエイ　スポーツ　シート　　8ウエイ　スポーツ　シート




座面角度

CB0071

＊　キルト（Quilt）:刺し縫い

無断複製禁止

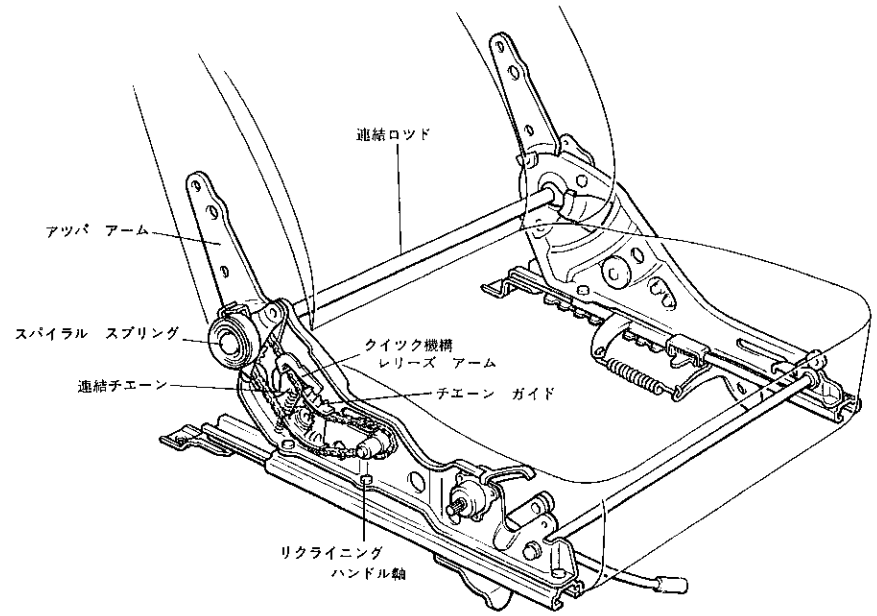
▶構造と作動

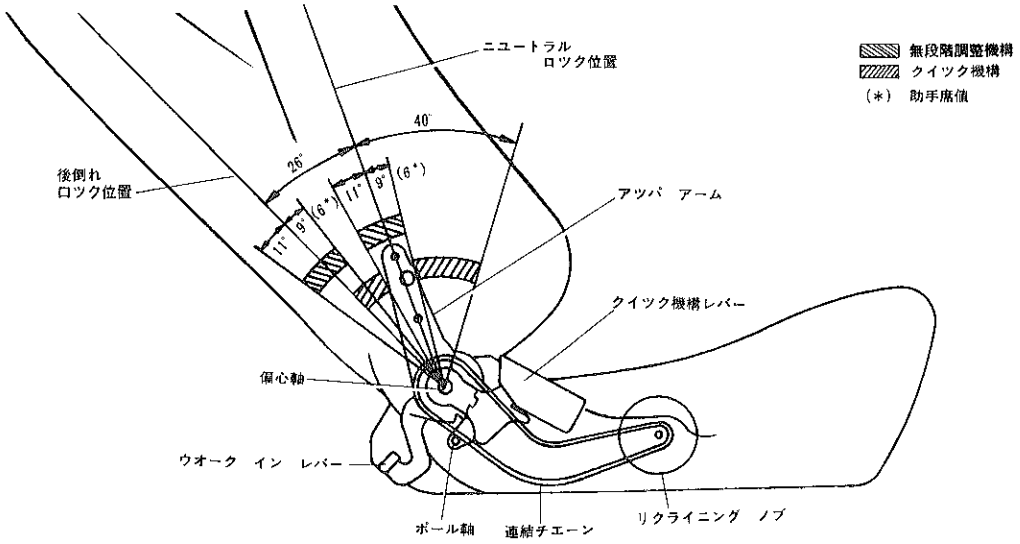
【1】ワンタツチ　メモリー付きステツプ　レス　リクライニング機構

〔1〕機能

フロント　シート　バツクの傾斜角を無段階に調整することが可能な無段階調整機構と，従来同様のアジヤスタ　レバーにより，ワン　タツチでフロント　シート　バツクを前倒れ，後倒れさせれるクイツク機構の２つのリクライニング機構を合わせもつた機能となつています。またシート　バツクを倒したのち，再度シート　バツクを起こして最初にロツクした位置のシート　バツク角度が倒す前の角度と同じになるメモリー機構を有しています。なおリクライニング調整範囲はクイツク機構でのロツク位置が，ニユートラルと後倒れの２つのポジシヨンがあり，この２つのポジシヨンから無段階調整機構を作動させて前側に９度（助手席は６度），後側に１１度の調節が可能となつています。

ワンタツチ　メモリー付きステツプ　レス　リクライニング　シート



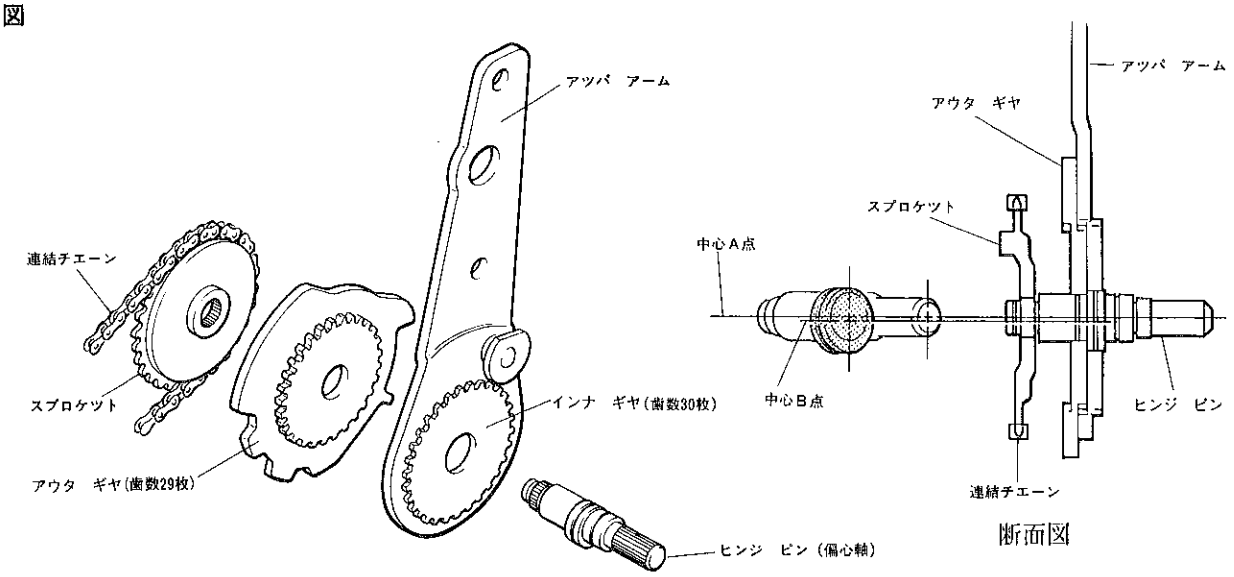

CB0072　CB0073

無断複製禁止

〔2〕構造（無段階調整機構）

主要機能部品は下図の様になつており，ヒンジ　ピン（偏心軸）の中心A点は，アウタ　ギヤ（歯数２９枚）と同軸になつています。また，もう一方の中心B点はアツパ　アームに設けられたインナ　ギヤ（歯数３０枚）およびスプロケツトの回転中心と同軸になっています。

構造図

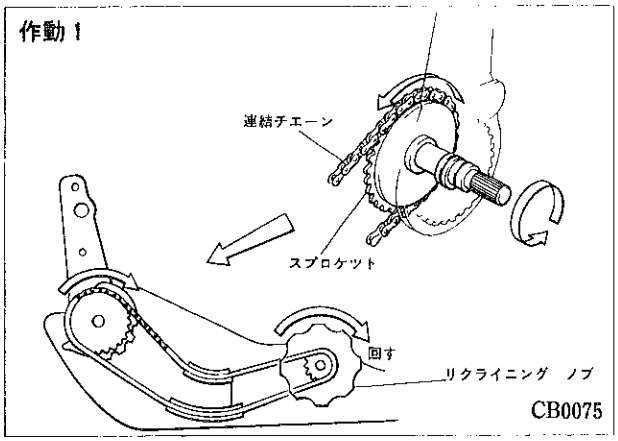



CB0074

〔3〕作動

① リクライニング　ノブを回すと連結チエーンによつてスプロケツトとスプロケツトにつながつているヒンジ　ピンが回転します。

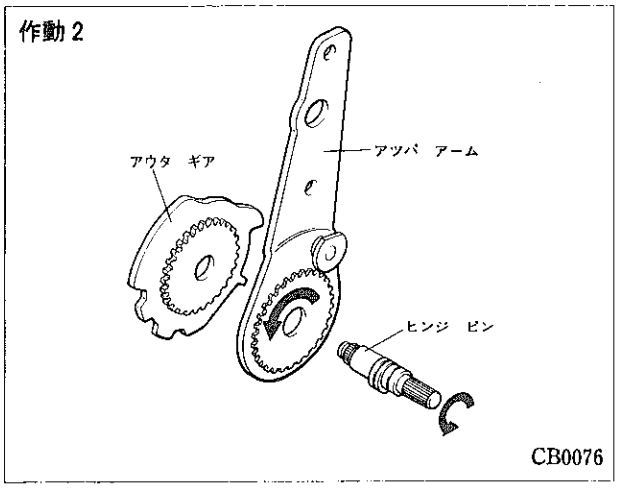
作動 1




CB0075

② ヒンジ　ピンの回転により，回転中心の同軸上にあるアウタ　ギヤとアツパ　アーム内のインナ　ギヤには，滑べりながらも回転力を伝えます。

作動 2



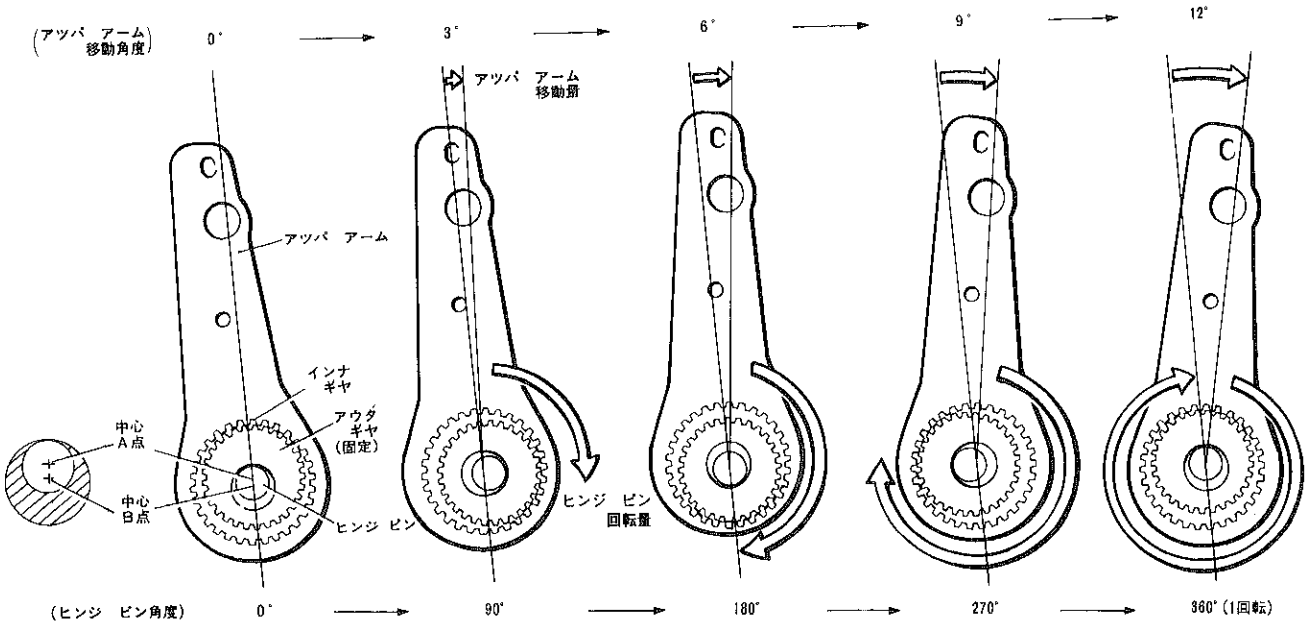

CB0076

無断複製禁止

③ 通常アウタ　ギヤはクイック機構作動時以外，シート　クッション側に固定されているため，ヒンジ　ピンはアウタ　ギヤの中心と同軸のA点を軸として回転し，インナ　ギヤと同軸の中心B点は，A点の周りを回転することになります。

④ すなわちB点が回転するということは，ヒンジ　ピンの回転力により歯数３０枚のインナ　ギヤが，下図の様にヒンジ　ピンとは滑りながら固定されている歯数２９枚のアウタ　ギヤとの噛み合い位置を変えてゆく作動をし，ヒンジ　ピンが一回転するとインナ　ギヤはアウタ　ギヤとの噛み合い位置が一歯移動します。

作動３




CB0077

⑤ アツパ　アーム内のインナ　ギヤが回転移動することで，アツパ　アームに固定されているシート　バツクもリクライニング作動をします。なおヒンジ　ピンがN回転した時のシート　バツク傾斜角度は，次の式で表わすことができます。

$$\alpha = N \times \frac{Z_2 - Z_1}{Z_2} \times 360°$$

α：傾斜角

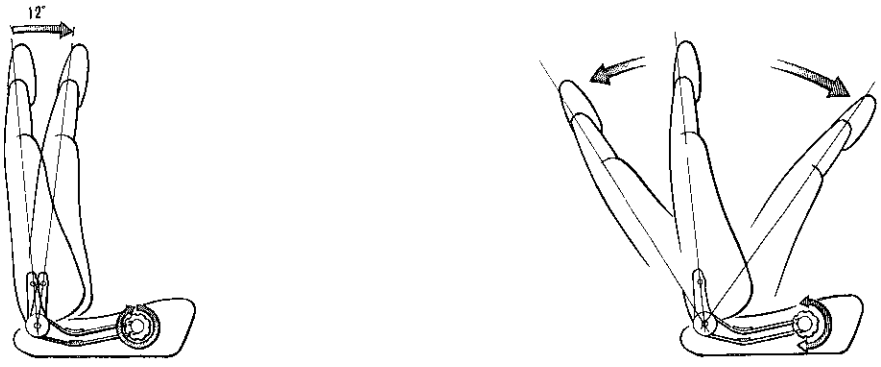
N：ヒンジ　ピン回転数

Z１：アウタ　ギヤの歯数（２９枚）

Z２：インナ　ギヤの歯数（３０枚）

従つてα＝１２°×Nとなり，ヒンジ　ピン一回転でシート　バツクは１２°傾斜することになります。

作動４



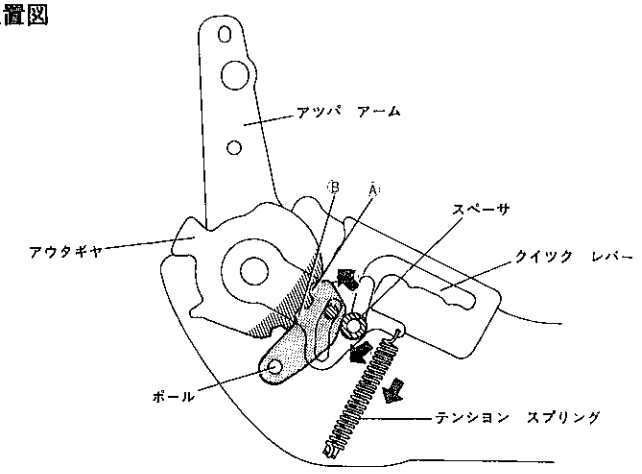

CB0078

無断複製禁止

〔4〕構造（クイツク　リクライニング　アジヤスタ）

通常ポールがアウタ　ギヤ外周にあるラツチ部（Ⓐ，Ⓑ）と噛み合つた状態で，クイツク　レバーに付いているスペーサーがポールの背面をテンシヨン　スプリングによつて押さえて，ポールとアウタ　ギヤのラツチ部とロツクさせている構造となつています。この状態がニユートラル　ロツク位置で，無段階調整機構を作動させることができます。

ニユートラル　ロツク位置図



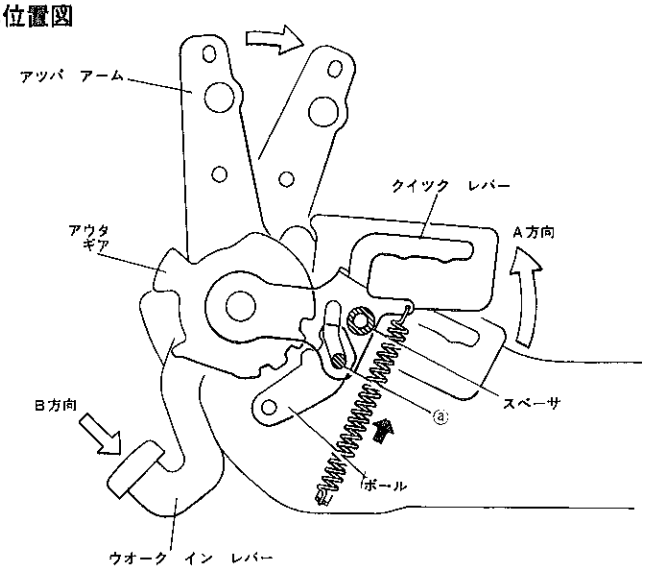

CB0079

〔5〕作動（クイツク　リクライニング　アジヤスタ）

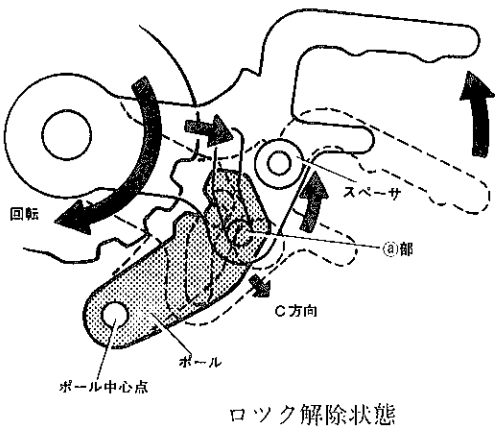
（1）前倒れ位置

ニユートラル　ロツク位置からクイツク　レバーをA方向に操作をするか，ウオーク　イン　レバーをB方向に操作すると，クイツク　レバーが上方に移動します。これによりクイツク　レバーに取り付けられているスペーサーも同時に上方に移動しポールを押している力がなくなるとともに，クイツク　レバーの溝にポールのⓐ部がはまつている為，この溝によりポールがc方向に押し下げられます。これによりポールはアウタ　ギヤのラツチ部よりはずれロツク解除となる為，シート　バツクはヒンジ　ピンを軸として，アツパ　アームとアウタ　ギヤが一体になつてスパイラル　スプリング力により前に倒れます。また，シート　バツクをノーマル　ロツク位置に戻しても，アウタ　ギヤとアツパ　アームが一体となつて動く為，元のシート　バツクの傾斜角度になつています。

前倒れ位置図




前倒れ位置状態




ロツク解除状態

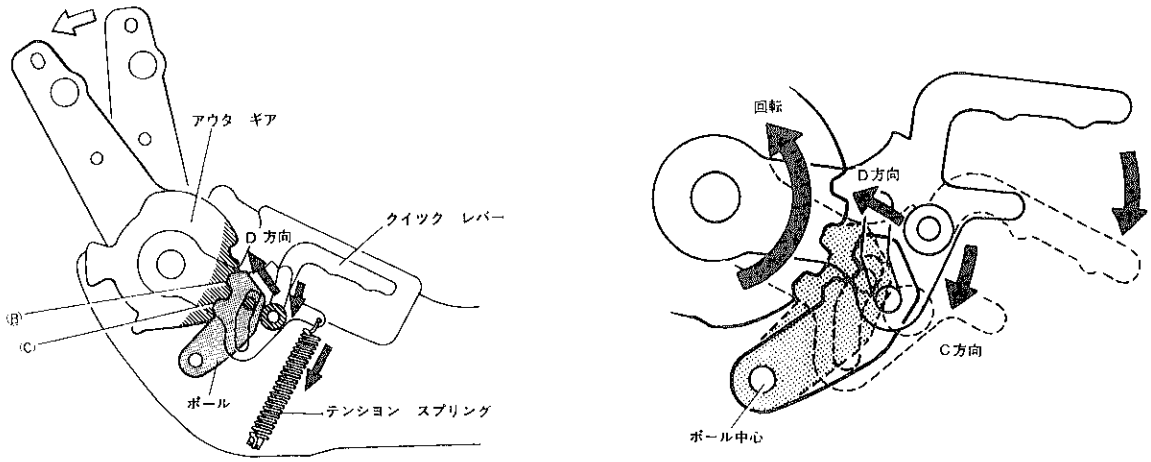
CB0080　CB0081

無断複製禁止

（２）後ろ倒れ位置

シート　バツクを後ろに倒す場合は，前倒れ同様にクイツク　レバーを操作し，ポールをアウタ　ギヤのラツチ部より外します。そしてシート　バツクを後ろに倒すとアウタ　ギヤが回転し，ラツチ部（Ⓑ，Ⓒ）の所でテンシヨン　スプリングの力によりポールがD方向に移動し噛み合つてロツクされます。なお，シート　バツクをニユートラル　ロツク位置に戻しても，元のシート　バツクの傾斜角度になつています。

後ろ倒れ位置図




後ろ倒れ位置ロツク状態

CB0082　CB0083

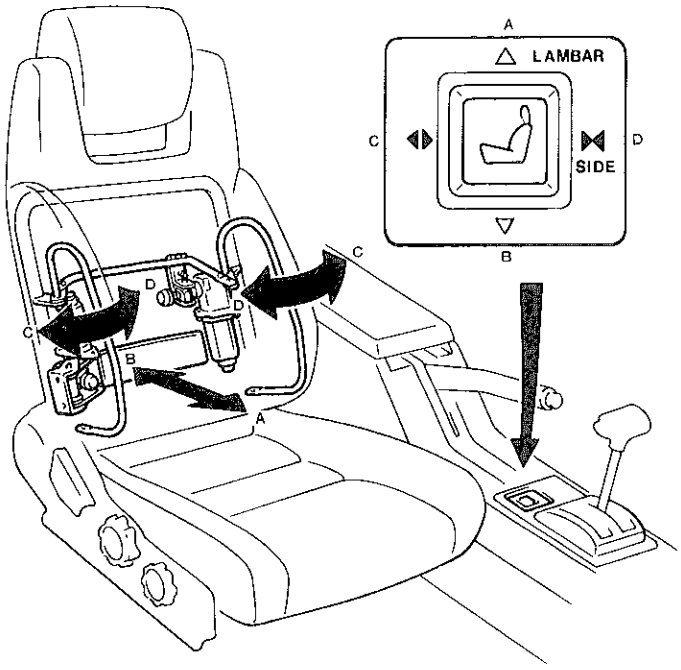
【２】電動ランバー　＆　サイド　サポート

〔１〕構造，機能

従来の手動式に変わり，１本のレバー　スイツチ操作で２個のモーターを使つて，ランバー　サポートおよびサイド　サポート作動を行うものです。これは従来のランバー　サポート　アジヤスタはシート　サイドのレバーを動かすことによりトーシヨン　バーに連結された押板を前後に動かすものでしたが，これに対し電動ランバー　サポート　アジヤスタは，ランバー　サポート　モータのスクリユ　ナツトに連結されているトーシヨン　バーを動かすことにより，押板を前後に動かしシート　バツクの支持力を得るものです。同様に，サイド　サポート　アジヤスタも従来はシート　サイドにある調整ノブを回転させることによりサポート　リンクを動かしていましたが，コネクテイング　ロツドにサイド　サポートモーターのスクリユ　ナツトを連結させ，それを左右に移動させることにより，サポート　リンクを動かす構造となつています。また，スイツチはコンソール上に設置して運転姿勢のまま操作ができる操作性の良いものとなつています。

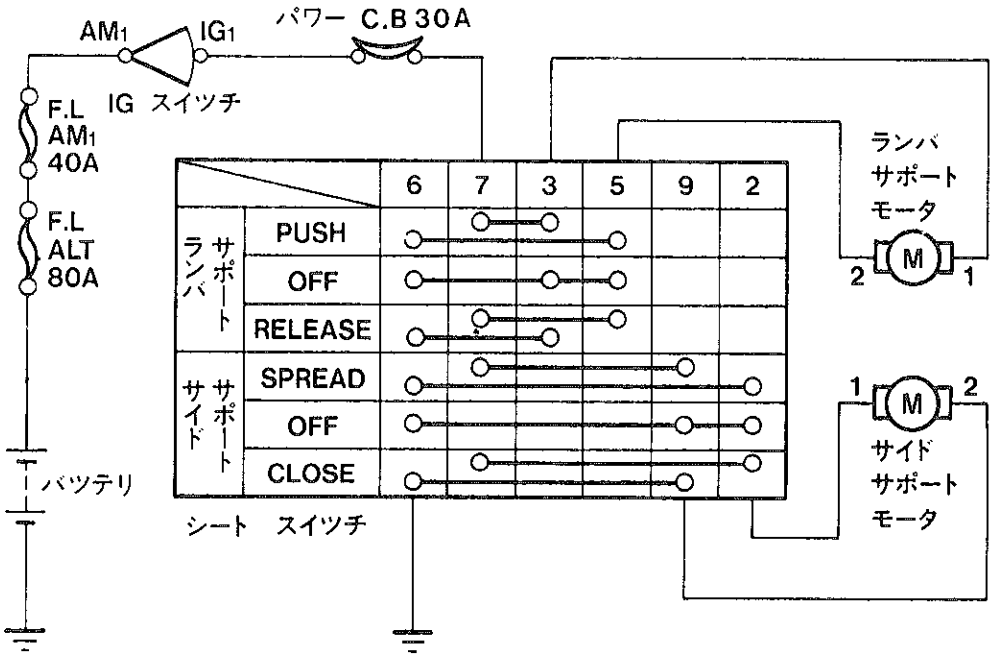
無断複製禁止

構造．機能図




CB0084

電動ランバー　&　サイド　サポート回路




H2188

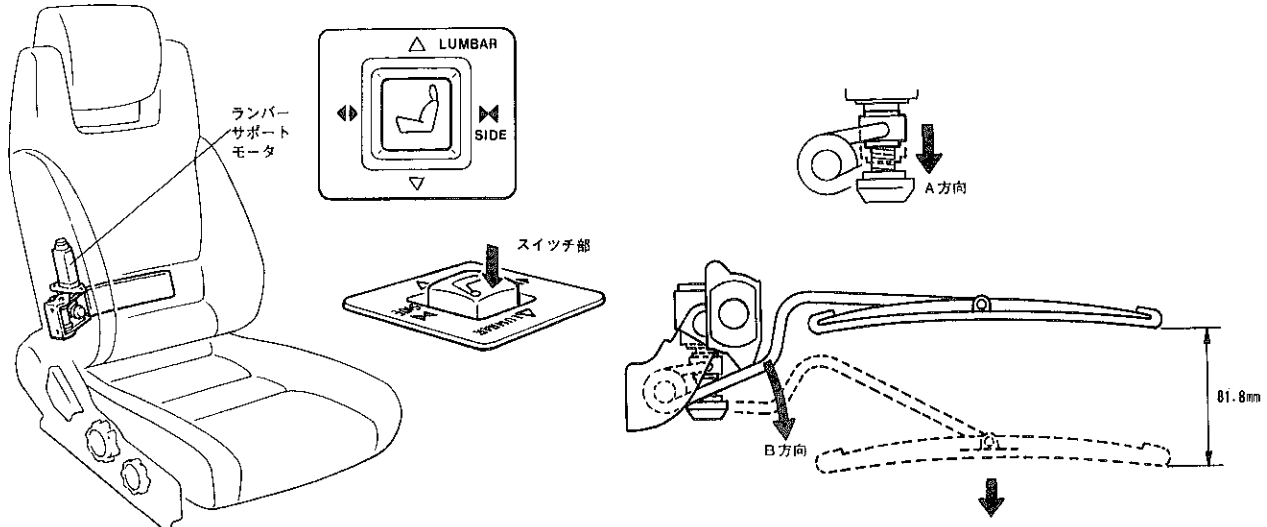
無断複製禁止

〔2〕作動

（1）電動ランバー　サポート

コンソール上に取り付けられたスイツチを図の様に前側に押すと，ランバー　サポート　モータが回転しスクリユ　ナツトがA方向に移動します。そしてスクリユ　ナツトに連結されているトーシヨン　バーをB方向に動かしてシート　バツクの支持力を得ます。この支持力となる押板部の前後ストロークは８１．８㎜あり，この間は無段階に調整ができます。またスイツチを後側に押せば，前後と逆の作動をします。

電動ランバー　サポート

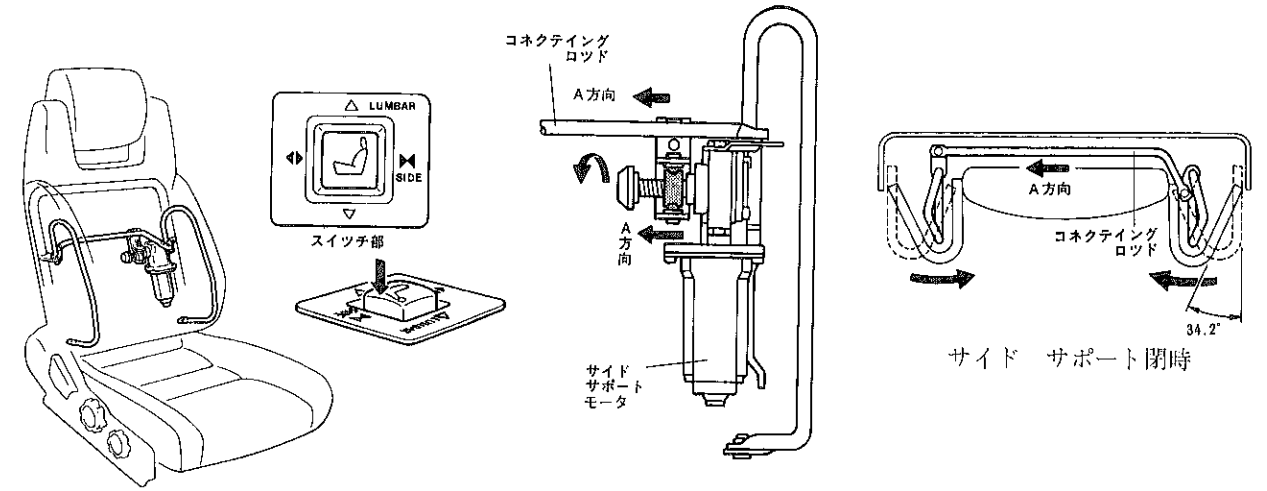



CB0085　CB0086

（2）電動サイド　サポート

コンソール上に取り付けられたスイツチを図の様に右側に押すと，サイド　サポート　モータが回転しスクリユ　ナツトがA方向に動きます。そしてスクリユ　ナツトに連結されているコネクテイング　ロツドを同じA方向に移動させて，サポート　リンクを内側に動かしシート　バツクの支持力を得ます。この支持力となるサポート　リンクの動く角度は３４．２°あり，この間は無段階に調整ができます。またサイド　サポートをひろげる場合は，スイツチを逆方向に押せば，逆作動をして，ひろがります。

電動サイド　サポート




CB0087　CB0088　CB0089

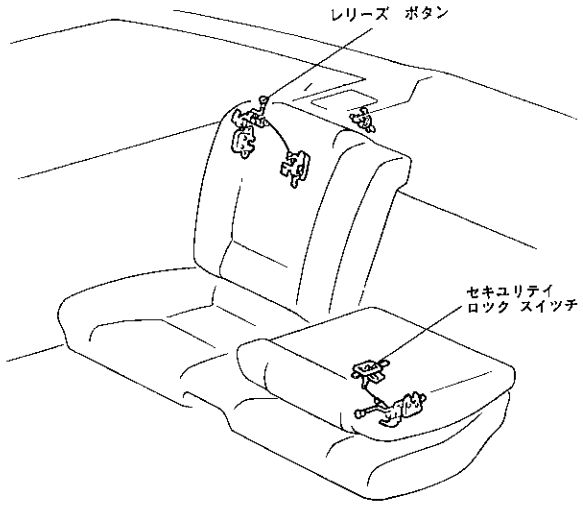
無断複製禁止

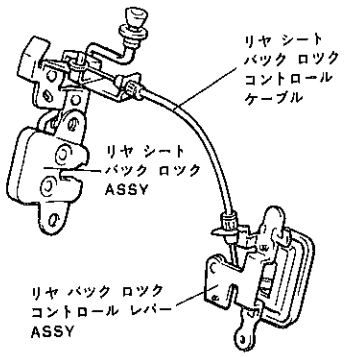
## 6．リヤ　シート

●全車のリヤ　シートに従来のロツク機構に加えて，セキユリテイ*　ロツク機構を設置しました。

●これは，リヤ　シートのデツキ側にロツク　ノブを設置し，このノブをロツク側にしておくとシート　サイドのレリーズボタンを操作しても，リヤ　シート　ロツクは解除されない構造となつています。これにより，室内側からシート　バツクを倒すことができなくなり，他のパツケージ　トレイのロツク機構とバツク　ドア　ロツクのキヤンセル機構との併用により，デツキ室内荷物の盗難防止をはかりました。

リヤ　シート



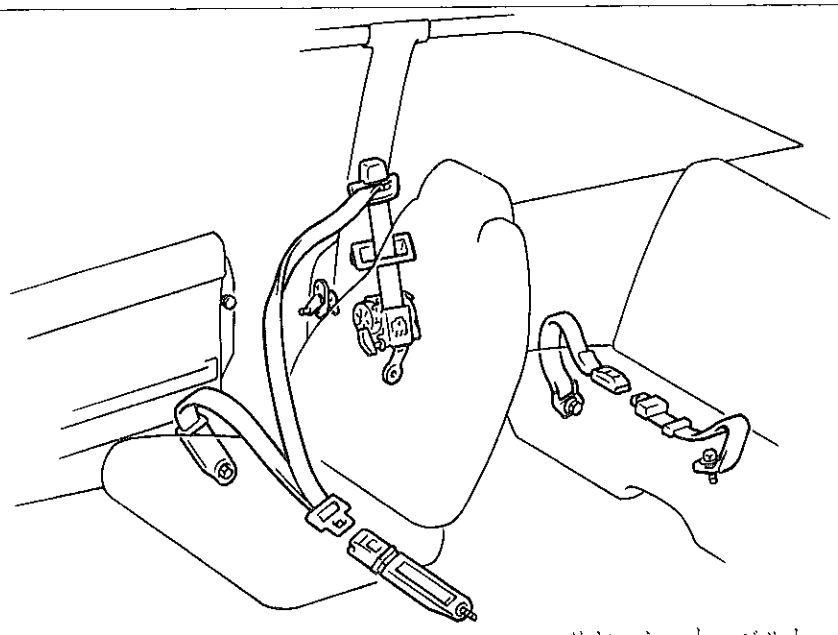

セキユリテイ　ロツク機構

CB0090

## 7．シート　ベルト

●従来同様，装着感の良い３点式ドア連動テンシヨン　リデユーサ付きＥＬＲシート　ベルトを採用しました。また，リヤシート　ベルトは２点式ＮＲタイプとしました。

シート　ベルト



フロント　シート　ベルト　　リヤ　シート　ベルト

CB0091

＊　セキユリテイ（Secwrity）:安全無事，安心，安全にするもの。

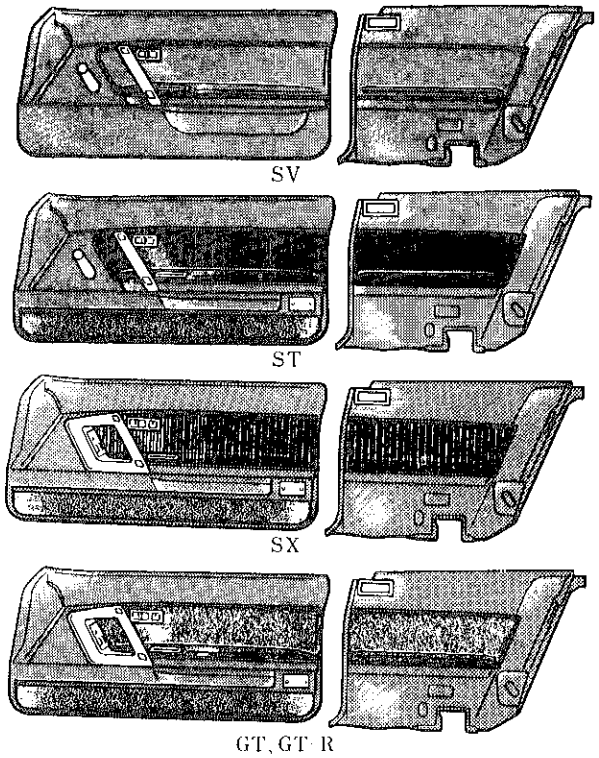
無断複製禁止

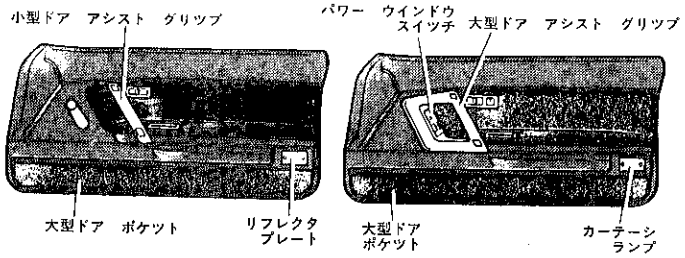
## □トリム類

### 8．ドア　トリム，クオータ　トリム

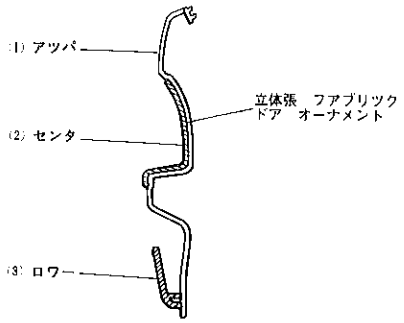
- 彫りの深い立体成形ドア　トリムを全車に採用し，外観意匠の立体感を出すと同時に，肘部スペースの拡大をはかりました。特に前上部はインパネと連結した造形にして一体感をかもしだしています。
- クオータ　トリムも樹脂一体成形を全車に採用し，ドア　トリムとの一体感を出すとともに，肘部のスペース拡大をはかりました。
- ＳＴ以上のグレードにアームレスト面と一体の立体張ファブリック　ドア　オーナメントを採用し，外観の高級感を出すと同時に，触感を向上させました。

ドア　トリム，クオータ　トリム




マニュアル　ウインドウ仕様　　パワー　ウインドウ仕様




成形トリム断面

ドア　トリム，クオータ　トリム仕様

| グレード | | | SV | ST | SX | GT | GT－R |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トリム　形状 | | | 成形 | ← | ← | ← | ← |
| トリム　表　皮 | ①トリム　レザー（アッパ） | | PP | 塩ビレザー | ← | ← | ← |
| | ②オーナメント（センタ） | | PP | ファブリック | ← | ← | ← |
| | ③オーナメント（ロワー） | ドア　トリム | PP | D席　ループパイル<br>P席　塩ビレザー | ループ　パイル | D席　ループパイル<br>P席　塩ビレザー（ループ　パイプ）＊1 | ループ　パイル |
| | | クオータ　トリム | PP | ← | ← | ← | ← |
| 大型ドア　ポケット | 運転席側 | | | ● | ● | ● | ● |
| | 助手席側 | | | | ● | ○＊1 | ● |
| ドア　アシスト　グリップ | 小型タイプ | | ● | ● | | ● | |
| | 大型タイプ | | | | ● | ○＊1 | ● |
| リフレクタ　プレート　運転席のみ | | | | ● | | ● | |
| カーテーシ　ランプ | | | | | ● | ○＊1 | ● |

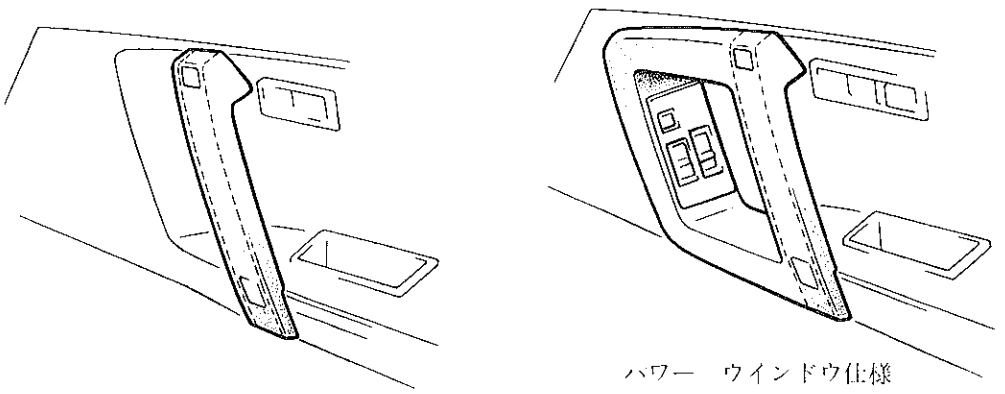
●：標準装備　○：オプション　＊1　パワー　ウインドウとセット　オプション

CB0092

無断複製禁止

● ドア　アシスト　グリップは，アームレスト前部に縦に配置し握りやすさと外観意匠の向上をはかりました。また，パワーウインドウ仕様のドア　アシスト　グリップは，スイッチ一体型で，スイッチ面はグリップと平行とし，操作性の向上をはかるとともに斬新な意匠としました。

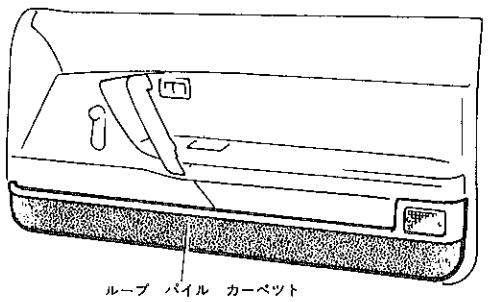
ドア　アシスト　グリップ




CB0093

● ＳＶを除いた全車に，ドア全面にわたる大型ドア　ポケットを設定し，室内収納スペースの大幅向上をはかりました。また，表面はループ　パイルのカーペット付きとして，フロアカーペットとのコーデイネイト化をはかりました。

ドア　ポケット

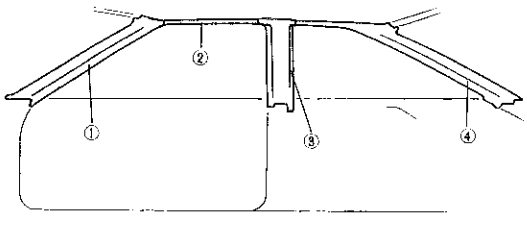



CB0094

## 9．ガーニツシユ類

● ＳＸ，ＧＴ－Ｒグレードのフロント　ピラー　ガーニツシユは，ウレタン成形品としてソフト感を出しました。

ガーニツシユ類




CB0095

ガーニツシユ仕様一覧

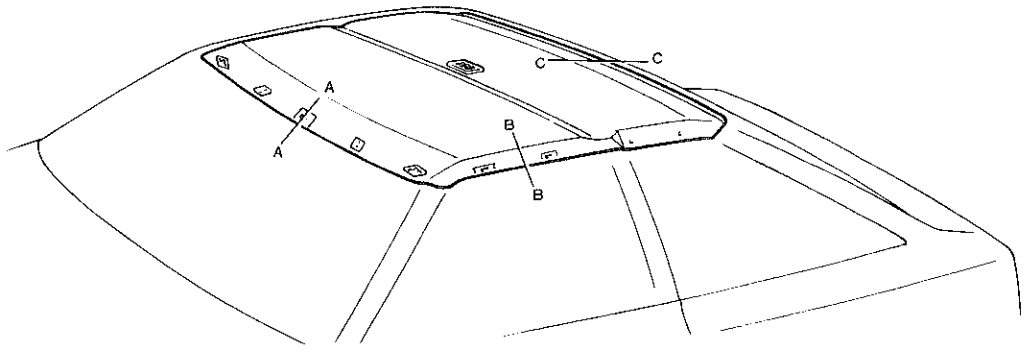
| 名　称 ＼ グレード | SV, ST, GT | SX, GT-R |
|---|---|---|
| ①フロント　ピラーガーニツシユ | ＡＢＳ樹脂 | ウレタン |
| ②ルーフ　サイド　レール　ガーニツシユ | 塩ビ | ← |
| ③センタ　ピラー　ガーニツシユ | ＰＰ | ← |
| ④ルーフ　サイド　インナ　ガーニツシユ | ＰＰ | ← |

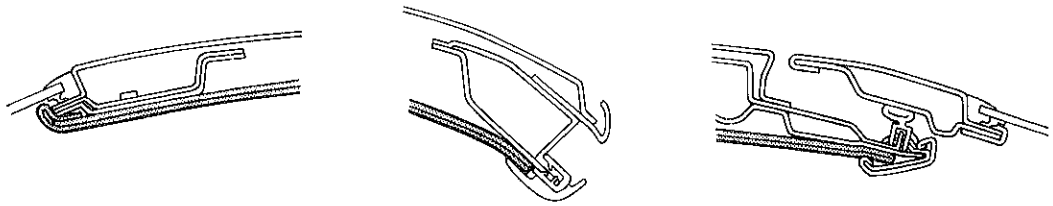
無断複製禁止

## 10. ルーフ　ヘツドライニング

●全車，成形天井を採用しました。また，成形天井の前端をボデー　フランジに巻込む構造とし，フロント　ヘツダ　トリムを廃止して，外観意匠の向上をはかりました。

ルーフ　ヘツドライニング



A−A断面　　B−B断面　　C−C断面

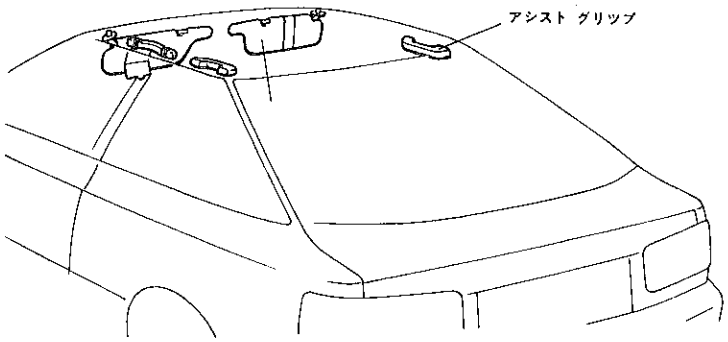
CB0096

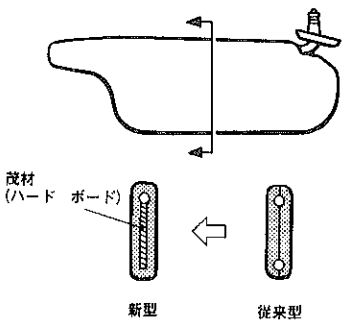
## 11. サン　バイザ　&　アシスト　グリツプ

●サン　バイザを従来の銅線枠構造から，ハード　ボードを芯材とする新構造としました。これにより，中央部の面剛性および耐湿熱性能を大幅に向上させ，使用性のすぐれたものとなりました。

●アシスト　グリツプは従来同様フロント助手席側に伸縮式を採用し，乗降時のヘツド　ルームの確保および使用性の両立をはかりました。

サン　バイザ　&　アシスト　グリツプ




サン バイザ

サン　バイザ仕様一覧

| グレード | SV | ST | SX | GT | GT-R |
|---|---|---|---|---|---|
| 塩化ビニール　レザー | ● | ● | | ● | |
| ファブリック（助手席側バニティ ミラー付き） | | ○ | ● | ○ | ● |

●：標準装備　　○：オプション（サン　ルーフとセット）



伸縮式アシスト グリップ

CB0097

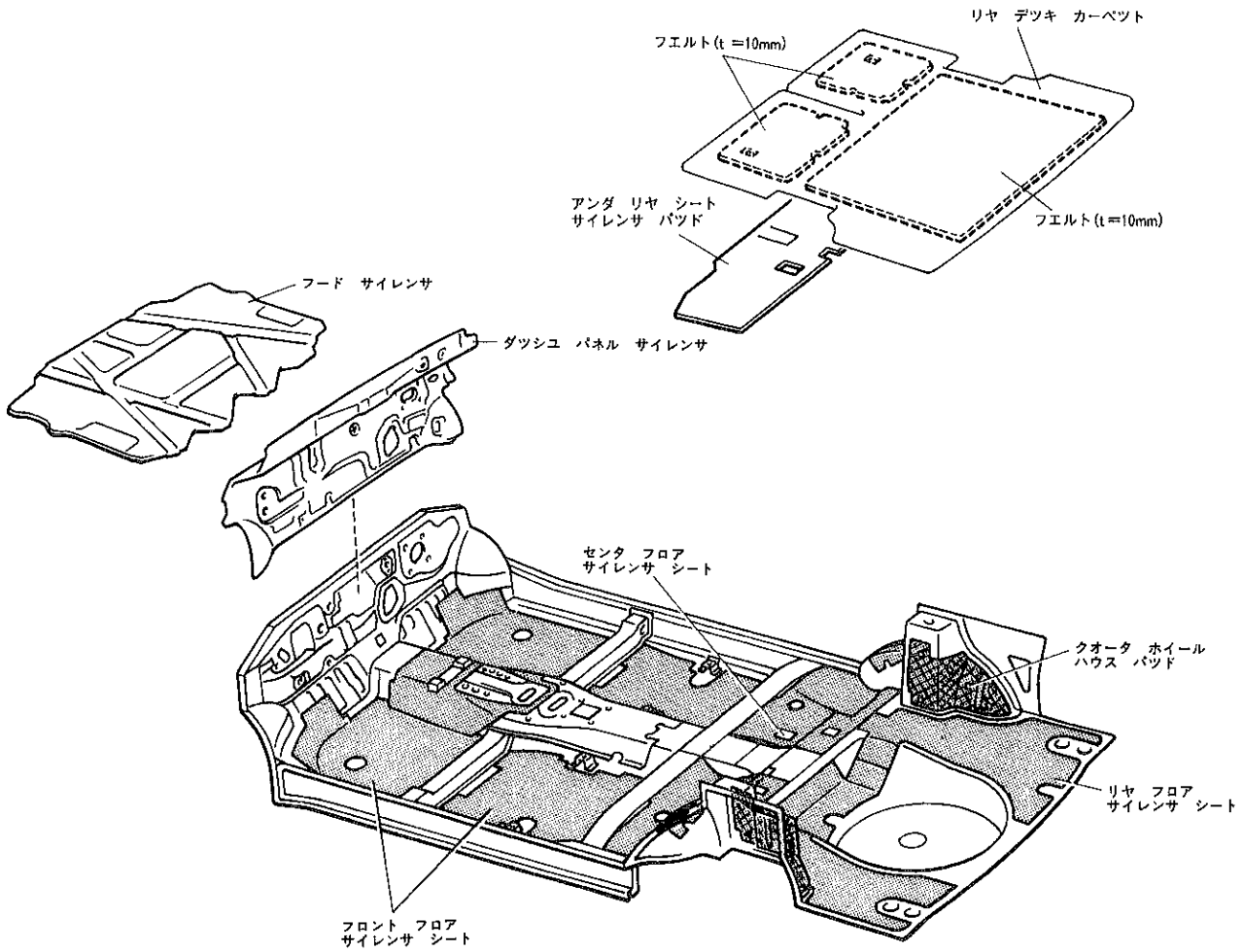
無断複製禁止

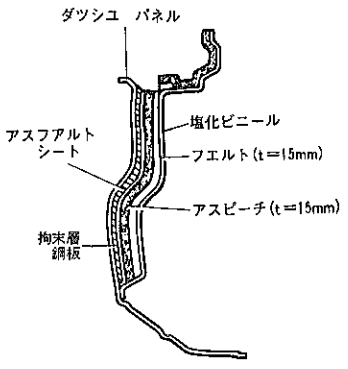
## 12. サイレンサ

● 下図の様にサイレンサを施し，遮音性の高いサイレンサ構造としました。特にダッシユ部は，サンドイッチ制振パネルと複層構造のダッシユ　パネル　サイレンサがあいまって，エンジン透過音の低減をはかりました。

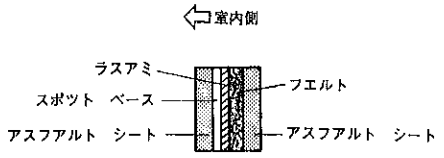
● また，クオータ　ホイール　ハウス部には新しくラスアミを使用したパッドを採用して，透過音の低減をはかりました。

サイレンサ




ダッシユ部断面




クオータ　ホイール　ハウス　パッド断面

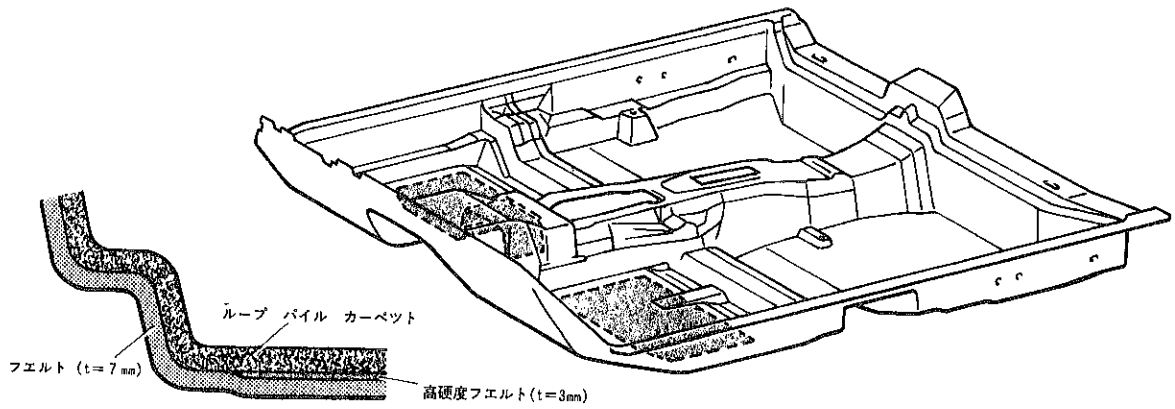
CB0099

無断複製禁止

## 13. フロア　カーペット

- トヨタ車初の前後一体成形タイプのフロア　カーペットを全車に採用して，従来の二分割タイプに比べ，中央での継ぎ目がなくなり，外観品質の大幅向上をはかりました。また，カーペットの材質は，全車ループ　パイル　カーペットとしました。
- フロント席足留り部の裏面に，高硬度パッドをサンドイッチして，フラット感の向上をはかりました。

フロア　カーペット

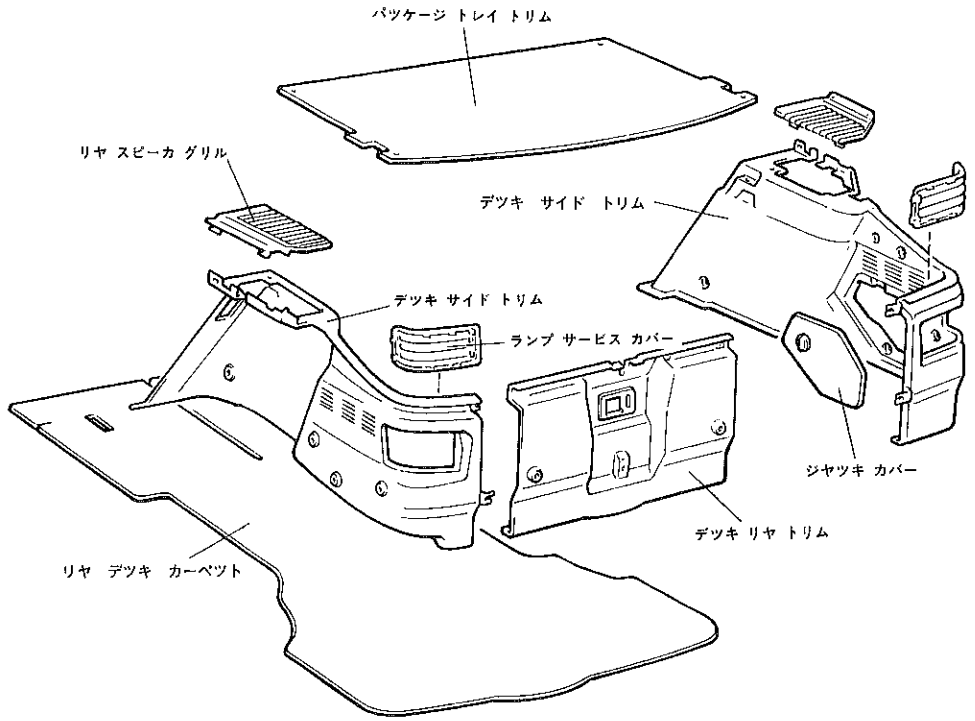



CB0098

## 14. リヤ　デツキ回りのトリム　&　マツト

- デツキ　サイド　トリム，デツキ　リヤ　トリムとも，全車ＰＰ樹脂成形品を採用しました。
- デツキ　サイド右側には，ジヤツキの格納スペースを設け，トリムと一体感のあるカバーで覆っています。また後部には，ランプ　サービス　カバーを設けてバルブ交換が容易にできるようにしました。
- コード　ニーパンのリヤ　デツキ　カーペットを全車に標準装備しました。

トリム　&　マツト




CB0101

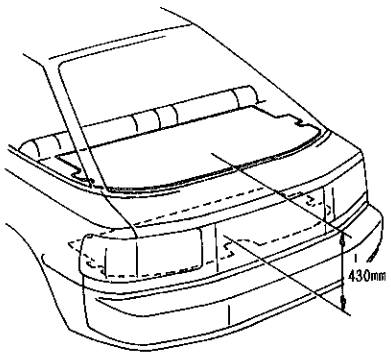
無断複製禁止

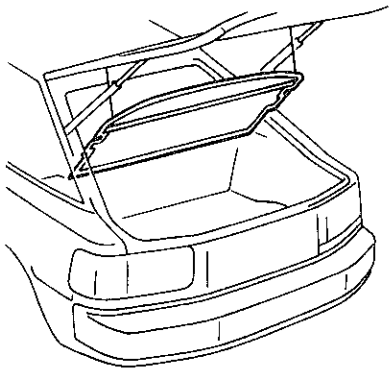
## 15. パツケージ　トレイ　トリム

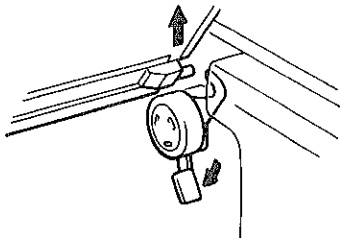
● 新しくボード　タイプのパツケージ　トレイ　トリムを採用しました。このパツケージ　トレイ　トリム閉状態でも，４３０㎜の深さを確保し，未使用時にはリヤ　デツキ　フロア面にそのまま収納ができる使用性の良いものとなつています。

● デツキ　サイド　トリム側に設定されたセキユリテイ＊　ロツクにより，パツケージ前側ヒンジのロツクができます。リヤシート　バツクのセキユリテイ＊　ロツクとの併用により，室内側からパツケージ　トレイを開けれないようにすることができ，バツク　ドア　ロツクのキヤンセル機構と合わせて，デツキ内の荷物盗難防止をはかりました。

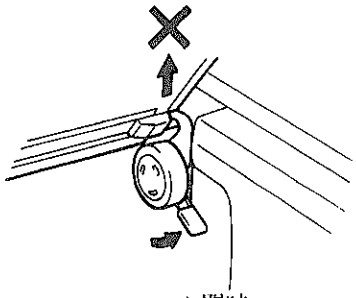
パツケージ　トレイ　トリム





ロツク開時



ロツク閉時

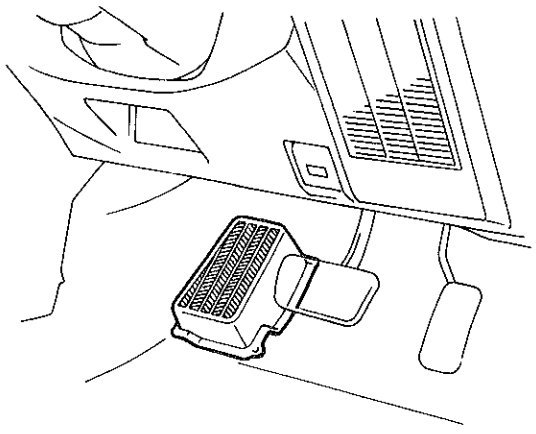
セキユリテイ　ロツク

CB0102

## 16. フツト　レスト

● 樹脂製のフツト　レストを全車に採用し，コーナリング時，身体がしつかり支えられるようにしました。

フツト　レスト



CB0100

＊　セキユリテイ（Secwrety）:安全無事，安心，安全にするもの。

無断複製禁止

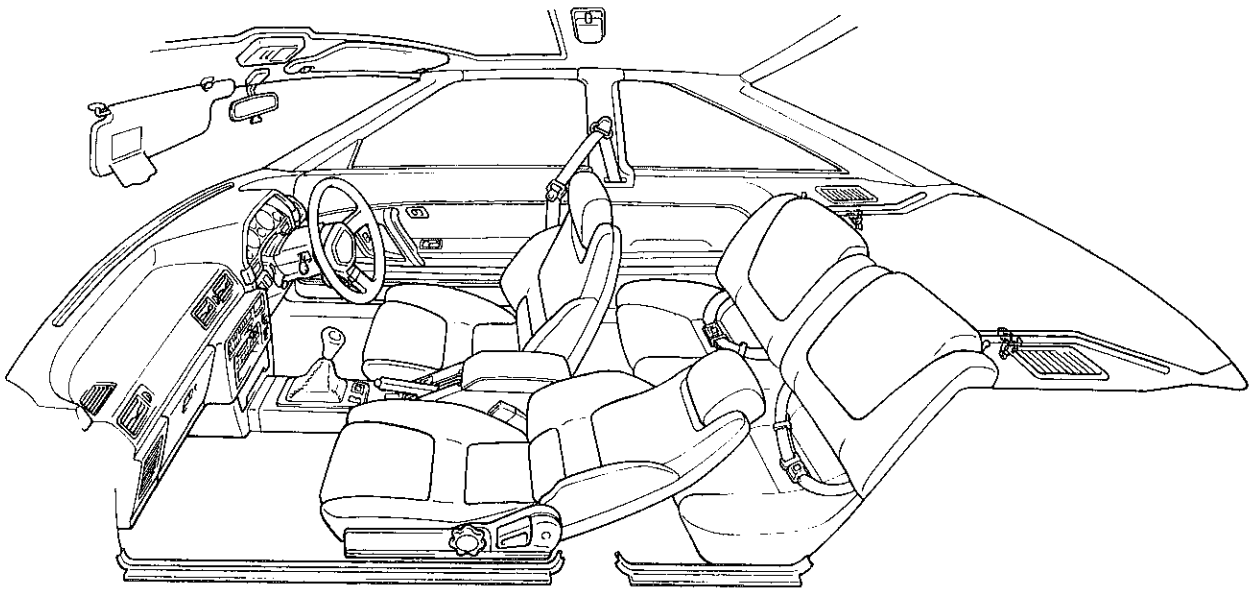
## □室内配色

### 17．室内配色

● 室内配色は従来のルーフとカーペットがインパネやトリム類より明るいハイ　コントラストな配色から，同色のトーン　オン　トーン配色にしてスポーツ感覚の中にも高級感がある，落ちついた配色としました。

● 室内カラーは従来のブラックに変わり都会派感覚のグレー系と，従来のブルーにくらべ，やや赤味を増して深みあるブルー系の２色を設定しました。

室内配色



トリム　コードとメイン　カラー一覧表

| グレード | トリム　コード | メイン　カラー　ネーム | グレード | トリム　コード | | メイン　カラー　ネーム |
|---|---|---|---|---|---|---|
| S　V | FA　13 | シヤドー　グレー | G　T | 1600cc | FD　13 | シヤドー　グレー |
| | FA　83 | デイープ　ブルー | | | FD　83 | デイープ　ブルー |
| S　T | FB　13 | シヤドー　グレー | | 2000cc | FF　13 | デイープ　ブルー |
| | FB　83 | デイープ　ブルー | | | FF　83 | デイープ　ブルー |
| S　X | FC　13 | シヤドー　グレー | GT－R | FG　13 | | シヤドー　グレー |
| | FC　83 | デイープ　ブルー | | FG　83 | | デイープ　ブルー |

CB0103

無断複製禁止

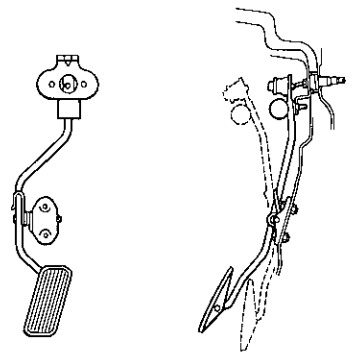
# 5.4 その他のボデー部品

## ■機構説明

### 1．アクセル　ペダル

●アクセル　ペダルは従来同様に全車ペンダント　タイプ（吊り下げ式）を採用しました。

アクセル　ペダル



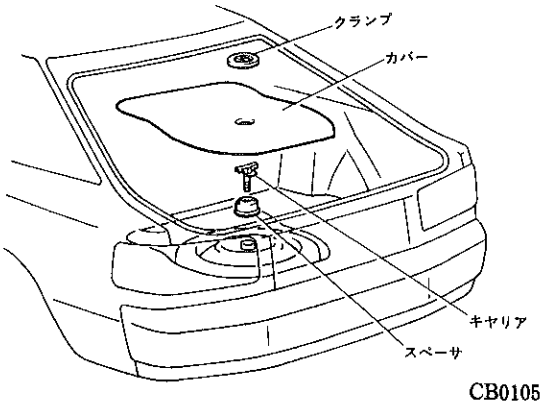
CB0104

### 2．スペア　タイヤ　キヤリア

●スペア　タイヤはスペーサおよびキヤリアでフロアに固定されています。

●パンク等でスペア　タイヤに代わり標準タイヤを格納する場合は，タイヤの幅が広くなるためスペーサを上下逆にして固定します。

スペア　タイヤ　キヤリア



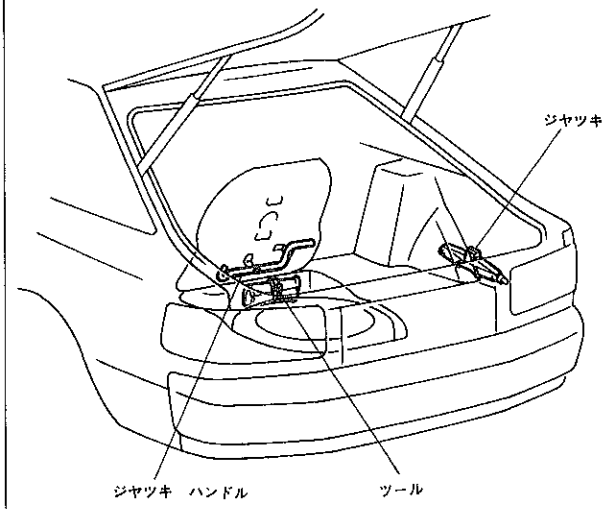

CB0105

### 3．ツール　&　ジヤツキ格納位置

●ジヤツキは，デツキ　サイド　トリム右側に格納しました。

●ジヤツキ　ハンドルを，スペア　ホイール　カバー裏側にまた，ツールはスペア　タイヤ前側に格納しました。

ツール　&　ジヤツキ格納位置



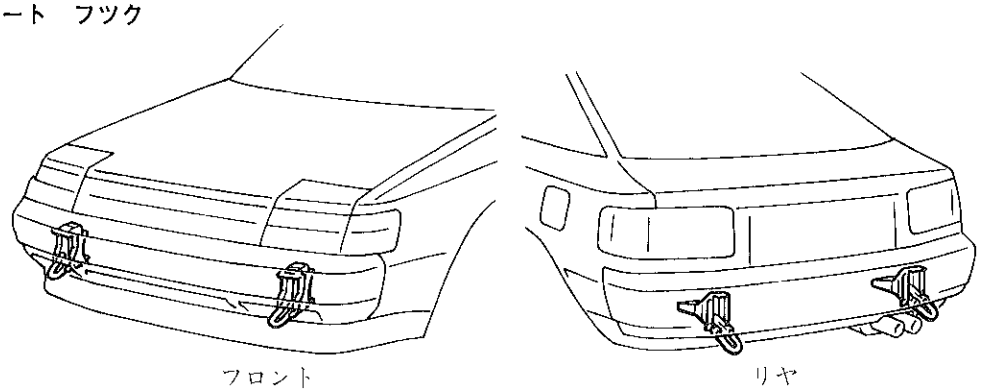

CB0106

無断複製禁止

## 4．トランス　ポート　フツク

● トランス　ポート　フツクを下図の位置に設置しました。

トランス　ポート　フツク

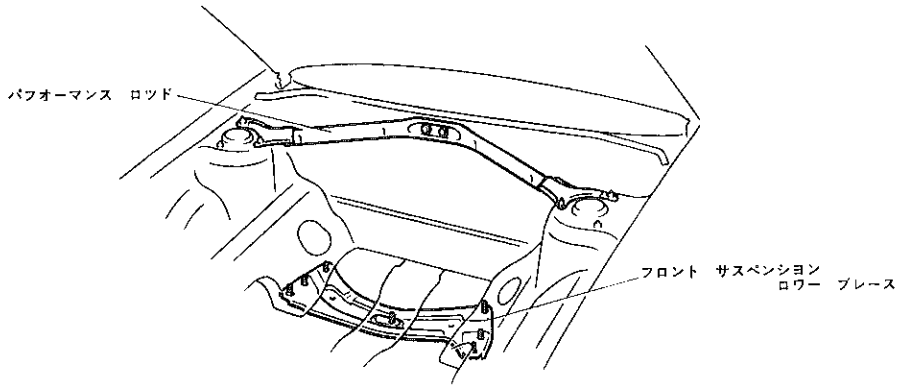



CB0107

## 5．フロント　サスペンシヨン　ロワー　ブレース　&　パフオーマンス　ロツド

● ボデーの剛性を高めて操蛇に対する車両の応答性ならびに安定性をよりいつそう向上させるために，フロント　サスペンシヨン　ロワー　ブレースを全車に装備しました。さらにＧＴ，ＧＴ−Ｒ車にはパフオーマンス　ロツドを装備して，よりいつそうの向上をはかりました。

フロント　サスペンシヨン　ロワー　クロス　メンバ　&　パフオーマンス　ロツド



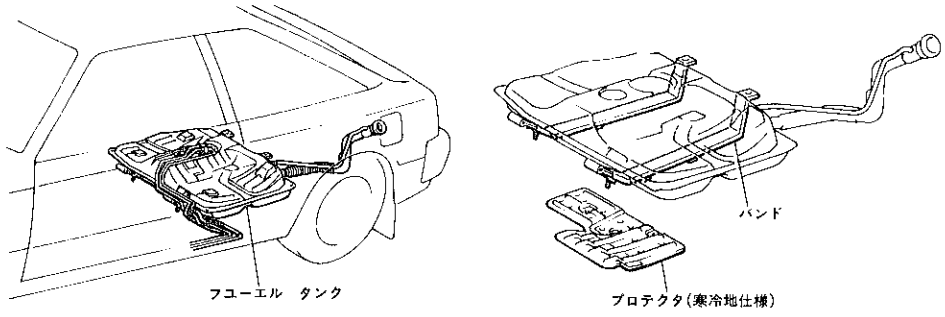

CB0108

## 6．フユーエル　タンク

● ＦＦ化に伴い，フユーエル　タンクはリヤ　シート下側に２本のバンドで固定されています。これに伴い，リヤ　デツキ部を低くして，デツキ部容積の拡大をはかりました。

● タンク容量は６００ℓとし，タンク　プロテクタをデイーラ　オプシヨン設定しました。

フユーエル　タンク




CB0109

無断複製禁止